

SHARP®

電子辞書

形名 PW-GC50

取扱説明書

Brain

ブレイン

ご購入あげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、いつでも見ることができる場所に必ず保存してください。

必ずお読みください

1
ページ

基本編

16
ページ

コンテンツ説明編

68
ページ

困ったときは

202
ページ

付録

210
ページ

ご使用前のおことわり

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。
- お客様または第三者がこの製品および付属品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

記憶内容保存のお願い

この製品は、使用誤りや静電気・電氣的ノイズの影響を受けたとき、また、故障・修理のときや電池交換の方法を誤ったときは、お客様が記憶させた内容などが変化・消失する場合があります。


重要な内容は必ず紙などに控えておいてください。


TFT カラー液晶パネルについて

TFTカラー液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために


この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。


 **警告** 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

 **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

 記号は、気をつける必要があることを表しています。

 記号は、してはいけないことを表しています。

 記号は、しなければならないことを表しています。

◎本体の取り扱いについて

注意



電池は誤った使いかたをすると、破裂や発火の原因となることがあります。また、液もれして機器を腐食させたり、手や衣服などを汚す原因となることがあります。以下のことをお守りください。

- プラス“+”とマイナス“-”の向きを表示どおり正しく入れる。
- 種類の違うものや新しいものと古いものを混ぜて使用しない。
- 使えなくなった電池を機器の中に放置しない。
- もれた液が目に入ったときはきれいな水で洗い流し、すぐに医師の診断を受ける。障害をおこす恐れがあります。
- もれた液が体や衣服についたときは、すぐに水でよく洗い流す。
- 水や火の中に入れてたり、分解したり、端子をショートさせたりしない。
- 長期間使用しないときは、液もれ防止のため電池を取り外す。

◎イヤホンの取り扱いについて

警告



事故を防ぐために、次のことをお守りください。

- 自動車やバイク、自転車などを運転中は、イヤホンを絶対に使わないでください。
- 歩行中は周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げ過ぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。

注意



イヤホンで聞くときは、音量の設定に十分気をつけてください。思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因になることがあります。また、耳をあまり刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

◎市販の充電電池の取り扱いについて

注意



市販の充電電池をご使用になる場合は、次のことをお守りください。

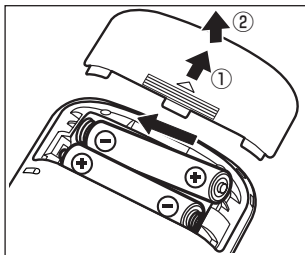
発熱、発火、破裂、感電の原因になることがあります。

- 充電電池は三洋電機株式会社製の単4形 eneloop®(エネルーブ)またはパナソニック株式会社製の単4形 充電式EVOLTA (エボルタ)をご使用ください。これ以外の充電電池は使用しないでください。
- 充電は必ず各充電電池の専用の充電器をお使いください。
- 充電電池をご使用の際は、充電電池やその充電器の取扱説明書、注意書きなどを十分お読みいただき、条件を守ってご使用ください。

初めてお使いになるときは

次の手順で電池を入れ、最初の設定をします。

- 1 電池ぶたを矢印①、②の方向に引いて外し、同梱の乾電池を向きをまちがえないよう入れます。



注) このとき**入/切** (**入/切**) キーを押さないように注意してください。

- 2 電池ぶたをもとどおりに取り付け**入/切** (**入/切**) を押して電源を入れます。

右の、タッチパッド調整画面が表示されます。

- 違う画面が表示された場合は、208ページの操作をしてください。
- 電源が入らないときは、電池の方向などを確認しながら入れ直してみてください。

- 3 タッチペンを取り出して伸ばし、画面に表示されている + マークの交点に正確にタッチします。

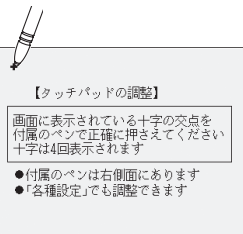
タッチペン

本体から引き出し、伸ばして使用します。

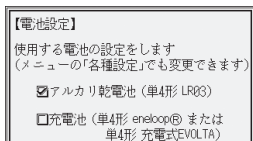


タッチパッド 調整画面

+ マークは、タッチすると別の場所に表示されますので順番に(4カ所)タッチしてください。



すべてタッチすると、使用する電池の設定画面が表示されます。




4 ▼、▲で使用する電池(「アルカリ乾電池」)を選び(検索/決定)を押します。

メインメニュー画面(☞22ページ)が表示されます。

参考

- 電池の設定を確認する場合や、変更する場合は61ページを参照して行ってください。

電池が消耗した場合は

- 画面右上に電池マークが“”が表示されたとき、または電源を入れたときに「電池を交換してください」とのメッセージが表示されたときは電池が消耗しています。速やかに電池を交換してください(☞212ページ)。

操作説明について

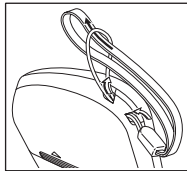
本書は、基本編で本製品の基本的な使いかたを説明しています。本書の基本編は必ずお読みください。コンテンツ説明編では、各コンテンツ※の使い方を説明しています。

※コンテンツ

コンテンツは文章などの内容や項目を指す言葉です。収録されている辞書、書籍等を特定せず示すとき「コンテンツ」と記載します。

市販のストラップを取り付けるときは

市販のストラップを取り付けることができます。図のように裏面の取り付け穴に通して取り付けます。



注意

- ストラップを取り付けてストラップを持って振り回したり、強く引っばるなど、ストラップに過重がかかる行為は行わないでください。故障や破損の原因となります。

使用上のご注意とお手入れ

- 製品をズボンのポケットに入れたり、落としたり、強いショックを与えたりしないでください。

大きな力が加わり、液晶表示部が割れたり、本体が破損することがあります。特に満員電車の中などでは、強い衝撃や圧力がかかる恐れがありますので注意してください。

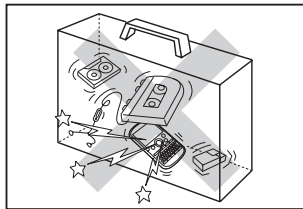
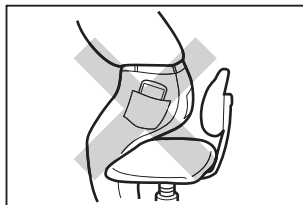
- ポケットやカバンに、硬いものや先のとがったものと一緒に入れないでください。

また、製品に圧力が加わらないように、製品を入れる場所に注意してください。

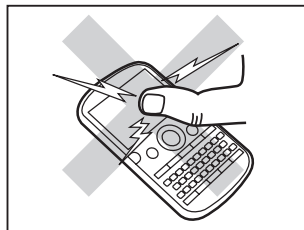
傷がついたり、液晶表示部が割れたりすることがあります。

- キーやタッチパッド(表示部)を爪や硬いもの、先のとがったもので操作したり、必要以上に強く押さえないでください。

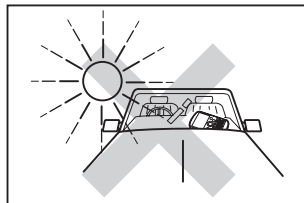
傷ついて正しく動作しなくなることがあります。(タッチパッドは付属のタッチペンで操作してください。)



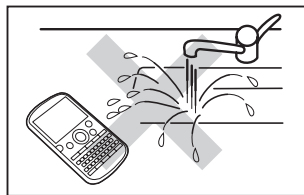
- **表示部を強く押さえないでください。**
割れることがあります。



- **日の当たる自動車内・直射日光が当たる場所・暖房器具の近くなどに置かないでください。**
高温により、変形や故障の原因になります。



- **防水構造になっていませんので、水など液体がかかる場所での使用や保存は避けてください。**
雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。



- **お手入れは、乾いたやわらかい布で軽くふいてください。**
シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やぬれた布、硬い布は使用しないでください。変質したり色が変わったり、傷がついたりすることがあります。



著作権に関するご注意

本製品を利用して著作権の対象となっている著作物を利用することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製などについて著作権者などから許諾を受けているなどの事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権などを侵害することとなり、著作権者などから損害賠償などを請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

商標・登録商標

- TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS).
This (publication/product) is not endorsed or approved by ETS.
- eneloop[®]は三洋電機株式会社の登録商標です。
- EVOLTAはパナソニック株式会社の登録商標です。
- 本書中の会社名、団体名、商品名は各社の登録商標または商標です。

付属品を確認する

下記の付属品がそろっているか確認してください。

- イヤホン
- タッチペン（本体側面に装着）
- アルカリ乾電池 単4形2本
- クイックガイド*
- 取扱説明書（本書）*

※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。

This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

おことわり

この製品に収録されている辞書などの各コンテンツの内容は、それぞれの書籍版コンテンツに基づいて、出版社より電子データとして作成、提供された著作物であり、著作権法により保護されております。したがって弊社において、その内容を改変／改良することはできません。それぞれのコンテンツにおける、誤記・誤植・誤用につきましては、判明したものについて、出版社に連絡させていただいておりますが、修正の是非／時期については、出版社の意向によるため、改善しかねることがございますので、あらかじめご了承ください。



この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B



正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオ、テレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。

- この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。

本書でのキーなどの表記のしかた

- キーは  で囲んで表します。

例 一括検索 : 一括検索 と記載

文字サイズ : 文字サイズ と記載

しおり

(緑色で書かれた機能を使うときは下記を参照ください。)



例/解説/図 : 例/解説/図/NOTE と記載



NOTE





(NOTEはキーに印刷されていませんが「例/解説/図」と同様にこのキーで操作します。)

なお、計算例の数字などは枠で囲まずに記載します。

- 2種類以上の機能が書かれているキーは、そのとき使用する機能のみを記載します。





例 W : W または 2 と記載


- 緑色で書かれた機能は 機能 を押して離れたあと(画面左上に 機能 を表示)、それぞれのキーを押します。

例 : 機能 後退 (削除)、機能 X (?) と記載

- カーソルキーは次のように表記します。



◀、▶、▲、▼ と記載します。操作する際は、リング状キーのマークが一致する部分を押してください。


- 画面内や表示部右のボタンは  で囲んで表します。


例 手書き : 手書き と記載

画面例について

本書に記載されている画面例は、実際の製品で表示される画面と異なる場合があります。

記号について

注意 … 故障の原因になる注意事項および注意していただきたいことを記載しています。

参考 … 参考情報や関連事項、操作上の制限事項などを記載しています。

もくじ

安全にお使いいただくために	2
◎本体の取り扱いについて	2
◎イヤホンの取り扱いについて	3
◎市販の充電池の取り扱いについて	3
初めてお使いになるときは	4
使用上のご注意とお手入れ	6
付属品を確認する	9
本書でのキーなどの表記のしかた	10
もくじ	11

基本編

基本操作の説明	17
各部のなまえと主なはたらき	17
電源を入れる/切る	20
画面表示について	20
操作ガイドメッセージ(ヒント)	21
画面タッチ操作のしかた	21
使いたいコンテンツの選びかた	22

文字入力と修正 23

文字のキー入力と修正のしかた	23
日本語の入力方法	23
英語の入力方法	24
入力した文字の修正のしかた	24
文字を手書き入力する	25
手書き画面の各部のはたらき	25
手書き入力をする	27
手書き入力のご注意	28


辞書を引く 30

文字を入力して調べる	30
リストの項目を選んで調べる	33

項目の選択と画面送り 34

リスト項目の選択と画面送り	34
詳細画面で次(前)の見出し語を見る	35

画面表示を変える 35

文字サイズを変える	35
画面上部に複数のタブがあるとき	36
 マークが表示されたとき	36

音声を聞く 37

イヤホンを接続する…………… 37

マークを表示する(音声を聞く)… 38

英単語をネイティブの発音で聞く… 39

便利な使いかた 40

読みやスペリングの一部を省略して検索・40

英単語のスペルチェックをする… 42

複数の辞書から調べる(一括検索)… 43

英語の例文を検索する(例文検索)… 43

画面内の語を調べる(Sジャンプを使う)・44

一度調べた語を再度調べる(しおりを使う)… 47

繰り返し見たい語を登録

(単語帳・マーカーを使う)… 48

単語帳に語を登録する…………… 48

覚たい語句にマーカーを引く…………… 49

各コンテンツ画面から登録語を見る… 51

コンテンツ一覧から登録語を見る… 52

マーカー部分を使ってテストをする… 52

単語帳を削除(登録を解除)する…………… 54

画像から説明内容を探す…………… 55

電卓機能を使う…………… 56

電卓(消費税電卓)で計算する…………… 56

各種設定 59

オートパワーオフ時間の設定…………… 59

表示の明るさの調整…………… 60

プレビュー表示の入/切の設定…………… 60

音声再生速度の設定…………… 60

音量の設定…………… 60

使用する電池の設定…………… 61

タッチパッドの調整…………… 62

電源投入時の画面

(オープニング画面)の設定… 62

電子辞書に名前を登録する…………… 63

名前と暗証番号を登録する…………… 63

名前をオープニング画面に設定する… 64

登録している暗証番号を変更する… 65

登録している名前を変更する…………… 65

登録している名前、暗証番号を削除する… 66

コンテンツ説明編

国語系	69
三省堂 スーパー大辞林	69
明鏡国語辞典 第2版	71
新漢語林 第二版	71
全訳古語辞典	72
英語系	73
ジーニアス英和&和英辞典	73
ベーシックジーニアス英和辞典	73
OXFORD現代英英辞典	74
理科&社会	74
ブリタニカ国際大百科事典	74
日本史事典・世界史事典	75
生物事典	75
新物理小事典・新化学小事典	75

学習（英語Ⅰ）	76
----------------	-----------

英単語ターゲット1900・	
英熟語ターゲット1000	76
英検Pass単熟語（3級・準2級・2級）	76
新TOEIC [®] テスト文法特訓	78

学習（英語Ⅱ）	80
----------------	-----------

キクタンTOEIC [®] Test Score 600・	
キクタンTOEIC [®] Test Score 800	80
キクジユクBasic 1800・	
キクジユクSuper 3600	82

学習（その他）	83
----------------	-----------

百人一首	83
数学公式集	84
現代社会テーマ集	84
漢字ターゲット1700	85
日本史年代暗記ターゲット312・	
世界史年代暗記ターゲット315	86

コンテンツの凡例 87

スーパー大辞林3.0	87
スーパー大辞林 付表・絵図	96
全訳古語辞典 第三版	130
ジーニアス英和辞典 第4版	152
ジーニアス和英辞典 第3版	163
ベーシックジーニアス英和辞典	180
日本史事典	189
世界史事典	191
生物事典	194
新物理小事典	196
新化学小事典	198
参 考	201

困ったときは

よくあるご質問	203
故障かな?と思ったら	206
異常が発生したときの処理	207
お買いあげ時の状態に戻すときは	208

付 録

電池について	211
使用できる電池	211
電池の交換時期	212
電池の交換手順	212
ローマ字→かな変換表	213
仕 様	217
アフターサービスについて	221
お客様ご相談窓口のご案内	222
索 引	223

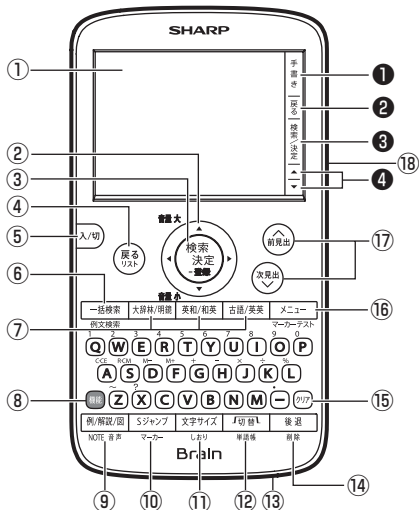
基本編



基本操作の説明	17
文字入力と修正	23
辞書を引く	30
項目の選択と画面送り	34
画面表示を変える	35
音声を聞く	37
便利な使いかた	40
各種設定	59

基本操作の説明

各部のなまえと主なはたらき



- ① **表示部** (または**タッチパッド**)
メニューや辞書の内容などを表示します。
- ② **カーソルキー** (◀、▶、▲、▼)
 - カーソルを移動させます。メニューやリストの項目選択、マークの選択、文字の範囲選択、画面送りなど、多くの場面で使用します。
 - 音声再生画面で、**機能**に続いて▲、▼を押すと、音量を調整できます。
- ③ **検索/決定キー** (**検索/決定**)
 - メニュー選択や文字入力を確定するときなどに押します。
 - 電卓で計算を実行するときにも押します。
 - 詳細画面で**機能**に続いて押すと、見出し語などが単語帳に登録されます。
- ④ **戻るキー** (**戻る**)
 - 前の画面に戻ります。
 - 機能**に続いて押すと、表示されていた見出し語から始まるリスト画面が表示されます。
 - 詳細画面などでタブ(画面)を切り替えていた場合や、画面を送っていた場合でも**戻る**で前のリスト画面などに戻ります。

- ⑤ **入/切キー** (入/切)
電源を入れたり切ったりします。
- ⑥ **一括検索キー** (一括検索)
• 一括検索の入力画面が表示されます。
• **機能** に続いて押すと、例文検索の入力画面が表示されます。
- ⑦ **コンテンツ選択キー**
(大辞林/明鏡 英和/和英 古語/英英) 各キーのコンテンツの画面になります。続けて同じキーを押すと、コンテンツを切り替えることができます。
- ⑧ **機能キー** (機能)
緑色で書かれている機能を使うとき、各キーの前に押します。
- ⑨ **例/解説/図/NOTEキー** (例/解説/図/NOTE)
• **例**、**解説**、**図**、**NOTE** マークが表示されているとき、このキーでマークを選んで**検索/決定**を押すと、収録内容が表示されます。
• **☞** マークが表示されている詳細画面などで**機能** に続いて押すと、音声再生モードになり**☞** が反転します。カーソルキーなどでマークを選び**検索/決定**を押すと音声が発生されます。
- ⑩ **Sジャンプキー** (Sジャンプ)
• 詳細画面内の言葉を調べるとき、言葉を選択できる状態にします。
• 詳細画面で**機能** に続けて押すと、マーカーを引ける状態になります。
- ⑪ **文字サイズキー** (文字サイズ)
• リスト画面や詳細画面で文字の大きさを切り替えます。
• しおりがあるコンテンツの画面で**機能** に続いて押すと、しおり画面が表示されます。
- ⑫ **切替キー** (切替)
• 詳細画面の上部に複数のタブが表示されているとき、タブを切り替えます。
• 単語帳があるコンテンツの画面で**機能** に続いて押すと単語帳が表示されます。
- ⑬ **イヤホン接続端子 (下側面)**
付属のイヤホンを接続します。

⑭ 後退キー(後退)

- 入力欄への文字入力中などに押すと、カーソルの左側の文字が削除されます。
- **機能**に続いて押すとカーソル位置の文字が削除されます。

⑮ クリアキー(クリア)

入力欄への文字入力中などでは、入力した文字を消去します。リスト画面や詳細画面などでは、コンテンツの先頭の画面などに戻ります。

⑯ メニューキー(メニュー)

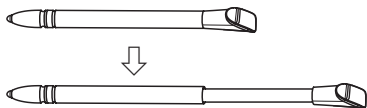
- メインメニュー画面(☞22ページ)を表示させます。
- **機能**に続いて押すと、マーカーテストリスト画面が表示されます。

⑰ ページ送りキー(▲、▼)

- リスト画面や詳細画面などで画面に表示し切れていない内容があるとき、1画面分ずつ内容を送ります。
- 調べたい語を入れて表示させた詳細画面などで、**機能**に続いて押すと、次(前)の見出し語の詳細画面が表示されます。

⑱ タッチペン収納部(右側面)

- 画面操作をするタッチペンが収納されています。
- タッチペンは本体側面から引き出し、伸ばして使用します。



① 手書きボタン(手書き)

入力欄にカーソルが表示されている画面で手書き画面(☞25ページ)を表示させたり消したりします。

② 戻るボタン(戻る)

前の画面に戻ります。

③ 検索/決定ボタン(検索/決定)

- メニュー選択や文字入力を確定するときなどに押します。
- 電卓で計算を実行するときにも押します。

④ 上下カーソルボタン(▲、▼)

カーソルを上下に移動させます。メニューやリストの項目選択、画面送りなどで使用します。

電源を入れる/切る

電源を入れるとき、切るときは**入/切**キーを押します。

電源を入れるとメインメニュー画面か、電源が切れる前の画面が表示されます。

自動的に電源が切れたときは





入/切キーを押して電源を入れます。







この製品は電池の消耗を防ぐため、画面やキーの操作が一定時間ないと自動的に電源が切れます(オートパワーオフ機能)。この時間は最初5分間に設定されていますが、59ページの方法で変更することができます。

画面が暗くなったときは

この製品は約30秒間キーなどを操作しないと画面が暗くなります。このときは、画面にタッチまたは何かキーを押せば元の明るさに戻ります。なお、音声等再生中は、約5秒間キー操作をしないと画面が暗くなります。

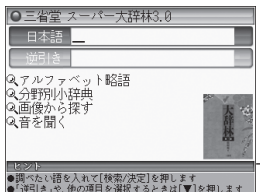
画面表示について

シンボル・マーク	意味
	電池が消耗すると画面右上に表示されます。電池マーク  が表示されたときは速やかに電池を交換してください(☎212ページ)。このときは画面が暗くなり、音の再生、単語帳の登録や削除、製品の初期化などができなくなり、やがて電源が切れます。
	画面の右上に表示され、矢印の方向に表示されていないデータがあることを示します。 ▼、▲:1行ずつ画面を送ります。 ▽、△:1画面ずつ画面を送ります。
	画面の左上に表示されます。 機能 が押されたことを示し、キーボード上の緑色で書かれた機能を選択できます。(状況により選択できない機能があります。)

シンボル・マーク	意味
 	関連する例文や解説、図、コラム (NOTE) が収録されていることを示します (P.36ページ)。
 	
	音声データが収録されていることを示します (P.38ページ)。
	ジャンプして参照できることを示します (P.46ページ)。

操作ガイドメッセージ (ヒント)

画面下や画面上部に操作ガイドが表示されることがあります。操作ガイドには、状況に応じた簡単な使いかたが記載されていますので、参考にしてください。




操作ガイド (例)

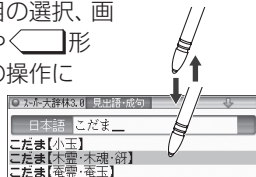
画面タッチ操作のしかた

付属のタッチペンで表示部 (タッチパッド) にタッチして操作することができます。

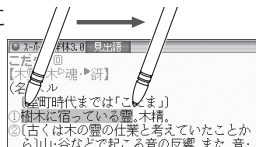
《タッチ操作の種類》

タッチ：画面に軽く触れ (押し)、離す操作です。

メニュー項目の選択、画面のボタンや  形マークなどの操作に使います。



ドラッグ：タッチペンで画面にタッチしたままペンを別の点まで移動させます。文字の範囲指定に使います。



- ドラッグの開始・終了の文字には、ペンが半分以上かかるようにしてください。少ないと範囲内と見なされないことがあります。

注意

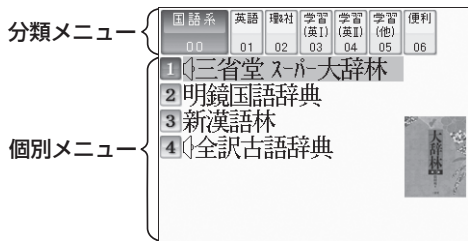
- 画面を強く押さえたり、たたいたりしないでください。強い力やショックを加えると傷がつき破損の原因になります。

使いたいコンテンツの選びかた

各コンテンツは、次のメインメニュー画面で選びます。

1 **メニュー**を押します。

メインメニュー画面が表示されます。



メインメニュー画面

2 まず、分類メニューを次のいずれかの方法で選びます。

- ▶、◀で選ぶ。またはタッチして選ぶ
- 分類番号(00~06)を①~⑥キーで入力して選ぶ

選んだ分類メニューの個別メニューが表示されます。

3 次に、個別メニューの使いたいコンテンツを次のいずれかの方法で選びます。

- ▼、▲でコンテンツ名を選び **検索/決定** を押す。またはコンテンツ名にタッチする
- コンテンツ名の前の番号を①~⑥キーで選ぶ

選んだコンテンツの画面が表示されます。

以降、上記と同様の操作は、次のように説明します。

例：**メニュー** を押し「便利機能」から「電卓」を選びます。

文字入力と修正

文字のキー入力と修正のしかた

日本語の入力方法

日本語のキー入力は「ローマ字かな入力」方式で行います。213ページの「ローマ字→かな変換表」を参照して入力してください。

キーで文字を入力する練習をしましょう。

- 入力の修正は24ページを参照してください。
- 漢字は手書きで入力します (☞25ページ)。

【例】スーパー大辞林の日本語入力欄に「じゅんぷう」と入れる場合

J U N (N) P U U



数字やアルファベットの入力

数字、アルファベットは、読みを入力します。

スペースやアポストロフィ(')、ハイフン(-)は入る？

スペースやアポストロフィ(')、ハイフン(-)、中点(・)などは入れることができません。探したい語にこれらの文字・記号がある場合は、省いて入力してください。

ひらがな、カタカナを切り替えて入れる方法は？

コンテンツによって、ひらがなが入力されるか、カタカナが入力されるか決まっていて、切り替えることはできません。

ゐ、ゑを入れる方法は？

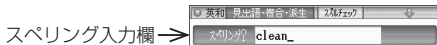
ゐは[W][Y][I]、ゑは[W][Y][E]と押して入れます。

英語の入力方法

英字などの入力のしかたを練習しましょう。
入れまちがえたときは右の項目を参照して直してください。

【例】英和辞典のスペリング入力欄に「clean」と入れる場合

C L E A N と押します。



スペリング入力時の参考

- 見出し語のスペース、「-」、「'」、「/」、「.」などは省いて入力し、検索します。
(例) fast food → fastfood で検索
weak-kneed → weakkneed で検索
let's → lets で検索
- 大文字と小文字は切り替えられません。
大文字、小文字は区別せずに検索します。
- 数字は英語のスペリングで検索できる場合があります。
- 「&」は「and」と入力します。

入力した文字の修正のしかた

文字の修正は次の方法で行います。

余分な文字を削除する

◀、▶ で削除したい文字の後ろにカーソルを移し
後退 を押します。
カーソルの前(左)の文字が削除されます。



カーソル位置の文字を削除する

カーソル位置の文字は **機能** **後退** (削除) と押すと削除されます。

入力した文字をすべて削除する

クリア を押すと入力した文字がすべて削除されます。

文字を追加する

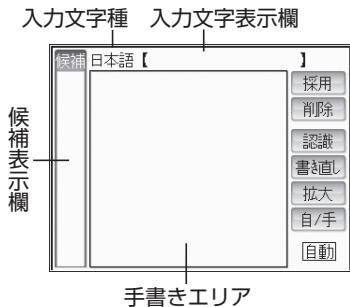
◀、▶ で文字を追加したい位置にカーソルを移し、文字を入力すると追加されます。

文字を手書き入力する

各コンテンツで、入力欄にカーソルがあるとき、画面横の「手書き」ボタンにタッチすると、手書き画面が表示されて、文字を手書き入力することができます。

- 手書き画面を閉じるときは「戻る」を押します。
なお、「手書き」や「戻る」にタッチしても閉じます。

手書き画面の各部のはたらき



手書きエリア：タッチペンで文字を手書きします。

入力文字種：認識する文字の種類を示します。

日本語：漢字、平仮名、片仮名が入力できます。

仮名：平仮名、片仮名が入力できます。

漢字：漢字（日本語）が入力できます。

スペリング：アルファベットが入力できます。

入力文字表示欄：手書きして認識された文字が入ります。

候補表示欄：入力文字表示欄で選ばれている文字の候補文字が表示されます。候補文字にタッチすると、入力文字表示欄の文字が入れ替わります。

採用ボタン：入力文字表示欄の文字をコンテンツの入力欄へ移します。

削除ボタン：入力文字表示欄の文字を右端から削除します。

認識ボタン：手書きした文字を認識させたいときにタッチします。自動認識に設定されているときでも、このボタンにタッチする

と直ちに認識が開始されます。

書き直しボタン：手書きした文字を消去します。手書きエリアに何もかかれていないときは、入力文字表示欄の文字を右端から削除します。

拡大ボタン：候補表示欄の候補を拡大表示させたり、元に戻したりします。拡大した文字は手書きエリアに表示されます。

自/手ボタン：手書きした文字を認識させる方式を切り替えます。タッチするたびに**自動認識**と**手動認識**のモード(方式)が切り替わります。

自動認識は、ペンを画面から離してから約1秒後に自動的に認識を開始します。

手動認識は、書き終わった後**認識**にタッチして認識させます。

自動/手動シンボル：現在の認識モードを示すシンボルです。

注意

- 文字は強く押さえないで軽く書いてください。表示部やペン先にゴミが付着している状態で強く押さえると、表示部に傷がついたり、破損の原因になります。

参考

- 文字を仮名で入れて漢字に変換する機能はありません。
- 次の場合は**メニュー**を押し、「便利機能」-「各種設定」-「タッチパッドの調整」と選んで、**タッチパッドの調整**を試みてください。
 - ペンの位置と、書かれる文字の位置がずれる。
 - 候補の文字にタッチしても、ずれた位置で選択される。
 - ボタンが、タッチした位置とずれた位置で働く。

手書き入力をする

一括検索の画面で手書き入力をしてみます。

【例】日本語入力欄に「持つ」を入れます。

1 **一括検索** を押し、日本語入力欄にカーソルがあることを確認して **手書き** にタッチします。

手書き画面が表示されます。

2 手書きエリアにタッチペンで「持」と書きます。

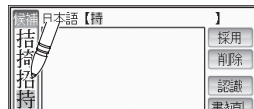


自動認識の場合、画面からペンを離して約1秒後に認識が行われ、第一候補の文字が入力文字表示欄に入り、候補表示欄に候補文字が表示されます。

- 手動認識では **認識** にタッチして認識させます。
自動認識でも、書き終わってすぐに認識させる場合は **認識** にタッチします。



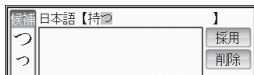
3 もし、入力文字表示欄に目的と違う文字が入ったときは、候補表示欄の中の、目的の文字にタッチ（選択）します。



入力文字表示欄の文字が選択した文字に入れ替わります。

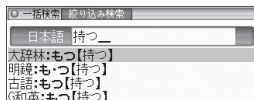
- 候補にないときは **書き直し** や **削除** で削除し、書き直します。

4 同様にして「つ」を書き、認識させます。



5 文字を入れ終わったら、**採用**にタッチしてコンテンツの入力欄へ移します。

辞書などの検索が行われます。



参考

- 入力文字表示欄に複数の文字が入っているとき、各文字にタッチして選ぶと、候補表示欄にそれぞれの文字の候補が表示されます。

手書き入力のご注意

- **自動認識**の場合、途中で止めないで速やかに書いてください。文字を書いている途中で画面からペンを離すと、約1秒後に文字を書き終わったものと見なして認識します。
文字の種類によって認識が始まる時間は異なります。早く認識させたいときは**認識**にタッチして認識させてください。
- 印刷している文字を確認しながら書く場合は**自/手**で**手動認識**に設定し、文字を書き終わってから**認識**にタッチして認識させてください。
- 漢字や仮名は楷書で1字ずつ、はねのある字は最後のはねまででいねいに書いてください。行書など続け字は認識されない場合があります。
- 文字は1字ずつ書いて認識させてください。一度に2文字書いたり、アルファベットを筆記体で続けて書いたりすると違う文字と認識されます。
- 文字は手書きエリア内からはみ出さない範囲で、大きく書いてください。ただし、仮名の小さい文字や、英字の大文字と似ている小文字は小さく書いてください。

- なるべく正しい筆順で書いてください。
- 文字の1画(線)が途切れないように書いてください。
- 文字が傾きすぎないように書いてください。
- はねやかざりをつけすぎないように書いてください。

手書き入力で辞書を引くときのご注意

本製品はJIS第1～第4水準の漢字を手書き入力で認識しますが、辞書によっては検索できない場合があります。

参考

認識する文字について

- 日本語はJIS X 0213-2004に基づくJIS第1水準～第4水準、およびJIS X 0212-1990に基づく補助漢字などを認識します。「JIS X 0213」の改定前の漢字と改定後の漢字の字形が異なる場合、どちらで書いても改定後の漢字と認識します(例：“祇”と書いても“祇”と認識します)。

手書き認識について

手書き入力の際には、次のような点に気をつけていただくと認識されやすくなります。

続け字にならないように(画数がはっきりとわかるように)書きます。



良い例



悪い例

崩さず、ていねいに書きます。



良い例



悪い例

あまり傾かないように書きます。



良い例



悪い例

「C」と「c」など大文字と小文字が同じような文字は、区別が付きやすいように、小文字を小さく書きます。



小文字



大文字

「っ」などの小さい文字も小さく書きます。



小さい「っ」



大きい「つ」

辞書を引く

辞書の引きかたは、大きく分けると2種類になります。

文字を入力して調べる

調べたい語の読みやスペリングなどを入力して調べます。

リストの項目を選んで調べる

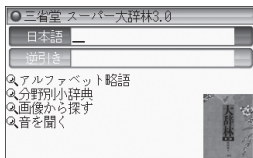
リストから項目を選んでいき目的の言葉などを調べます。

文字を入力して調べる

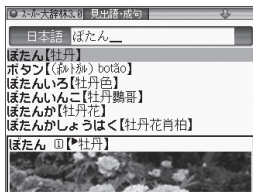
【例1】スーパー大辞林で「ぼたん」を調べる

1 を押し「国語系」から「三省堂スーパー大辞林」を選びます。

日本語入力欄にカーソルが表示されます。



2 日本語入力欄に「ぼたん」と入れます。



入力した文字を先頭に持つ語が候補としてリスト表示されます(1字入力ごとに候補が絞り込まれます)。

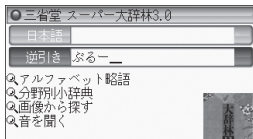
- 3** ▼、▲で目的の語を選び「検索/決定」を押します(または目的の語にタッチします)。
 詳細画面が表示され、意味などが表示されます。



- 画面右上に“↓”“↑”が表示されているときは、▼▲や▽▲で画面を送って隠れている内容を確認します。
- 戻るを押すと前の画面に戻ります。
- 機能 戻る(リスト) と押すと辞書順(収録順) リスト表示になります。

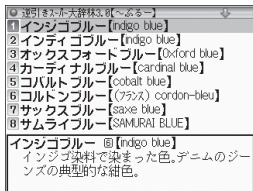
【例2】後ろに「ブルー」が付く語を調べる(逆引き)

- 1 **メニュー** を押し「国語系」から「三省堂 スーパー大辞林」を選びます。
- 2 ▼で逆引き入力欄を選んで「ぶるー」と入れます。



3 **検索/決定** を押します。

「ブルー」を後ろに持つ語が候補としてリスト表示されます。



4 ▼、▲ で目的の語を選び **検索/決定** を押します（または目的の語にタッチします）。

詳細画面が表示され、意味などが表示されます。

新しい言葉を引くときは

クリア を押して入力画面に戻り、読みなどを入れます。詳細画面では文字を入れると、入力画面に戻りますので読みなどを入れます。

文字を入力中に候補がなくなると

文字を入れていくと候補が絞り込まれていく検索では、該当する候補がなくなると《該当語なし》と表示されます。

その後ろに「並び順の近い語を表示」または「スペルチェックへ」とのメッセージが表示された場合は、それぞれを選んで **検索/決定** を押す（またはタッチする）と、50音順またはアルファベット順などで、入力した文字よりも並びが後の語のリスト表示、またはスペルチェック画面が表示されます（スペルチェック：☞42ページ）。

なお、**戻る** を押すと入力画面に戻ります。

【検索の種類】

検索には次の種類があり、コンテンツによって使い分けられています。

絞り込み検索 : 文字を1文字入れるごとに候補が絞り込まれていきます。

頭出し検索 : 入れた文字が先頭に含まれる語を探し、その語から始まる収録順リストを表示します。該当する語がないときは、並び順で次の語から始まるリストを表示します。

キーワード検索 : 入れた文字(単語)が含まれる文を探します。英和辞典の成句検索などで用いられます。

▶参考◀

- 検索する語によっては検索に時間がかかることがあります。

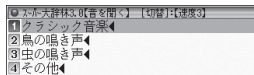
リストの項目を選んで調べる

【例】スーパー大辞林の「音を聞く」で調べる

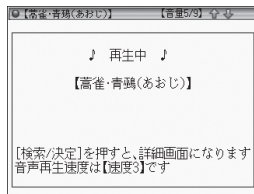
1 **メニュー** を押し「国語系」から「三省堂スーパー大辞林」を選びます。

2 **▼**、**▲** で項目(「音を聞く」)を選び **検索/決定** を押します。

リスト
表示



3 手順2と同様の操作でリストの項目を選んでいくと音が再生されます。



- 音はイヤホンで聞きます (☎37ページ)。
- スーパー大辞林で再生中に **検索/決定** を押すまたは画面にタッチすると説明を表示します。

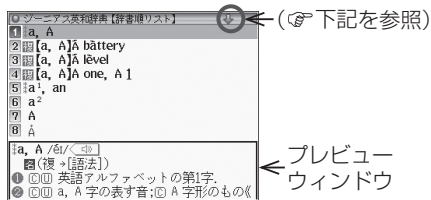
項目の選択と画面送り

リスト項目の選択と画面送り

メインメニュー画面から「ジーニアス英和 & 英和辞典」を選んで**〔検索/決定〕**を押し、英和辞典のリスト画面を表示させて説明します。

- 英和辞典や大辞林などの辞書の最初の画面で、何も入力せずに**〔検索/決定〕**を押すと、リスト画面が表示されます。

リスト画面



各項目(各語)を選択する方法

▼、▲でカーソル(青い線)を目的の項目へ移動させて**〔検索/決定〕**を押します。

画面を送って別の内容を見る方法

画面右上に“↓”や“↑”が表示されたときは画面外に隠れている内容があります。

- (1) ▼、▲でカーソルを1行ずつ移動させ、隠れている部分を表示させます。
- (2) ▢、▣で1画面分ずつ送ります。
 - 上記キーを押したままにすると、連続して画面が送られます。

◆プレビュー表示について

文字入力などで表示させたリスト画面では、前画面のように、選択されている候補の説明の一部がプレビューウィンドウに表示されます。プレビュー表示の入/切(あり/なし)は60ページの方法で切り替えます。

▶参考▶

- リスト画面でも、プレビュー表示ができない場合があります。(新漢語林の見出語リスト画面やリストの項目を選んでいく形式のリスト画面など)

画面表示を変える

文字サイズを変える

リスト画面や詳細画面で**文字サイズ**を押すと、表示される文字の大きさを切り替えることができます。

詳細画面

国語系：(漢語林) 16、24、48ドット文字
(その他)12、16、24、48ドット文字

英語系：12、16、24ドット文字

リスト画面

国語系：16、24ドット文字

英語系：12、16、24ドット文字

▶参考◀

- コンテンツや画面によっては、文字サイズを切り替えられない場合や、切り替えられるサイズの範囲が異なる場合があります。

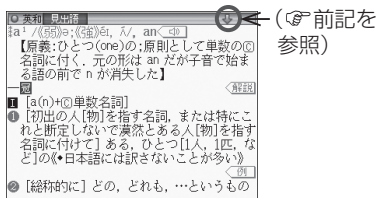
詳細画面で次(前)の見出し語を見る

前ページのリスト画面で、▼で「a', an」を選び**検索/決定**を押してください。

「a', an」(見出し語)の詳細画面が表示されます。

機能▼(次見出)、**機能**△(前見出)と押すと、並び順で次または前の見出し語などが表示されます。

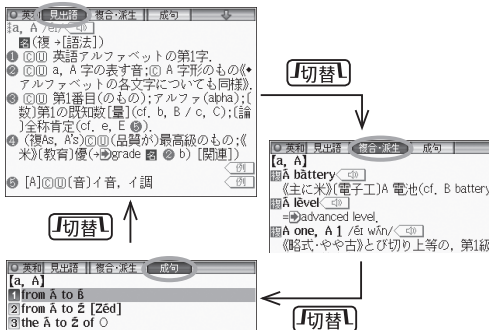
詳細画面(1件表示画面)



画面上部に複数のタブがあるとき

タブは現在の表示の種類(見出語など)を示します。タブが複数表示されているときは関連する内容があることを示し、**切替**でタブを切り替えて内容を見ることができます。

- ここでは**メニュー**を押し「英語系」から「ジェニース英和&和英辞典」を選び**検索/決定**を2回押しして英和辞典の詳細画面を表示させます。



マークが表示されたとき

詳細画面に**例**、**解説**、**図**、**NOTE**マークが表示されたとき、関連する例文や解説、図、コラム(NOTE)が収録されています。この画面で**例/解説/図/NOTE**を押すとマークが反転表示になります。

マークが複数あるときは、カーソルキーで反転表示を調べたいマークに移し**検索/決定**を押すと、収録されている内容が表示されます。

- 別の図を表示させるときは**戻る**で図を閉じ、マークを選び直して**検索/決定**を押します。
- 別の例や解説があるときは、**▶**や**◀**で順番に表示させることができます。

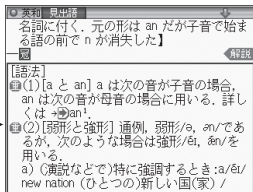
【例】英和辞典の画面で例や解説を見る

- メニュー**を押し「英語系」から「ジェニース英和&和英辞典」を選び**検索/決定**を押します。
- ▼**で「a¹, an」を選び**検索/決定**を押します。

3 [例/解説/図/NOTE]を押します。
マークが反転表示されます。

4 ▼、▲、▶、◀でマークを選び、
[検索/決定]を押します。

例/解説
ウィンドウなど



画面右上に“↓”や“↑”が表示されたときはウィンドウ内に表示されていない部分があります。▼、▲や▼、▲で送って確認します。

5 別の例や解説があるときは▶や◀で表示させます。

6 終了するときは[戻る]を2回押します。

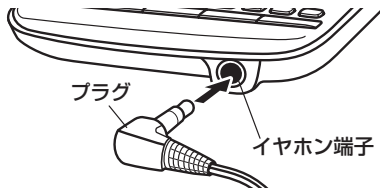
1回目でウィンドウが閉じ、2回目でマークの反転表示が解除されます。

音声を聞く

イヤホンを接続する

音声は付属のイヤホンで聞きます。図を参照して接続してください。

- 必ず電子辞書の電源を切ってから、プラグを持って抜き差ししてください。コードを引っ張ると故障の原因になります。
- プラグは奥まで完全に差し込んでください。



- ◆はじめに適正な音量に調整してください(☞38、60ページ)。
- ◆イヤホンは、付属のイヤホンをお使いください。市販のイヤホンは音声が正しく聞こえないことがあります。

🔊 マークを表示する(音声を聞く)

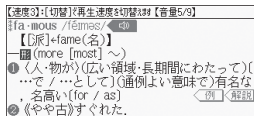
辞書メニューの📌付きコンテンツは音声収録されています。ジーニアス英和辞典などでは音声収録箇所に🔊(音声マーク)が表示され、次の操作で再生できます。

1 例えばジーニアス英和辞典で「famous」の詳細画面を表示させます。

🔊マークが、再生対象の語や文の後ろ等に表示されます。

2 機能例/解説/図/NOTE(音声)を押してマークを反転表示(🔊)させ検索/決定を押します(またはマークにタッチします)。

音声再生されます。



- 反転表示時(🔊)は**検索/決定**を押すたびに音声再生されます。

- 🔊が複数あるときは▼、▶などで反転を目的のマークへ移して**検索/決定**を押します。
- 再生を中止するときや、マークを🔊に戻すときは**戻る**を押します。

▶参考▶

- 🔊や英単語などが反転(🔊次項)しているときは、**切替**で音声の再生速度を切り替えることができます。

音量を調整する

- マーク反転表示(🔊)時に**機能**▲(音量大)、**機能**▼(音量小)で調整します。音量を上げすぎると、音が割れたり、歪んだりすることがありますので、聞きやすい音になるように調整してください。コンテンツにより音量に差があります。

英語系辞典の音声データは米国のネイティブスピーカー(native speaker)の音声を収録しています。「百人一首」などでは日本語音声データを収録しています。

「スーパー大辞林3.0」はクラシック音楽(一部)や、鳥および虫の鳴き声などを収録しています。

英単語をネイティブの発音で聞く

各辞書の詳細画面に表示されている英単語などをジーニアス英和辞典の音声データを利用して発音させることができます。

1 和英辞典などで詳細画面を表示させます。

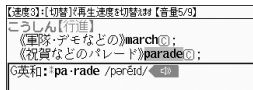
例えば**英和/和英**を押し▼で日本語入力欄を選び「こうしん」と入れ、**こうしん【行進】**を選んで**検索/決定**を押します。

2 機能 例/解説/図/NOTE(音声)と押します。先頭の英単語などにカーソルが表示されます。(◀▶)があると反転表示されます。)

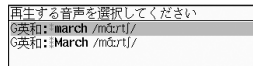
3 発音させたい単語にカーソルを移し

検索/決定を押します(または単語にタッチします)。

英和辞典が参照され、ウィンドウに表示されます。



- 音声データが収録された英単語などが1つだけ見つかったときは自動的に音声を再生します。
- 英単語などが複数見つかったときは選択ウィンドウに表示される候補を選び**検索/決定**を押す(または候補にタッチする)と音声再生されます。



- 音声再生を途中で止めるときや、画面を戻るときは**戻る**を押します。

便利な使いかた

言葉を探すいろいろな方法や便利な機能について説明します。

読みやスペリングの一部を省略して検索

読みや単語の一部を“?”(ワイルドカード)または“~”(ブランクワード)に置き換えて検索することで、はっきりしない語も探すことができます。

ワイルドカード:

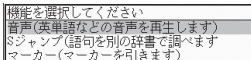
“?”は不明な文字の代わりに入力します。
(読み:最大12個、スペリング:最大19個)
(例)「う????ざくら」「se????y」



ブランクワード:

“~”は複数の文字の代わりに1個だけ入力します。
(例)「う~ざくら」「se~y」「~men」

参考

- 手順2の操作をせずに単語にタッチ(ドラッグ)した場合は、**機能選択画面**が表示されますので、タッチして機能を選択してください。



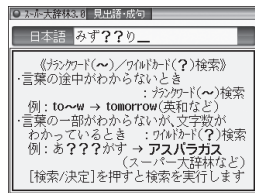
- マーカーテストの詳細画面など、が表示されていても音声を聞くことができないことがあります。
マーカーテスト中に音声を聞くためには「マーカー部分を使ってテストをする」の項目( 52ページ)を参照してください。

- “?”は機能[X](?)、“~”は機能[Z](~)と押して入れます。
- “?”は先頭に使えません。“~”は最後に使えません。
- “?”と“~”を同時に使うことはできません。

また、後述の「“?”、“~”が使えるコンテンツ」で示すコンテンツの入力画面および一括検索の入力画面で、次の場合に利用できます。

- 「日本語」入力欄に入力する場合
ただし、スーパー大辞林の逆引き、分野別小辞典では利用できません。また、漢字と併用することはできません。
- 「スペリング」入力欄に入力する場合
ただし、スペルチェックや成句検索および例文検索の入力画面では利用できません。

1 例えばスーパー大辞林の日本語入力欄に「みず??り」と入れます。



2 [検索/決定]を押して検索します。

該当する語がリスト表示されます。

3 ▼、▲で目的の語を選択し [検索/決定]を押します。

詳細画面が表示され、意味などが表示されます。

“?”、“~”が使えるコンテンツ

- スーパー大辞林 (逆引き、分野別小辞典を除く)
- 明鏡国語辞典
- 新漢語林 (熟語を読みから調べる)
- ジーニアス英和辞典 ジーニアス和英辞典
- ベーシックジーニアス英和辞典

- OXFORD現代英英辞典
- ブリタニカ国際大百科事典
- 日本史事典 世界史事典
- 生物事典 新物理小事典 新化学小事典

英単語のスペルチェックをする

探したい単語のスペリングがはっきりわからないときなどには、英和辞典のスペルチェック機能で目的の単語を探することができます。

1 英和辞典の入力/選択画面で「英和スペルチェック」を選び **検索/決定** を押します。

スペルチェック機能の入力画面が表示されます。

2 単語のスペリング (例：「skate」) を入れ **検索/決定** を押します。

検索が開始され、入力したスペリングと一致した単語、または類似した単語がリスト表示されます。

3 目的の単語 (またはそう思われるもの) を選び **検索/決定** を押します。

詳細画面に意味などが表示されます。

▶ 参考 ◀

- **スペルチェック機能について**
 - 入力したスペリングと一致する単語があると、リスト内の「該当：」欄に表示され、類似した単語は「候補：」欄に表示されます。
- **思った単語がなかなか出てこない**
 - 入力したスペリングにより、検索に時間がかかることがあります。
 - 該当語や候補がないときは「見つかりません」と表示して入力画面に戻ります。入力したスペリングを変更して再度検索をしてみてください。
- **検索を停止する**
 - 検索中に **検索/決定** を押すと検索が停止して、検索した候補が表示されます。その候補を選べば意味などが表示されます。候補リスト画面に戻るときは **戻る** を押します。検索を再開するときは候補リスト画面で **戻る** を押します。

複数の辞書から調べる（一括検索）

複数のコンテンツ（辞書など）から言葉を調べることができます。

- 入力に“～”や“?”を使用することもできます（☞40ページ）。

【例】「ごうけい」を一括検索します。

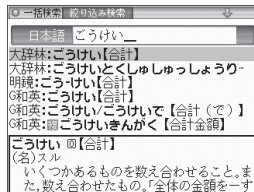
1 **一括検索**を押します。

一括検索の入力画面が表示されます。



入力欄は、入力する文字種に合わせて▼、▲で選びます。

2 日本語入力欄に「ごうけい」を入れます。
候補が絞り込まれていきます。



3 ▼、▲で目的の語を選び**検索/決定**を押します。

詳細画面に意味などが表示されます。

英語の例文を検索する（例文検索）

単語のスペリングや日本語の読みから、その語が含まれる英語の例文を検索することができます。

1 **メニュー**を押し、「便利機能」から「例文検索」を選びます。（または**機能****一括検索**（例文検索）を押します。）
例文検索の入力画面が表示されます。

2 スペリング入力欄または日本語入力欄に調べたい語を入れます。

○ 例文検索

スペリング1? have

スペリング2? your_

スペリング3?

日本語

- スペリングを3語まで、または日本語を1語入れることができます。

3 [検索/決定]を押します。

入力した語の例文がリスト表示されます。

- 画面上部にタブで例文が検出されたコンテンツが示されます。タブを切り替えて各コンテンツの例文を確認してください。タブは、タッチまたは「切替」で切り替えます。

参考

- スペリング1～3に入れた単語がすべて含まれる例文、または日本語入力欄に入れた語が含まれる例文が表示されます。
- 入力に“～”や“?”を使用することはできません。

画面内の語を調べる(Sジャンプを使う)

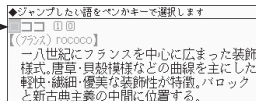
詳細画面に表示されている言葉を、コンテンツ間を飛び越えて調べます。

- 日本語の漢字、ひらがな、カタカナの語は、範囲指定して調べます。
- 英単語やジャンプマーク(➡)が示す語は、カーソルキーで選んで調べます。

1 例えば「メニュー」を押し「国語系」から「スーパー大辞林」を選んで「ろここ」と入れ、「検索/決定」を押して詳細画面にします。

2 詳細画面で「Sジャンプ」を押します。

■カーソルを→表示します



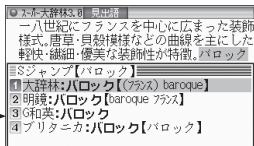
3 調べたい語を選びます。

「バロック」を範囲指定する場合

- 先頭文字「バ」にカーソル「■」を移して**検索/決定**を押します。続いて**▶**で最後尾の文字「ク」までカーソルを移して**検索/決定**を押します（1文字の指定では最後尾へのカーソル移動は不要です）。
- タッチ操作では先頭の「バ」から最後尾の「ク」までをドラッグします。

ジャンプウィンドウに候補が表示されます。

ジャンプ
ウィンドウ →



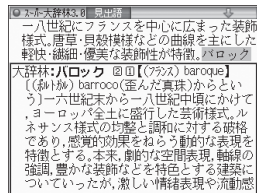
- 範囲指定は、46ページも参照ください。
- 指定を解除するときは**戻る**や**クリア**を押します。
- 手順2の前に画面のドラッグで範囲指定をすると、機能選択画面(☞40ページ)が表示されますので、その中から「Sジャンプ」を選んでジャンプすることもできます。

英単語や **☞** マークが示す語を指定する場合

カーソルをその語に移し(☞46ページ)**検索/決定**を押します。
または、その語にタッチします。

4 **▼**、**▲**で調べたいコンテンツを選び**検索/決定**を押します。

ウィンドウに詳細内容が表示されます。




画面右上に“**↓**”や“**↑**”が表示されているときは**▼**、**▲**などでウィンドウ内を送ることができます。

5 **検索/決定**を押してジャンプします。



選択した語の詳細画面が表示されます。

▶参考▶


- ジャンプウィンドウに表示される候補は、選択した語と一致する語、一致する語がないときは選択した語を先頭を含む語(英単語は一致する語のみ)が表示されます。

なお  が示す語や、1語だけ一致するときはウィンドウに詳細内容が表示されます。







ジャンプについて

- ジャンプした先の画面で  を押したときは、ジャンプを始める前に使用していたコンテンツの入力画面などに戻ります。
- ジャンプ先でジャンプをする、というようにジャンプを重ねた場合、 で最大5回までは戻ることができます。5回を超えてジャンプを重ねた場合、6回目の戻りでリスト画面などへ戻ります。


ジャンプマークのジャンプ

- 各コンテンツの詳細画面で  マークの後に示される語は同じコンテンツ内でジャンプします。

マークで示す語や英単語などの選択

- 画面内に  マークで示す語や、英単語が表示されている場合は  を押すたびに、表示されている  カーソルより後の、 マークで示す語、および英単語へカーソルが移っていきます。表示されている最後の語までカーソルが移った後は、1行ずつ画面を送り、対象の語が出てくれば、その語にカーソルが移ります。行き過ぎたときは  や  でカーソルを戻してください。

範囲指定について

-  カーソルが表示されている場合、漢字、ひらがな、カタカナが連続しているときに範囲指定できます。
- 範囲指定をしているときは画面を送ることはできません。範囲指定したい語が、すべて表示されていることを確認してから操作をしてください。

一度調べた語を再度調べる(しおりを使う)

各コンテンツでは一度調べた語を“しおり”(履歴)として、新しいものから100件まで自動的に記憶します。もう一度同じ語を調べたいときは、しおりのリスト(一覧)表示から調べることができます。

1 各コンテンツを選び **機能** **文字サイズ** (しおり) と押します。

しおりリスト画面が表示され、調べた語が、新しいものから順に表示されます。

2 **▼**、**▲** で目的の語を選び **検索/決定** を押します。

選択した語の詳細画面が表示されます。

参考

- しおりの表示のされかたはコンテンツにより異なる場合があります。
- しおりの記憶件数が100件を超えるとときは、古いものが消されます。

しおりを1件ずつ削除する方法

1 各コンテンツの画面で **機能** **文字サイズ** (しおり) と押し、しおりリスト画面にします。

2 **▼**、**▲** で削除したい語にカーソルを移して **後退** を押します。

削除の確認画面が表示されます。

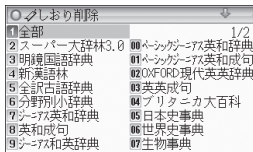
3 **Y** キーを押します。

選択した語が削除されます。

しおりをまとめて削除する方法

1 **メニュー** を押し、「便利機能」から「各種設定」を選びます。

2 **▼**、**▲** で「しおり削除」を選び **検索/決定** を押します。



3 ▼、▲、▶、◀でしおりを削除するコンテンツ、または「全部」を選び

検索/決定を押します。

削除の確認画面が表示されます。

4 Yキーを押します。

選択したコンテンツのしおり、またはすべてのしおりが削除されます。

繰り返し見たい語を登録(単語帳・マーカーを使う)

各コンテンツで、繰り返し見たい語や覚えたい語などを「単語帳」や「マーカー」に登録しておくことができます。

単語帳に語を登録する

1 登録したい語の詳細画面にします。

例えば英和辞典の画面で、「text」と入れて**検索/決定**を押します。

2 機能 **検索/決定** (登録) と押します。

詳細画面の語が単語帳に登録されます。

- 例文検索で検索した画面では上記操作で例文の前に“➡”が表示されますので▼、▲で登録したい例文を選択して**検索/決定**を押します。

参考

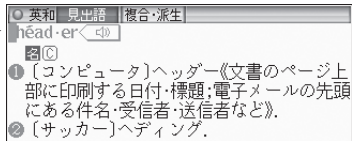
- 単語帳の詳細画面からは登録できません。
- 単語帳は各コンテンツごとに最大500件、合計4000件まで登録することができます。なお、単語帳以外の詳細画面でマーカーを引いた場合、その語も単語帳に登録されます。

覚えたい語句にマーカーを引く

- 1 例えば英和辞典で「header」と入力し、詳細画面を表示させます。
- 2 **機能** **Sジャンプ** (マーカー) と押します。
- 3 マーカーの色 (緑、黄、ピンク、オレンジ、紫) を選びます。

選んだ色のカーソルが表示されます。

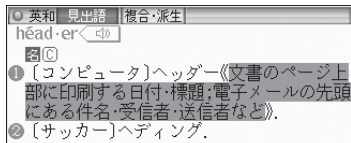
カーソル



4 **▶**、**◀**などでカーソル“■”を先頭の文字「文」に移します。

5 **検索/決定**を押します。

6 **▶**でカーソル“■”を最後尾の文字「ど」まで移します。(1文字の指定では、この操作は不要です。)



7 **検索/決定**を押します。

単語帳に登録した (またはマーカーを追加した) 旨のメッセージが一時表示され、登録されます。

参考

- マーカーは1回で最大120文字まで引くことができます。
- マーカーは1つのデータに10カ所まで引くことができます。
- 項目の終わり（改行）を超えてマーカーを引くことはできません。
- 今引いているマーカーを消したいときは`[戻る]`を押します。もう一度`[戻る]`を押すと、カーソル“■”が消えます。
- 例文検索機能で探し出した例文は、いったん単語帳に登録し、そのあと単語帳の詳細画面に表示させてからマーカーを引きます。

登録したマーカーを消すときは

- 手順1～3と同様の手順でマーカーが引かれている文字にカーソルを移して`[検索/決定]`または`[後退]`を押し、メッセージに従って`[Y]`キーを押します。

1つのデータに引かれている全てのマーカーを消すときは

- マーカーテストのリスト画面で、語を選んで`[後退]`を押し、表示されるマーカー削除の確認メッセージに従って`[Y]`キーを押します。

コンテンツごとに、または全コンテンツのマーカーをまとめて消すときは

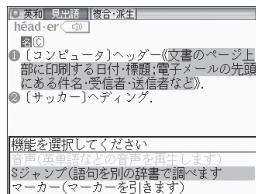
- 「マーカーだけをまとめて消去（削除）する方法」（☞55ページ）を参照ください。

画面タッチで操作する場合

1 例えば英和辞典で「header」と入力し、詳細画面を表示させます。

2 先頭文字「文」から最後尾の文字「ど」までドラッグします。

実行する機能の選択ウィンドウが表示されます。



3 実行する機能「マーカー(マーカーを引きます)」にタッチします。

マーカー色の選択ウィンドウが表示されます。

4 マーカーの色(緑、黄、ピンク、オレンジ、紫)を選びます。

マーカーが選択した色になり、単語帳に登録されます。

参考

登録したマーカーを消すときは

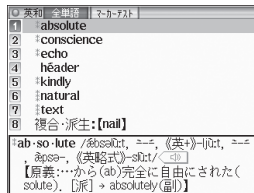
- 手順2で、マーカーが引かれている文字にタッチし、手順3を行います。
画面に表示されるマーカー削除の確認で〔Yはい〕にタッチします。

各コンテンツ画面から登録語を見る

1 見たいコンテンツの画面(入力/選択画面、詳細画面など)にします。

2 機能〔切替〕(単語帳)と押します。

全単語リスト画面が表示されます。



3 ▼、▲で目的の語を選び〔検索/決定〕を押します。

選んだ語の詳細画面が表示されます。

参考

- データは各コンテンツと同様の順番、または登録順に並びますが、成句などは見出し語よりも後に並びます。

コンテンツ一覧から登録語を見る

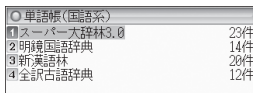
- 1 **メニュー** を押し、「便利機能」から「すべての単語帳を見る」を選びます。

単語帳がある分類の一覧が表示されます。



- 2 **▼**、**▲** で目的の分類を選び **検索/決定** を押します。

分類内のコンテンツ一覧が表示されます。



- 3 同様の操作で目的のコンテンツ、語を選び詳細画面を表示させます。

マーカー部分を使ってテストをする

覚えたい語句にマーカーを引いて登録し、その部分を集中的に覚えたり、マーカー部分を隠しておいて、その部分を言い当てるテストができます。

- 1 例えば英和辞典の入力画面などで **機能メニュー** (マーカーテスト) と押します。

マーカーテストリスト画面が表示されます。



- 単語帳リスト画面で、**切替** を押すか [マーカーテスト] タブにタッチしてもマーカーテストリスト画面が表示されます。

- 2 テストしたい語を選び **検索/決定** を押します。

マーカーを引いた箇所の文字が隠された詳細画面が表示されます。




3 隠されている内容を言います（または考えます）。

4 マーカーをペンでタッチするとマーカーで隠れている内容が表示されますので、言った（考えた）答えと一致しているか確認します。

- もう一度マーカーをペンでタッチすると表示された内容が隠れます。
- **検索/決定** キーで全てのマーカー部分の表示/非表示を切り替えることができます。

5 **戻る** でマーカーテストリスト画面に戻って、手順2～4の操作で次の語のテストをします。

▶参考▶

- 単語帳の画面などで、前に “” マークが表示されている語は、マーカーが付けられていることを示します。
- マーカーテストの詳細画面では **例** や **例** などの操作をすることができません。
 - ・ 詳細画面に表示されている **例** や **例** などは、**戻る**、**切替** と続けて押して単語帳リスト画面に切り替え、表示されるリストからテスト中の単語を選択して詳細画面を表示すると操作できます。
 - ・ マーカーテストに戻るには、**戻る** を押して単語帳リスト画面に切り替え、手順1の操作でマーカーテストリスト画面を表示して、手順2の操作でテスト中の単語を選択してください。

単語帳を削除(登録を解除)する

単語帳を1件ずつ削除する方法

1 各コンテンツの全単語リスト画面を表示させます。

2 **▼**、**▲**で削除したい語にカーソルを移して**後退**を押します。

削除の確認画面が表示されます。

3 **Y**キーを押します。

選択した語が削除されます。

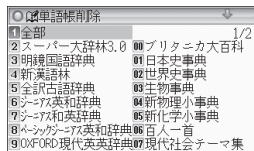
参考

- 単語帳の詳細画面で**後退**を押しても削除することができます。
- 単語帳データを削除しても、元の辞書データなどは消えません。

単語帳をまとめて削除する方法

1 **メニュー**を押し、「便利機能」から「各種設定」を選びます。

2 **▼**、**▲**で「単語帳削除」を選び**検索/決定**を押します。



3 **▼**、**▲**、**▶**、**◀**でコンテンツ、または「全部」を選び**検索/決定**を押します。

削除の確認画面が表示されます。

4 **Y**キーを押します。

マーカーだけをまとめて消去(削除)する方法

- 1 **メニュー** を押し、「便利機能」から「各種設定」を選びます。
- 2 **▼**、**▲** で「**マーカー削除**」を選び **検索/決定** を押します。
- 3 マーカーを消去するコンテンツなどを選び **検索/決定** を押します。
- 4 削除の確認画面で **Y** キーを押して削除します。

参考

- 上記操作でマーカーは消去されますが、単語帳のデータは削除されません。

画像から説明内容を探す

スーパー大辞林に収録されている画像から、説明内容を探することができます。

- 1 **メニュー** を押し「国語系」から「三省堂スーパー大辞林」を選びます。
- 2 「画像から探す」を選び、分野(例えば「動物」)、見たい項目(例えば「哺乳類」)を選んでいき、画像を表示させます。
- 3 **▽** **△** や **▼** **▲** で目的の画像を表示させます。
- 4 **検索/決定** を押し、説明などを表示させます。
- 5 **▽**、**▼** などで画面を送り説明などを読みます。

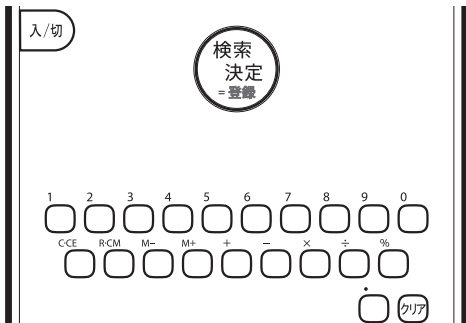
注意

- 「画像から探す」で表示される画像は、コンテンツに含まれる画像の中から抜粋しています。すべてを表示することはできません。

電卓機能を使う

電卓機能では、普通の四則計算の他に、消費税の計算ができます。

電卓で主に使うキー



電卓(消費税電卓)で計算する

12桁までの加減乗除、税込/税抜計算、メモリー計算などができます。
消費税率はあらかじめ5%に設定されています。

- 1 **メニュー** を押し「便利機能」から「電卓」を選びます。

電卓画面が表示されます。



- 消費税率の変更は、電卓画面で **△** を押すと表示される画面で税率を入れ、**検索/決定** を押し設定します。

参考

計算を始める前に

- 始めに **R・CM** **R・CM** **クリア** と押してメモリーと表示をクリアしてから計算してください。
- 消費税計算を行うときは税率を確認し、必要なときは設定し直してください(前記)。
- 最初が負数の計算は、減算記号(**-**)をマイナス記号として計算を始めることができます。
- 入力中に数字を入れまちがえたときは **C・CE** を押して、もう一度入れ直してください。
- 計算の途中や結果を示すため、画面に **=**、**M+**、**M-**、**+**、**-**、**×**、**÷** が表示されますが、以降の計算例では、これらは省略しています。

こんなときはエラーが出ます

計算結果の整数部が13桁以上になったときや、除数が0の除算をしたときなどは、画面に「**E**」が表示され、その後の計算ができなくなります。**C・CE** でエラーを解除してください。次のような概数表示では、小数点は兆の位を示します。

例：4567890123 **×** **E**
 4560 **=** 20.8295789608
C・CE 20.8295789608
 ↑
 兆の位

計算例・キー操作	表示(答)
加減乗除算 ● $(-24) \div 4 - 2 =$ クリア - 24 ÷ 4 - 2 =	- 8.
定数計算 ● $34 + 57 =$ 34 + 57 = 91. $45 + 57 =$ 45 = 102. (加数が定数となります)	
● $68 \times 25 =$ 68 × 25 = 1'700. $68 \times 40 =$ 40 = 2'720. (被乗数が定数となります)	
パーセント計算 ● 200の10%は? 200 × 10 % 20. ● 9は36の何% 9 ÷ 36 % 25.	
割増・割引計算 ● 200の10%増しは? 200 + 10 % 220. (または 200 × 10 % + =) ● 500の20%引きは? 500 - 20 % 400. (または 500 × 20 % - =)	

計算例・キー操作	表示(答)
べき乗計算 ● $4^6 = (4^3)^2 =$ 4 \times $=$ $=$ \times $=$	4'096.
逆数計算 ● $1/8 =$ 8 \div $=$	0.125
税込計算・税抜計算 ● 25000円の 税込額(5%)は? 25000 \blacktriangleleft	税込 26'250.
税額(5%)は? \blacktriangleleft	税額 1'250.
● 税込額が1050円と525円の 合計額は? 1050 $+$ 525 $=$	1'575.
税抜額(5%)は? \blacktriangleright	税抜 1'500.
税額(5%)は? \blacktriangleright	税額 75.

- $\overline{(-)}$ キーは $\overline{(H)}$ を押します。

計算例・キー操作	表示(答)
メモリー計算 ● (累計) $\overline{(R\cdot CM)}$ $\overline{(R\cdot CM)}$ * $25 \times 5 =$ 25 \times 5 $\overline{(M+)}$ M 125. -) $84 \div 3 =$ 84 \div 3 $\overline{(M-)}$ M 28. +) $68 + 17 =$ 68 $+$ 17 $\overline{(M+)}$ M 85. (計) = $\overline{(R\cdot CM)}$ M 182.	
● (定数記憶) $\overline{(R\cdot CM)}$ $\overline{(R\cdot CM)}$ * $12 + 14 =$ 12 $+$ 14 $\overline{(M+)}$ M 26. $35 \times (12 + 14) =$ 35 \times $\overline{(R\cdot CM)}$ $\overline{(=)}$ M 910. $(12 + 14) \div 5 =$ $\overline{(R\cdot CM)}$ \div 5 $\overline{(=)}$ M 5.2	

※計算の前にメモリーを消去します。
メモリーに0以外の数値が入ると、“M”が表示されます。

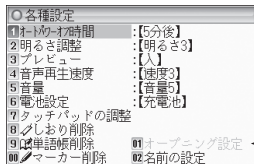
$\overline{(M+)}$ 、 $\overline{(M-)}$ は $\overline{(=)}$ の働きもかねています。

各種設定

使いやすく設定を変える方法を説明します。

1 **メニュー** を押し「便利機能」から「各種設定」を選びます。

各種設定リスト画面が表示されます。



名前を登録していないと、「オープニング設定」の項目は淡く表示され、選択することができません。

2 **▼**、**▲** で各項目を選び **検索/決定** を押す。または、項目左の番号を数字キーで選びます。

各設定画面などが表示されます。

以降、各種設定リストの選択操作は、次のように説明します。

例：各種設定リスト画面で「プレビュー」を選び **検索/決定** を押します。

参考

- 各種設定リスト画面からメインメニュー画面に戻るときは **戻る** を押します。
- しおり削除は、47ページをご覧ください。
- 単語帳削除／マーカー削除は54、55ページをご覧ください。

オートパワーオフ時間の設定

キー操作がなかったとき自動的に電源が切れる時間を設定します。

1 各種設定リスト画面で「オートパワーオフ時間」を選び **検索/決定** を押します。

オートパワーオフ時間設定画面が表示されます。

2 **▼**、**▲** で **✓** を移動させて時間を選び **検索/決定** を押します。

時間が設定されリスト画面に戻ります。

表示の明るさの調整

- 1 各種設定リスト画面で「明るさ調整」を選び **検索/決定** を押します。

明るさ調整画面が表示されます。

- 2 ◀、▶ や数字キー(①～⑤)で明るさを調整し **検索/決定** を押します。

明るさが設定されリスト画面に戻ります。

参考▶

- 約30秒間(音声再生中は約5秒間)キーを操作しないと画面が“明るさ1”相当になります。画面にタッチまたは何かキーを押せば戻ります。

プレビュー表示の入/切の設定

プレビュー表示(☞ 34ページ)を設定します。

- 1 各種設定リスト画面で「プレビュー」を選び **検索/決定** を押します。

プレビュー設定画面が表示されます。

- 2 ▼、▲ で“✓”を移動させて入/切を選び **検索/決定** を押します。

入/切が設定されリスト画面に戻ります。

音声再生速度の設定

音声再生時の速さを設定します。

- 1 各種設定リスト画面で「音声再生速度」を選び **検索/決定** を押します。

音声再生速度設定画面が表示されます。

- 2 ▼、▲ で“✓”を移動させて速度を選び **検索/決定** を押します。

速度が設定されリスト画面に戻ります。

音量の設定

- 1 各種設定リスト画面で「音量」を選び **検索/決定** を押します。

音量設定画面が表示されます。

- 2 ◀、▶ や数字キー(①～⑨)で音量を設定し **検索/決定** を押します。

音量が設定されリスト画面に戻ります。

使用する電池の設定

使用する電池を乾電池から充電電池に交換したときや、充電電池から乾電池に交換したときは、電池設定をしてください。

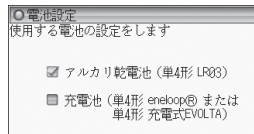
注意

市販の充電電池をご使用になる場合は、次のことをお守りください。発熱、発火、破裂、感電の原因になることがあります。

- 充電電池は三洋電機株式会社製の単4形eneloop®（エネルーブ）またはパナソニック株式会社製の単4形 充電式EVOLTA（エボルタ）をご使用ください。
これ以外の充電電池は使用しないでください。
- 充電は必ず各充電電池の専用の充電器をお使いください。
- 充電電池をご使用の際は、充電電池やその充電器の取扱説明書、注意書きなどを十分お読みいただき、条件を守ってご使用ください。

- 1 各種設定リスト画面で「電池設定」を選び **検索/決定** を押します。

電池設定画面が表示されます。



- 2 ▼、▲ で使用する電池（「アルカリ乾電池」または「充電電池」）を選び **検索/決定** を押します。

使用する電池が設定され、各種設定リスト画面に戻ります。

参考

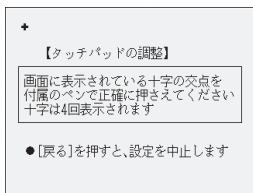
- 使用する電池と、上記の設定が一致していないと、電池残量検出が正しく行われなことがあります。

タッチパッドの調整

タッチパッド(表示部)は、ボタンなどが表示される位置と、実際にタッチしたと認識される位置がずれる場合があります、このずれが小さくなるように調整します。

1 各種設定リスト画面で「タッチパッドの調整」を選び「検索/決定」を押します。

タッチパッドの調整画面が表示され、左上に + マークが表示されます。



2 付属のタッチペンで + マークの中心(線の交点)に正確にタッチして離します。

タッチして離すと別の所に + が表示されるので同様にタッチします。+ は4カ所に表示されます。調整が終わると各種設定リスト画面に戻ります。

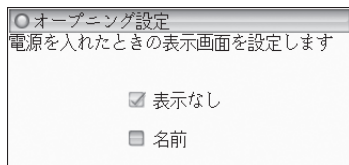
電源投入時の画面(オープニング画面)の設定

[入/切]キーで電源を入れたときに登録した名前を一定時間表示される画面(オープニング画面)に表示することができます。

表示なし : オープニング画面は表示しません。
名前 : 登録した名前を表示します。

1 各種設定リスト画面で「オープニング設定」を選び「検索/決定」を押します。

初期状態では「表示なし」になっています。



2 ▼、▲で“✓”を移動させてオープニングの設定を選び「検索/決定」を押します。

オープニング画面を表示しないようにするには

手順2で「表示なし」を選んで**検索/決定**を押します。

参考

- 各種設定リスト画面で「オープニング設定」の項目が淡く表示されている場合は、次の項目を参照して名前を登録してから、オープニング画面を設定してください。

電子辞書に名前を登録する

まちがえて電子辞書を他人が使用しないように、ご自身の名前を登録し、電源を入れたときのオープニング画面として表示させることができます。登録した名前は、他人が変更や消去できないように暗証番号(パスワード)で保護します。

注意

- 暗証番号は名前の保護用であり、電子辞書本体を保護(ロック)するものではありません。暗証番号を忘れても、電子辞書本体の機能は制限なく使用することができます。

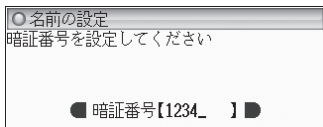
名前と暗証番号を登録する

- 1 各種設定リスト画面で「名前の設定」を選び**検索/決定**を押します。

暗証番号の入力画面が表示されます。

2 数字で暗証番号を入れます。

例：「1234」



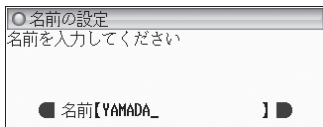
3 **検索/決定**を押します。

名前を入力画面が表示されます。

4 アルファベットで名前を入れます。

スペースや記号などは使えません。

例：「YAMADA」



5 **検索/決定**を押します。

名前と暗証番号が登録され、各種設定リスト画面に戻ります。

注意

- 暗証番号が分からなくなると、名前の変更や削除ができなくなります。
暗証番号は、必ず紙などに控え、他の人に見られない所に保管してください。誕生日や電話番号など、他の人に知られやすい番号は避けてください。
- 名前、暗証番号は本体を初期化しても消すことはできません。
なお、弊社では暗証番号の解除のご依頼をお受けすることはできません。

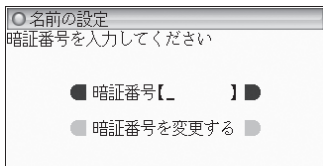
名前をオープニング画面に設定する

名前をオープニング画面として表示させるには、オープニング設定画面で、「名前」を選択して設定します。（「電源投入時の画面（オープニング画面）の設定」を参照）

登録している暗証番号を変更する

- 1 各種設定リスト画面で「名前の設定」を選び **検索/決定** を押します。

暗証番号入力／変更の選択画面が表示されます。

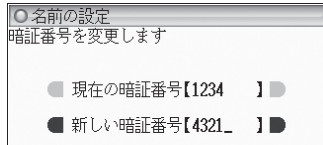


- 2 **▼** で「暗証番号を変更する」を選び、**検索/決定** を押します。

暗証番号の入力画面が表示されます。

- 3 現在の暗証番号を入れ、**▼** でカーソルを下に移して新しい暗証番号を入れます。

例：「4321」



- 4 **検索/決定** を押します。

暗証番号が変更され、各種設定リスト画面に戻ります。

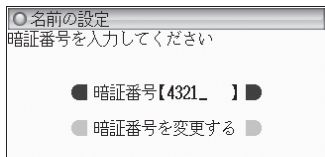
登録している名前を変更する

登録している名前を変更するときには次の手順で行います。

- 1 各種設定リスト画面で「名前の設定」を選び **検索/決定** を押します。

暗証番号入力／変更の選択画面が表示されます。

- 2 登録している暗証番号を入れます。
例：「4321」

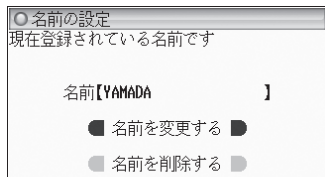


○ 名前設定
暗証番号を入力してください

■ 暗証番号【4321_】 ■

■ 暗証番号を変更する ■

- 3 **検索/決定** を押します。
名前の変更／削除選択画面が表示されます。



○ 名前設定
現在登録されている名前です

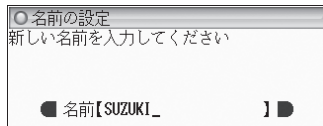
名前【YAMADA_】

■ 名前を変更する ■

■ 名前を削除する ■

- 4 **▼**、**▲** で「名前を変更する」を選んで
検索/決定 を押します。
名前の入力画面が表示されます。

- 5 アルファベットで名前を入れます。
例：「SUZUKI」



○ 名前設定
新しい名前を入力してください

■ 名前【SUZUKI_】 ■

- 6 **検索/決定** を押します。
名前が変更され、各種設定リスト画面に戻ります。

登録している名前、暗証番号を削除する

登録している名前、暗証番号を削除するとき
は次の手順で行います。名前を削除すると
暗証番号も削除されます。

- 1 先の「登録している名前を変更する」の
手順1～3を行います。

2 **▼**、**▲**で「名前を削除する」を選んで
検索/決定を押します。

名前削除の確認画面が表示されます。

3 **Y**キーを押します。

名前が削除され、各種設定リスト画面に戻ります。

- **N**キーを押したときは削除を中止して各種設定リスト画面に戻ります。

コンテンツ説明編



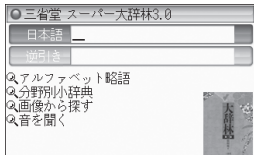
国語系	69
英語系	73
理科&社会	74
学習(英語Ⅰ)	76
学習(英語Ⅱ)	80
学習(その他)	83
コンテンツの凡例	87

国語系

三省堂 スーパー大辞林

日本語

調べたい言葉(仮名または漢字)を入れます。



逆引き

調べたい言葉の後ろにつく文字(例:「つばき」)を入れます。

アルファベット略語

調べたい略語のスペリングを入れる。または項目を選びます。

分野別小辞典

分類：季語 慣用句 人名 地名 作品名
動植物 芸術・芸能

季語 人名 地名 作品名 動植物
芸術・芸能

項目を選択後、調べたい言葉の読みを入れます。

慣用句

読み 慣用句の読みの先頭2文字を入れます。

キーワード 慣用句に含まれる言葉を3種類まで入れます。

画像から探す

分野を選んでいって画像を表示させ(▼)、
(▲)などで目的の画像を探します。
画像を表示させて**検索/決定**を押すと説明
などが表示されます。

音を聞く

クラシック音楽のさわり、鳥の鳴き声、虫の鳴き声、その他が収録されています。各項目を選んでいって再生させます。再生中に**検索/決定**を押すと説明などが表示されます。

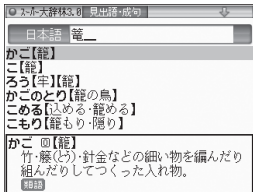
参考

●見出し語

スーパー大辞林3.0では関係のある言葉が検索できるように、いくつかの見出し語で工夫がされています。

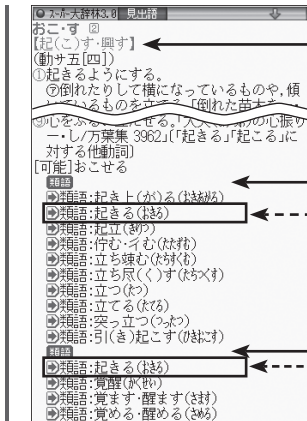
例「箆」を入力すると「籠」がリストに表示される。

※箆は籠の異体字です。



●類語表示

スーパー大辞林3.0には類語が収録されている見出し語があります。意味の似た言葉や関係のある言葉を表示するので、別の言葉に言い換えたときなどに役立ちます。



見出し語と同じ意味を持つ類語を表示

類語は意味合いの似た語ごとに区分されています。

なお、1つの語が複数の意味合いを持つ語は、複数の区分に収録されている場合があります。

収録音声データ著作権保有者

クラシック音楽：

© 2007 Naxos Japan, Inc.

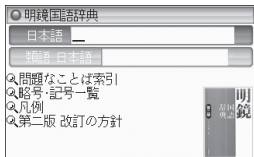
鳥・虫などの鳴き声：

© 2007 上田秀雄ネイチャーサウンド

明鏡国語辞典 第2版

日本語

調べたい言葉(仮名または漢字)を入れます。



類語 日本語

調べたい言葉(仮名または漢字)を入れ、類語を調べます。

問題なことは索引

「誤用」や「敬語」、その他「気になることば」に関わる解説などの主なものを索引から検索することができます。

略号・記号一覧

略号や記号の表記などを見ることができます。

凡例

編集要旨(凡例)などを見ることができます。

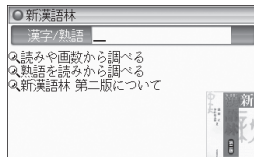
第二版 改訂の方針

第二版 改訂の方針を見ることができます。

新漢語林 第二版

漢字/熟語

手書き入力パッドで漢字を手書き入力して検索します。



読みや画数から調べる

単漢字の読みや画数を入力して検索します。

- 音訓読み
漢字の読み(音読み、訓読み)を1～2種入れます。
- 部首読み
部首の読みを入れます。
- 部首画数
部首の画数を入れ **検索/決定** を押し、表示さ

れる部首の候補選択画面から部首を選択して**検索/決定**を押して部首を入れます。

- 部首内画数

部首以外の画数を入れ**検索/決定**を押し、表示される候補選択画面から選択します。

- 総画数

漢字の総画数を入れます。

熟語を読みから調べる

熟語の読みを入力して検索します。

新漢語林 第二版について

この辞典の編集要旨(凡例)などを表示します。

全訳古語辞典

日本語

調べたい言葉(仮名または漢字)を入れます。



カラー挿絵を見る

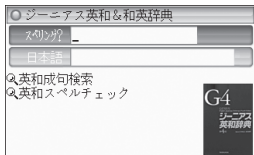
各分類などを選んでいって、挿絵を表示させます。

英語系

ジーニアス英和 & 和英辞典

スペリング (英和辞典)

調べたい単語のスペリングを入れます。



日本語 (和英辞典)

調べたい言葉(仮名または漢字)を入れます。

英和成句検索

3つ以内の単語(スペリング)を入れ、それらをすべて含んだ成句(熟語)を調べます。

英和スペルチェック

確信がもてない単語(スペリング)を入れ、該当する単語を英和辞典で調べます。

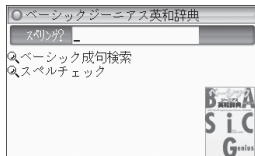
参考

- **プラス** マークは追加された「ジーニアス用例プラス」の例文を示します。

ベーシックジーニアス英和辞典

スペリング

調べたい単語のスペリングを入れます。



ベーシック成句検索

単語(スペリング)を1~3語入れ、それをすべて含んだ成句(熟語)を調べます。

スペルチェック

確信がもてない単語(スペリング)を入れ、該当する単語を英和辞典で調べます。(「英単語のスペルチェックをする」を参照)

OXFORD現代英英辞典

スペリング

調べたい単語の
スペリングを入
れます。



英英成句検索

単語（スペリング）を1～3語入れ、それ
をすべて含んだ成句（熟語）を調べます。

英英スペルチェック

確信がもてない単語（スペリング）を入れ、
該当する単語を英英辞典で調べます。「英
単語のスペルチェックをする」を参照

この辞典について

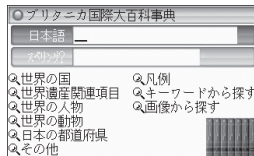
この辞典についての解説を見ます。

理科 & 社会

ブリタニカ国際大百科事典

日本語

調べたい言葉（仮
名または漢字）を
入れます。



スペリング

調べたい語のスペリングを入れます。

世界の国

世界遺産関連項目

世界の人物

世界の動物

日本の都道府県

その他

凡例

キーワードから探す

画像から探す

それぞれ、各項目を選んでいきます。「キー

ワードから探す」を選ぶと、キーワード入力画面になります。キーワードを入力し、そのキーワードを含む内容を探します。

本製品に収録しているブリタニカ国際大百科事典 小項目電子辞書版は、当社に著作権を許諾いただいたデータを電子辞書用に編集して収録したものです。

日本史事典・世界史事典

日本語

調べたい言葉(仮名または漢字)を入れます。



生物事典

日本語

調べたい言葉(仮名または漢字)を入れます。



新物理小事典・新化学小事典

日本語

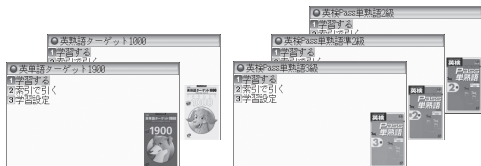
調べたい言葉(仮名または漢字)を入れます。



学習（英語 I）

英単語ターゲット1900・
英熟語ターゲット1000

英検Pass単熟語（3級・準2級・2級）



学習する

タイトル、見出し語を選んで見出し語表示画面にし、表示された語の意味などを考えた後▶または**〔検索/決定〕**で意味表示画面にして、考えた意味などが合っているか確認します。

もう一度▶または**〔検索/決定〕**を押すと次

の見出し語表示画面になりますので、同様に意味などを考え、確認していきます。

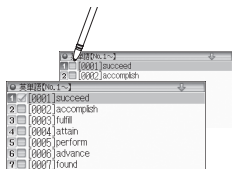
- ◀を押すと逆順で送られます。
- 見出し語表示画面で▼▲を押すと次または前の見出し語が表示されます。
- 「英単語ターゲット1900」および「英検Pass単熟語」の意味表示画面では、意味などの一部（赤色文字）を隠して学習することができます。**〔切替〕**を押すと画面上部のタブが交互に選べられ、表示/非表示画面が切り替わります。

なお、通常、意味表示画面の赤文字を表示/非表示のどちらにするかは、下記の「学習設定」で設定することができます。

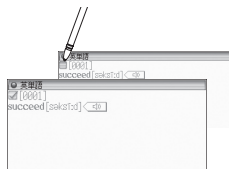
- <🔊>が表示されている画面では発音を聞くことができます。
 - ・発音を聞いたあとは、**〔戻る〕**ボタンを押して<🔊>の反転表示を解除し、<🔊>に戻してから次の操作を行ってください。
- 学習項目にチェックを付け、学習設定でチェックを付けた項目を学習リストに表示、または非表示にすることができます。

<チェックの付け方>

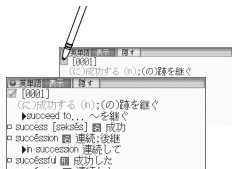
- ・「学習リスト」などに表示されるチェック欄(□)をタッチペンでタッチすることで項目にチェックを付けることができます



〔学習リスト画面〕



〔見出し語表示画面〕



〔意味表示画面〕

索引で引く

スペリングを入れて単語(見出し語)を検索し、「学習する」と同じ操作で学習します。

- 「英熟語ターゲット」では、入力した単語を含む熟語が検索されます。

学習設定

設定画面で▼、▲を押して設定したい項目を選び**検索/決定**を押します。

〔学習リスト表示〕

学習リストに表示する内容を設定します。

- すべて表示**
- チェックのみ表示**
- 未チェックのみ表示**

〔訳・説明表示〕*

意味表示画面で、通常、赤文字(訳や説明など)を表示するか否か設定します。

- 表示する** 通常は表示
- 隠す(表示しない)** 通常は非表示

※「英熟語ターゲット」の学習設定に[訳・説明表示]は表示されません。

〔チェック削除〕

チェックを全て削除します。

【英単語ターゲットの記号説明】

- 派生語、関連語
- ▶ 熟語、表現
- ▷ 補足説明
- 品詞の表示

動 動詞

名 名詞

形 形容詞

副 副詞

前 前置詞

接 接続詞

代 代名詞

助 助動詞

* 見出し語訳に「を」「に」などがあれば他動詞、なければ自動詞。

- 関連情報の表示

⇔ 反意語 ≡ 類義語 = 同意語

☒ アメリカ式英語 ☒ イギリス式英語

(～s) 複数形

(the～) 冠詞theを伴う

略：略称

- 語句表示

[] 言い換え可能 () 省略可能

to do 不定詞 doing 動名詞・現在分詞

A, B 対照的な語句、主に人(oneの変わりに)を表す

【英熟語ターゲットの記号説明】

- ▶ 補足説明

- 語句表示

[] 言い換え可能 () 省略可能

新TOEIC® テスト文法特訓

- TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS). This (publication/product) is not endorsed or approved by ETS.

最初の画面(学習項目選択画面)

で学習項目を選

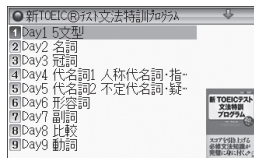
び、表示される

学習方法選択画

面で学習方法を

選択します。

隠れている項目は▼や▽で表示させます。



解説で学習し練習問題を解く

この項目を選ぶと解説が表示されますので、▼や▽で画面を送りながら読んでいきます。

◀▶が表示されたときは直前の例文の音声を再生することができます。

解説の画面で**検索/決定**を押すと、**次操作選択画面**に次の項目が表示されます。

[練習問題を解く]

練習問題が表示されます。

[次の日の学習をする(練習問題をスキップ)]

次の学習項目の学習方法選択画面が表示されます。

[学習を終了する]

学習項目選択画面に戻ります。

練習問題を解く

問題画面に穴埋め問題が表示されます。

問題文の----- 箇所に入る最適語を**①**、**②**、**③**、**④**キーで、4つの候補の中から選び、**検索/決定**または▶を押して解答します。

解答すると次の問題が表示されます。

20問解答すると**結果確認画面**が表示されます。

結果確認画面で、問題番号を数字キーで選

ぶと、その問題の**解答・解説画面**が表示されます。

- 問題画面や解答・解説画面で問題を表示しているとき◀、▶を押すと前または次の問題が表示されます。
- 問題画面で20問目を表示しているとき、▶や**検索/決定**を押すと結果確認画面になります。
- 解答・解説画面で**切替**を押すと画面上部のタブが切り替わり、問題の日本語訳や解説を見ることができます。
- 結果確認画面で「**21 次の日の学習へ**」を選ぶと、結果確認を終了させ、次の学習項目の学習方法選択画面が表示されます。
- 結果確認画面で「**22 終了する**」を選ぶと、結果確認を終了させ、練習結果を消去します。

学習（英語Ⅱ）

キクタンTOEIC® Test Score 600・ キクタンTOEIC® Test Score 800

- TOEIC is a registered trademark of Educational Testing Service (ETS). This (publication/product) is not endorsed or approved by ETS.

チャンツで学習 (リスニング)

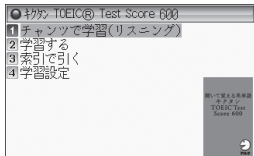
学習するタイトルを選びます。
選んだタイトル

内の見出し語(単語など)が、リズムに乗せて読み上げられます。

- チャンツを中止するときは**戻る**を押します。
- 再生中に**▼****▲**を押すと前後のタイトルに切り替わります。

学習する

タイトル、見出し語を選んで**見出し語表示画面**にし、表示された語の意味などを考え



た後**▶**または**検索/決定**で意味表示画面にして、考えた意味などが合っているか確認します。

もう一度**▶**または**検索/決定**を押すと次の見出し語表示画面になりますので、同様に意味などを考え、確認していきます。

- ◀**を押すと逆順で送られます。
- 見出し語表示画面で**▼****▲**を押すと次または前の見出し語が表示されます。
- 意味表示画面では、意味などの一部(赤色文字)を隠して学習することができます。

切替を押すと画面上部のタブが交互に選ばれ、表示/非表示画面が切り替わります。

なお、通常、意味表示画面の赤文字を表示/非表示のどちらにするかは、下記の「学習設定」で設定することができます。

- 学習項目にチェックを付け、学習設定でチェックを付けた項目を学習リストに表示、または非表示にすることができます。チェックの付け方は「英単語ターゲット」の[学習する]を参照してください。

索引で引く

スペリングを入れて単語(見出し語)を検索し、「学習する」と同じ操作で学習します。

学習設定

設定画面で▼、▲を押して設定したい項目を選び**検索/決定**を押します。

[学習リスト表示]

学習リストに表示する内容を設定します。

- すべて表示**
- チェックのみ表示**
- 未チェックのみ表示**

[訳・説明表示]

意味表示画面で、通常、赤文字(訳や説明など)を表示するか否か設定します。

- 表示する** 通常は表示
- 隠す(表示しない)** 通常は非表示

[表示項目]

意味表示画面に表示させる内容を設定します。

- 基本** 意味などを表示。意味を重点的に学習
 - 基本+フレーズ** 熟語なども表示。意味に加え熟語なども学習
 - 基本+フレーズ+例文** 例文なども表示。意味や熟語などに加え例文でも学習
- 注) は、初期の設定項目を示します。

[チェック削除]

チェックを全て削除します。

【キクタンの記号説明】

- **〔名〕、〔動〕、〔形〕、〔副〕、〔前〕、〔接〕、〔間〕*** : 順に、名詞、動詞、形容詞、副詞、前置詞、接続詞、間投詞*を表します。
※〔間〕はキクタンTOEIC® Test Score 800でのみ表示されます。
- **見出し中の[]** : 言い換え可能を表します。
- **見出し中の()** : 省略可能を表します。

キクジユクBasic 1800・ キクジユクSuper 3600

【キクジユクの記号説明】

- **見出し中のA、B**：語句(主に名詞・代名詞)が入ることを表します。
- **見出し中のbe**：be動詞が入ることを表します。be動詞は主語の人称・時制によって変化します。
- **見出し中のdo**：動詞が入ることを表します。
- **見出し中のdoing**：動名詞が入ることを表します。
- **見出し中のoneself**：再帰代名詞が入ることを表します。主語によって再帰代名詞は異なります。
- **見出し中のone's**：名詞・代名詞の所有格が入ることを表します。
- **見出し中の「～」**：節(主語+動詞)が入ることを表します。
- **意味の中の()**：補足説明を表します。
- **意味の中の[]**：言い換えを表します。
- **[!]**：発音、アクセント、定義に注意すべき単語についています。
- **[+]**：補足説明を表します。
- **≡**：同意・類義語[熟語]を表します。
- **⇔**：反意・反対語[熟語]を表します。

- **熟語中の()**：省略可能を表します。
- **熟語中の[]**：言い換え可能を表します。
- **熟語中のA、B**：語句(主に名詞・代名詞)が入ることを表します。
- **熟語中のbe**：be動詞が入ることを表します。be動詞は、主語の人称・時制によって変化します。
- **熟語中のdo**：動詞が入ることを表します。動詞は、主語の人称・時制によって変化します。
- **熟語中のdoing**：動詞の動名詞形または現在分詞形(-ing形)が入ることを表します。
- **熟語中のoneself**：再帰代名詞が入ることを表します。主語によって再帰代名詞は異なります。

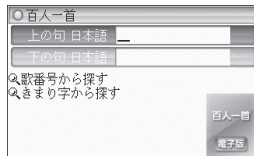
- 熟語中のA's：名詞・代名詞の所有格が入ることを表します。
 - 熟語中の「～」「…」※：節(主語＋動詞)が入ることを表します。
 - [!]※：基本動詞・前置詞・副詞の用法の種類を表します。
 - [+]：熟語中の語彙の意味または定義中の追加説明を表します。
 - [元]：その熟語の元々の意味を表します。
 - ≡：同意熟語・同意語または類義熟語・類義語を表します。
 - ⇔：反意熟語・反意語または反対熟語・反対語を表します。
 - 意味の中の()：補足説明を表します。
 - 意味の中の[]：言い換えを表します。
- ※「…」はキクジユクSuper3600のみ、[!]はキクジユクBasic1800のみで表示されます。

学習（その他）

百人一首

上の句 日本語

上の句の初めの言葉（仮名または漢字）を入れて歌を調べます。



下の句 日本語

下の句の初めの言葉（仮名または漢字）を入れて歌を調べます。

歌番号から探す

番号を選んで歌を調べます。

きまり字から探す

きまり字を選んで歌を調べます。

参考

- きまり字とは、先頭から何文字かが分ると、どの歌が決まる文字のことです。
- 音声は上の句、下の句を連続して再生します。片方だけの再生は行えません。

数学公式集

数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学Bの4科目から重要公式180をとりあげ、公式の導き方、使い方、注意、参考、覚え方など幅広く解説しています。

日本語

調べたい公式の語（仮名または漢字）を入れます。



数学Ⅰ [1]~[38]

数学A [39]~[80]

数学Ⅱ [81]~[142]

数学B [143]~[180]

各項目や公式名を選んでいきます。

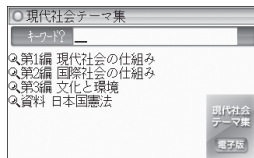
参考

- 重要度を★の数で表示しています。数が多いほど重要な公式です。
- ただし、数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学Bの範囲を越えるものや、やや程度の高いものについては表示されません。
- タイトル(公式名)の前に[113]などの番号(連番)をつけています。解説などで、[97]などの番号が記載されている場合は、その番号の公式を示していますので、参照してください。

現代社会テーマ集

キーワード

調べたいキーワードを入れます。



第1章 現代社会の仕組み

第2章 国際社会の仕組み

第3章 文化と環境

資料 日本国憲法

各分類を選んでいきます。

▶参考◀

- 各テーマの重要度を★の数で示しています。
★ …… 一般的 ★★ …… 重要
★★★★ …… 最重要

漢字ターゲット1700

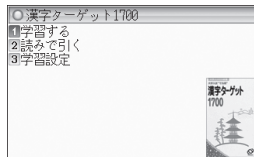
「漢字ターゲット1700」の詳細画面に表示される48ドット漢字(大きい漢字)は教科書などで使用される字形に合わせています。本製品の他の辞書などで使用されている漢字の字形は、JISの漢字表に準拠しており、「漢字ターゲット1700」や一般の辞典などに採用されている字形と異なることがあります。漢字の学習には、「漢字ターゲット1700」の字形により学習ください。

学習する

学習の種類や範囲を選んで問題例を表示させく)で囲まれた

部分の漢字または読みを学習します。次の問題例は▶で表示させます。

〔切替〕で漢字または読みの表示、非表示を切り替えることができます。



▶参考◀

- 説明内容には、難語句の意味のほか、次の記号で示す発展・参考事項を収録しています。
(対)… 対義語・対照語 (類)… 類義語
(語)… よく使われる語例 (注)… 注意事項

読みで引く

収録されている漢字の読みを入れ、漢字を調べます。

学習設定

設定画面で▼、▲を押して設定したい項目を選び〔検索/決定〕を押します。

[学習リスト表示]

学習リストに表示する内容を設定します。

- すべて表示**
- チェックのみ表示**
- 未チェックのみ表示**

[訳・説明表示]

意味表示画面で、通常、赤文字(訳や説明など)を表示するか否か設定します。

- 表示する** 通常は表示
- 隠す(表示しない)** 通常は非表示

[チェック削除]

チェックを全て削除します。

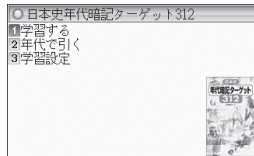
日本史年代暗記ターゲット312・ 世界史年代暗記ターゲット315

収録されている年代のゴロあわせや年代の解説を表示させて学習することができます。

学習する

学習の種類や範囲を選んで学習内容を表示させて学習します。

で次の内容を表示させて学習します。



年代で引く

収録されている出来事を、年代順のリストから選んでいきます。

学習設定

「漢字ターゲット1700」と同様の操作で表示する内容を設定することができます。

コンテンツの凡例

スーパー大辞林3.0

1. 見出し

- 見出しは現代仮名遣いによる。
- 和語・漢語は平仮名、外来語は片仮名で表示。
- 見出しの中の「・」は活用する語の語幹と語尾との区切りを示す。
「○」は、○以下が語幹語尾の区別のできない活用語であることを示す。

2. 歴史的仮名遣い

歴史的仮名遣いが見出しと異なる場合は、見出しの次に、異なる部分をひらがなで示した。見出しと一致する部分は — の記号で省略した。

3. アクセント

現代語の見出しには共通語としてのアクセントを示した。

→「この辞書のアクセント表示」参照

4. 表記形

- 【 】の中に標準的な書き表し方を示した。
【 】の中の漢字が「常用漢字表」にないものには「▶」、その漢字が「常用漢字表」にはあるが、見出しに相当する音訓が示されていないものには「▷」を付した。「常用漢字表」の「付表」の語は〈 〉で囲んで示した。
- 送り仮名は、内閣告示「送り仮名の付け方」の通則に基づいて示した。
- 外来語については【 】の中に綴りを示した。
ギリシャ語・梵語等はローマ字綴りに直した。

5. 品詞・活用

- 見出し語の品詞・活用の種類を()の中に略語で示した。但し、名詞には品詞表示を省略した。
→「略語・記号一覧」参照
- 動詞には活用の行を示した。
- 主な助動詞には活用を示した。
- スルは、サ変動詞としての用法があることを示す。

6. 文語形

活用語で口語形と文語形の異なるものは、口語形見出しのあとに☒として活用の種類と文語形を示した。

7. 解説

- 1 現代語として用いられる意味・用法を先に、古語としての意味・用法をあとに記述した。
- 2 専門用語については『 』の中に適宜その分野を示した。
→「略語・記号一覧」参照
- 3 解説をすべて他の見出しで行なっている場合は☑解説: で示し、参照項目はその見出しを☑で示した。

8. 用例

- 1 用例は語釈のあとに「 」で囲んで示した。
- 2 用例中の見出し語に相当する部分は一で略した。
活用語は、語幹の部分を 一・ で略した。語幹語尾の区分のできない語は略していない。
- 3 出典名・作者名は、適宜略称を用いて示した。

9. 漢字見出し

- 1 熟語として一般によく用いられる漢字を、その漢字の代表字音で配列し、解説した。たとえば、「あ」という代表字音をもつ漢字を【あ】[漢]というタイトルのもとに示してある。

略語・記号一覧

○品詞欄	
(名)	名詞
(代)	代名詞
(動五)	動詞五段活用
(動五[四])	動詞口語五段活用・文語四段活用
(動四)	動詞四段活用
(動上一)	動詞上一段活用
(動上二)	動詞上二段活用
(動下一)	動詞下一段活用
(動下二)	動詞下二段活用
(動力変)	動詞力行変格活用
(動サ変)	動詞サ行変格活用
(動ナ変)	動詞ナ行変格活用
(動ラ変)	動詞ラ行変格活用
(動特活)	動詞特別活用
(形)	形容詞

(形ク)	形容詞ク活用
(形シク)	形容詞シク活用
(形動)	形容動詞
(形動ナリ)	形容動詞ナリ活用
(形動タリ)	形容動詞タリ活用
(ト/タル)	「～と」(副)「～たる」(連体詞)の形で用いられるもの

(連体)	連体詞	(間投助)	間投助詞
(副)	副詞	(並立助)	並立助詞
(接続)	接続詞	(準体助)	準体助詞
(感)	感動詞	(接頭)	接頭語
(助動)	助動詞	(接尾)	接尾語
(格助)	格助詞	(連語)	連語
(接助)	接続助詞	(枕詞)	枕詞
(副助)	副助詞	スル	サ変動詞の用法
(係助)	係助詞		
(終助)	終助詞		

○専門用語

〔哲〕	哲学	〔心〕	心理学
〔論〕	論理学	〔法〕	法律
〔倫〕	倫理学	〔経〕	経済
〔仏〕	仏教	〔教〕	教育
〔言〕	言語学	〔医〕	医学

〔生〕	生物学	〔気〕	気象学
〔数〕	数学	〔電〕	電気工学
〔物〕	物理学	〔機〕	機械工学
〔化〕	化学	〔建〕	建築
〔天〕	天文学	〔音〕	西洋音楽
〔地〕	地学	〔美〕	美学・美術

○記号

①②③…	アクセント	[慣用]	慣用句
《 》	主に使用する漢字	[表記]	同訓の漢字の使い分け
㊦	文語形	⇒対義語:	対義語
㊧	季語	⇒	参照項目
[可能]	可能動詞	⇒解説:	解説
[派生]	派生語	⇒類語:	類語

アクセント表示

(1) 見出し語のうち、現代語および現代でも使用されることのある語にアクセントを示した。ただし、方言、古語、人名・地名・作品名などのいわゆる固有名詞、仏教その他特殊な専門用語、および付属語には原則として示さな

かった。また、二語以上の要素から成る語で一語化の度合いが薄く、それぞれの構成要素のアクセントから類推できると思われる語にも示さなかったものが多い。

- (2) 本辞典で示したアクセントは、現在テレビ・ラジオなどで用いられている全国共通語のアクセントである。
- (3) アクセントは単語ごとに、高く発音される部分から低く発音される部分へ移る境目の音が何番目の音であるかを①②③・・・によって示した。低くならない語は④とした。動詞・形容詞など活用する語は、見出し語としての終止形のアクセントのみを示した。また「十人十色」(ジューニン・トイロ)(傍線の部分を高く発音する)などのように、一つの見出し語に二つのアクセントの単位を含むものは①-①のように示した。
- なお、例えば「うらとりひき」では③④と示しているが、これは、③にアクセントがある場合も、④にアクセントがある場合もある、ということを示している。




























○この辞書のアクセント表示

- 日本語のアクセントは、単語を発音するとき

に、その単語の中の個々の「拍」を高く発音するか低く発音するかによって決まる。「拍」というのは日本語の音の長さの単位で、「シャ・チュ・キョ」などの拗音はカナ2字で1拍である。現在、東京の言葉を基盤として日本全国で共通に使われている「全国共通語」では、アクセントの種類は、語の拍数によって決まっている。

- アクセントの種類は大きく「平板式」と「起伏式」とに分けられる。
- 共通語ではすべての単語において、1拍目と2拍目との間に音の高低の変化がある。
- 平板式は2拍目で高くなったあと、高低の変化がなく、アクセントは一種類だけである。
- 起伏式は、音が低くなったあとに続く部分には音の高低の変化がない。起伏式をさらに細かく分けるときは、1拍目だけ高く、あとは低いものを「頭高型」といい、2拍語で2拍目が高くその語に続いて発音される助詞などは低い場合など、単語の最後の拍が高くそのあとで音が低くなるものを「尾高型」、その他の起伏式のアクセントを「中高型」という。
- 動詞・形容詞など「活用のある語」は、活用形によってアクセントが変わる。

図 日本語のアクセントの型

	平板式	起 伏 式					
		頭高型	中高型・尾高型 ()				
	①	②	③	④	⑤	⑥	
一拍語	 ナ 名	 キ 木					
二拍語	 ミス 水	 アキ 秋	 ハナ 花				
三拍語	 カイシャ 会社	 デンキ 電気	 オカシ お菓子	 オトコ 男			
四拍語	 ダイガク 大学	 ブンガク 文学	 ユキグニ 雪国	 サイジキ 歳時記	 オトオト 弟		
五拍語	 チュウゴクゴ 中国語	 シャアベット シャーベット	 フケウリツ 普及率	 ヤマノボリ 山登り	 コガタバス 小型バス	 モモノハナ 桃の花	
六拍語	 ケンブツニン 見物人	 ケンモホロロ けんもほろろ	 オマワリサン お巡りさん	 キンコンシキ 金婚式	 コクゴジテン 国語辞典	 タンサンガス 炭酸ガス	 ジュウイチガツ 十一月

① 平板式：二拍目で高くなってから高低の変化がない

② 起伏式・頭高型：一拍目だけ高く、あとは低い

③ 起伏式・中高(尾高)型：二拍目だけ高く、あとは低い

④ 起伏式・中高(尾高)型：二～三拍目が高く、あとは低い

⑤ 起伏式・中高(尾高)型：二～四拍目が高く、あとは低い

⑥ 起伏式・中高(尾高)型：二～五拍目が高く、あとは低い

⑦ 起伏式・中高(尾高)型：二～六拍目が高く、あとは低い

【文節・活用形のアクセント例】

- 本辞典では、現代語のほとんどの項目にアクセントを示してある。しかし、実際に発音されるときは、助詞・助動詞や接辞を伴ったり、活用形であったりすることが多い。ここには文節の形や活用形の場合のアクセントのおもな例を掲げた。傍線は高く発音する部分であり、—のところで下がることを示す。

平板式名詞「みず〔水〕」

ミズサエ 水さえ
 ミズシカ 水しか
 ミズスラ 水すら
 ミズダ 水だ
 ミズダソーダ 水だそうだ
 ミズダロー 水だろう
 ミズデショー 水でしょう
 ミズデス 水です
 ミズデワ 水では
 ミズナド 水など
 ミズニワ 水には

ミズノ 水の
 ミズバカリ 水ばかり
 ミズマデ 水まで
 ミズヨリ 水より

起伏式名詞「よる〔夜〕」

ヨルサエ 夜さえ
 ヨルシカ 夜しか
 ヨルスラ 夜すら
 ヨルダ 夜だ
 ヨルダソーダ 夜だそうだ
 ヨルダロー 夜だろう
 ヨルデショー 夜でしょう
 ヨルデス 夜です
 ヨルデワ 夜では
 ヨルナド 夜など
 ヨルニワ 夜には
 ヨルノ 夜の
 ヨルバカリ 夜ばかり
 ヨルマデ 夜まで
 ヨルヨリ 夜より

平板式動詞「くらべる〔比べる〕」

くらべ(くらべ) 比べ(連用形)
くらべさせル 比べさせる
くらべズライ 比べづらい
くらべタ 比べた
くらべタイ 比べたい
くらべタリ 比べたり
くらべテ 比べて
くらべナイ 比べない
くらべナガラ 比べながら
くらべニクイ 比べにくい
くらべマス 比べます
くらべヨ 比べよ
くらべヨ一 比べよう
くらべラレル 比べられる
くらべル 比べる(終止形・連体形)
くらべルカラ 比べるから
くらべルケレド 比べるけれど
くらべルソーダ 比べるそうだ
くらべルダロ一 比べるだろう
くらべルデショ一 比べるでしょう

くらべルナ 比べるな(禁止)
くらべルノデ 比べるので
くらべルホド 比べるほど
くらべルヨ一ダ 比べるようだ
くらべルラシイ 比べるらしい
くらべレバ 比べれば
くらべロ 比べろ
くらべワ 比べは(しない)

起伏式動詞「しらべる〔調べる〕」

しらべ 調べ(連用形)
しらべさせル 調べさせる
しらべズライ 調べづらい
しらべタ 調べた
しらべタイ 調べたい
しらべタリ 調べたり
しらべテ 調べて
しらべナイ 調べない
しらべナガラ 調べながら
しらべニクイ 調べにくい
しらべマス 調べます

シラ^レベヨ (シラ^レベヨ) 調べよ
 シラ^レベヨ^一 調べよう
 シラ^レベラ^レル 調べられる
 シラ^レベル 調べる(終止形・連体形)
 シラ^レベルカラ 調べるから
 シラ^レベルケレド 調べるけれど
 シラ^レベルソーダ 調べるそうだ
 シラ^レベルダロー 調べるだろう
 シラ^レベルデショー 調べるでしょう
 シラ^レベルナ 調べるな(禁止)
 シラ^レベルノデ 調べるので
 シラ^レベルホド 調べるほど
 シラ^レベルヨーダ 調べるようだ
 シラ^レベルラシイ 調べるらしい
 シラ^レベレバ 調べれば
 シラ^レベロ 調べろ
 シラ^レベワ 調べは(しない)

平板式形容詞「つめたい〔冷たい〕」

ツメ^レタイ 冷たい(終止形・連体形)
 ツメ^レタイカラ 冷たいから

ツメ^レタイケレド 冷たいけれど
 ツメ^レタイシ 冷たいし
 ツメ^レタイソーダ 冷たいそうだ
 ツメ^レタイダロー 冷たいだろう
 ツメ^レタイデショー 冷たいでしょう
 ツメ^レタイデス 冷たいです
 ツメ^レタイト 冷たいと
 ツメ^レタイナ 冷たいな
 ツメ^レタイノ 冷たいの
 ツメ^レタイノデ 冷たいので
 ツメ^レタイバカリ 冷たいばかり
 ツメ^レタイホド 冷たいほど
 ツメ^レタイヤラ 冷たいやら
 ツメ^レタイヨーダ 冷たいようだ
 ツメ^レタイラシイ 冷たいらしい
 ツメ^レタカッタ 冷たかった
 ツメ^レタガル 冷たがる
 ツメ^レタカロー 冷たかろう
 ツメ^レタク 冷たく(連用形)
 ツメ^レタクテ 冷たくて
 ツメ^レタクナイ 冷たくない

ツメ^レタクワ 冷たくは
ツメ^レタゲ 冷たげ
ツメ^レタケレバ 冷たければ
ツメ^レタサ 冷たさ
ツメ^レタソーダ 冷たそうだ

起伏式形容詞「うれしい〔嬉しい〕」

ウレ^シイ 嬉しい(終止形・連体形)
ウレ^シーカラ 嬉しいから
ウレ^シーケレド 嬉しいけれど
ウレ^シーシ 嬉しいし
ウレ^シーソーダ 嬉しいそうだ
ウレ^シーダロー 嬉しいだろう
ウレ^シーデショー 嬉しいでしょう
ウレ^シーデス 嬉しいです
ウレ^シート 嬉しいと
ウレ^シーナ 嬉しいな
ウレ^シーノ 嬉しいの
ウレ^シーノデ 嬉しいので
ウレ^シーバカリ 嬉しいばかり
ウレ^シーホド 嬉しいほど

ウレ^シーヤラ 嬉しいやら
ウレ^シーヨーダ 嬉しいようだ
ウレ^シーラシイ 嬉しいらしい
ウレ^シカッタ 嬉しかった
ウレ^シガル 嬉しがる
ウレ^シカロー 嬉しかろう
ウレ^シク 嬉しく(連用形)
ウレ^シクテ 嬉しくて
ウレ^シクナイ 嬉しくない
ウレ^シクワ 嬉しくは
ウレ^シゲ 嬉しげ
ウレ^シケレバ 嬉しければ
ウレ^シサ 嬉しさ
ウレ^シソーダ 嬉しそうだ

スーパー大辞林 付表・絵図

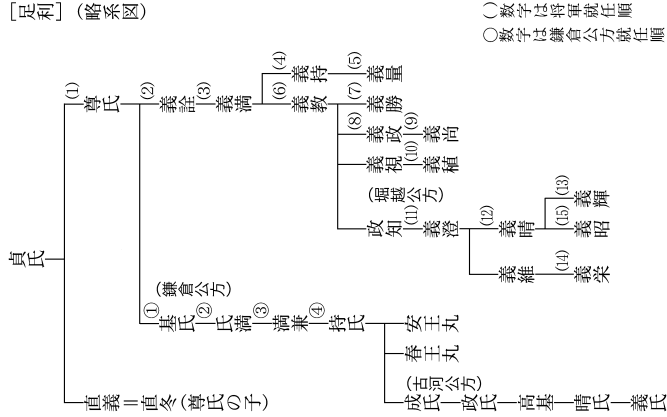
スーパー大辞林の付表・絵図の一部を収録しています。参考にしてください。なお、これらは横に寝かせて配置しています。

【付表】

足利	県花	月	アルキメデスの螺線
アメリカ合衆国	県鳥	東海道五十三次	極座標
アルカン	県木	二十四番花信風	インポリュート曲線
アルキル基	建武の新政	二十四節気	三角関数
アルキン	黄道十二宮	二十八宿	三垂線の定理
アルケン	五胡十六国	日本十進分類法	クラインの壺
院政	こそあど	女房詞	円錐曲線
干支	五代十国	年齢	コッホ曲線
江戸幕府(将軍)	西国三十三所	発想標語	指数関数
江戸幕府(職制)	雑節	ビタミン欠乏症	正弦曲線
炎色反応	三角関数	比熱	正十二面体
蔭位	十干	物理量	正二十面体
音名	執権	符牒	正接曲線
海溝	十三仏	湖	双曲線
賀寿	十二支	北条	双曲面
華氏温度	四天王	無限級数	対数関数
歌舞伎十八番	十二神将	室町幕府(将軍)	対数螺線
鎌倉幕府(将軍)	四等官	室町幕府(職制)	橢円
鎌倉幕府(職制)	尺貫法	ヤード・ポンド法	橢円面
川	出世魚	六国史	同位角
桓武平氏	自律神経	律令制	放物線
強弱記号	正史	ローマ数字	放物面
ギリシヤ文字	清和源氏	六曜	余弦曲線
ギリシヤ神話	速度標語	両統迭立	螺線
結婚記念式	誕生石		螺線面

【絵図】

アルキメデスの螺線	アルキメデスの螺線
極座標	極座標
インポリュート曲線	インポリュート曲線
三角関数	三角関数
三垂線の定理	三垂線の定理
クラインの壺	クラインの壺
円錐曲線	円錐曲線
コッホ曲線	コッホ曲線
指数関数	指数関数
正弦曲線	正弦曲線
正十二面体	正十二面体
正二十面体	正二十面体
正接曲線	正接曲線
双曲線	双曲線
双曲面	双曲面
対数関数	対数関数
対数螺線	対数螺線
橢円	橢円
橢円面	橢円面
同位角	同位角
放物線	放物線
放物面	放物面
余弦曲線	余弦曲線
螺線	螺線
螺線面	螺線面
ロジスティック曲線	ロジスティック曲線



【アメリカ合衆国】

[アメリカ合衆国] (州一覧)

州区分	州都	州区分	州都
北東部		ミシガン	ランシング
コネチカット	ハートフォード	ミズーリ	ジェファーソンシティ
ニューハンプシャー	コンコード	ミネソタ	セントポール
バーモント	モントペリア	南部	
マサチューセッツ	ボストン	アーカンソー	リトルロック
メーン	オーガスタ	アラバマ	モンゴメリー
ロードアイランド	プロビデンス	オクラホマ	オクラホマシティ
東部		ケンタッキー	フラン克福ート
ヴェストバージニア	チャールストン	テキサス	オースティン
デラウェア	ドーバー	テネシー	ナッシュビル
ニュージャージー	トレントン	ミシシッピ	ジャクソン
ニューヨーク	オールバニ	ルイジアナ	バトンルージュ
ノースカロライナ	ローリー	西部	
バージニア	リッチモンド	アイダホ	ボイシ
ペンシルバニア	ハリスバーグ	アリゾナ	フェニックス
メリーランド	アナポリス	コロラド	デンバー
南東部		ニューメキシコ	サンタフェ
サウスカロライナ	コロンビア	ネバダ	カーソンシティ
ジョージア	アトランタ	モンタナ	ヘレナ
フロリダ	タラハシー	ユタ	ソルトレークシティ
中西部		ワイオミング	シャイアン
アイオワ	デモイン	太平洋岸部	
イリノイ	スプリングフィールド	オレゴン	セーレム
インディアナ	インディアナポリス	カルフォルニア	サクラメント
ウィスコンシン	マディソン	ワシントン	オリンピア
オハイオ	コロンバス	本土外	
カンザス	トピーカ	アラスカ	ジュノー
サウスダコタ	ピア	ハワイ	ホノルル
ネブラスカ	リンカーン		
ノースダコタ	ビスマーク		

【アルカン】

[アルカン(メタン系炭化水素)]

名称	化学式	沸点(°C)
メタン	CH ₄	-161
エタン	CH ₃ CH ₃	-89
プロパン	CH ₃ CH ₂ CH ₃	-42
ブタン	CH ₃ (CH ₂) ₂ CH ₃	-1
ペンタン	CH ₃ (CH ₂) ₃ CH ₃	36
ヘキサン	CH ₃ (CH ₂) ₄ CH ₃	69
ヘプタン	CH ₃ (CH ₂) ₅ CH ₃	98
オクタン	CH ₃ (CH ₂) ₆ CH ₃	126
ノナン	CH ₃ (CH ₂) ₇ CH ₃	151
デカン	CH ₃ (CH ₂) ₈ CH ₃	174

【アルキル基】

[アルキル基]

メチル基	CH ₃ -	ヘキシル基	C ₆ H ₁₃ -
エチル基	C ₂ H ₅ -	ヘプチル基	C ₇ H ₁₅ -
プロピル基	C ₃ H ₇ -	オクタチル基	C ₈ H ₁₇ -
ブチル基	C ₄ H ₉ -	ノニル基	C ₉ H ₁₉ -
ペンチル基	C ₅ H ₁₁ -	デシル基	C ₁₀ H ₂₁ -

【アルキン】

[アルキン(アセチレン系炭化水素)]

名称	慣用名	化学式	沸点(°C)
エチン	アセチレン	HC≡CH	-74
プロピン	メチルアセチレン	CH ₃ C≡CH	-23
1-ブチン	エチルアセチレン	CH ₃ CH ₂ C≡CH	8
2-ブチン	ジメチルアセチレン	CH ₃ C≡CCH ₃	27
1-ペンチン	プロピルアセチレン	CH ₃ (CH ₂) ₂ C≡CH	40
2-ペンチン	エチルメチルアセチレン	CH ₃ CH ₂ C≡CCH ₃	56

【アルケン】

【アルケン(エチレン系炭化水素)】

名称	慣用名	化学式	沸点(°C)
エテン	エチレン	$\text{CH}_2=\text{CH}_2$	-104
プロペン	プロピレン	$\text{CH}_2=\text{CHCH}_3$	-47
1-ブテン	1-ブチレン	$\text{CH}_2=\text{CHCH}_2\text{CH}_3$	-6
シス-2-ブテン	}	$\text{CH}_3\text{CH}=\text{CHCH}_3$	4
トランス-2-ブテン			1
2-メチルプロペン	イソブチレン	$\text{CH}_2=\text{C}\begin{matrix} \text{CH}_3 \\ \text{CH}_3 \end{matrix}$	-7

【院政】

【院政①】

上皇	天皇	院政期間	上皇	天皇	院政期間
白河	堀河・鳥羽・崇徳	1086～1129	後伏見	花園	1313～1318
鳥羽	崇徳・近衛・後白河	1129～1156	後宇多	後醍醐	1318～1321
後白河	二条・六条・高倉	1158～1179	後伏見	光厳	1331～1333
高倉	安徳	1180	光厳	光明・崇光	1336～1351
後白河	安徳・後鳥羽	1180～1192	後光厳	後円融	1371～1374
後鳥羽	土御門・順徳・仲恭	1198～1221	後円融	後小松	1382～1393
後高倉	後堀河	1221～1223	長慶	後龜山	1385頃
後堀河	四条	1232～1234	後小松	称光・後花園	1412～1433
後嵯峨	後深草・龜山	1246～1272	後花園	後土御門	1464～1470
龜山	後宇多	1274～1287	後陽成	後水尾	1611～1617
後深草	伏見	1287～1298	後水尾	明正・後光明・後西・靈元	1629～1680
伏見	後伏見	1298～1301	靈元	東山・中御門	1687～1732
後宇多	後二条	1301～1308	光格	仁孝	1817～1840
伏見	花園	1308～1313			

【干支】

55	49	43	37	31	25	19	13	7	1
戊午	壬子	丙午	庚子	甲午	戊子	壬午	丙子	庚午	甲子
56	50	44	38	32	26	20	14	8	2
己未	癸丑	丁未	辛丑	乙未	己丑	癸未	丁丑	辛未	乙丑
57	51	45	39	33	27	21	15	9	3
庚申	甲寅	戊申	壬寅	丙寅	庚寅	甲寅	戊寅	壬寅	丙寅
58	52	46	40	34	28	22	16	10	4
辛酉	乙卯	己卯	癸卯	丁卯	辛卯	乙卯	己卯	癸卯	丁卯
59	53	47	41	35	29	23	17	11	5
壬戌	丙辰	庚辰	甲辰	戊辰	壬辰	丙辰	庚辰	甲辰	戊辰
60	54	48	42	36	30	24	18	12	6
癸亥	丁巳	辛巳	乙巳	己巳	癸巳	丁巳	辛巳	乙巳	己巳

【干支①】(六十干支表)

【江戸幕府(将軍)】

[江戸幕府] (将軍)

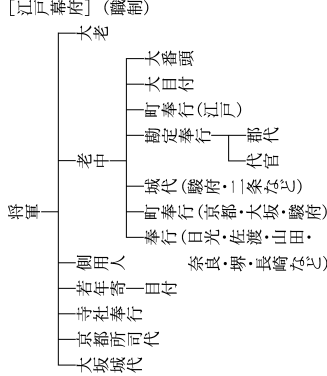
代	将軍氏名	在職年代	没年
1	徳川家康	1603-1605	1616
2	徳川秀忠	1605-1623	1632
3	徳川家光	1623-1651	1651
4	徳川家綱	1651-1680	1680
5	徳川綱吉	1680-1709	1709
6	徳川家宣	1709-1712	1712
7	徳川家継	1713-1716	1716
8	徳川吉宗	1716-1745	1751
9	徳川家重	1745-1760	1761
10	徳川家治	1760-1786	1786
11	徳川家斉	1787-1837	1841
12	徳川家慶	1837-1853	1853
13	徳川家定	1853-1858	1858
14	徳川家茂	1858-1866	1866
15	徳川慶喜	1866-1867	1913

【炎色反応】

[炎色反応]

元素	炎色	青色コバルトガラスを通して色
ルビジウム	深赤	赤紫
セシウム	青紫	紫青
インジウム	藍	紫
タリウム	黄緑	青紫
ナトリウム	黄	無色
カリウム	赤紫	紫
カルシウム	橙赤	橙緑
バリウム	緑	青
ストロンチウム	深赤	紫
銅	青緑	青紫
リチウム	深赤	赤紫
ガリウム	青	紫青
スズ	淡青	淡紫

【江戸幕府(職制)】



[江戸幕府] (職制)

【陰位】

官人	嫡子	庶子	嫡孫	庶孫
一位	従五位下	正六位上	正六位上	正六位下
二位	正六位下	従六位上	従六位上	従六位下
三位	従六位上	従六位下	従六位下	正七位上
正四位	正七位下	従七位上		
従四位	従七位上	従七位下		
正五位	正八位下	従八位上		
従五位	従八位上	従八位下		

【陰位】

【海溝】

【海溝】（世界の主な海溝）

海溝名	最深度(m)
マリアナ海溝	10920
トンガ海溝	10800
フィリピン海溝	10057
ケルマデック海溝	10047
伊豆・小笠原海溝	9780
千島・カムチャツカ海溝	9550
北ニューヘーブリデス海溝	9175
ニューブリテン海溝	8940
ヤップ海溝	8646
プエルトリコ海溝	8605
南サンドワイッチ海溝	8325
サンクリストバル海溝	8322
チリ海溝	8170
パラオ海溝	8054
日本海溝	8020
アリュエーシャン海溝	7679

【音名】

国名	音名	音名	音名	音名	音名	音名	音名
日本	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	イ	ロ
イタリア	ド	レ	ミ	ファ	ソル	ラ	シ
フランス	ミット	レ	ミ	ファ	ソル	ラ	シ
ドイツ	ツェー	デー	エー	フ	ゲー	ア	ハー
イギリス	シー	ディー	イー	フ	ジー	エイ	ビー
アメリカ	C	D	E	F	G	A	B

【賀寿】

年齢	賀寿
一〇〇歳	上寿
九〇歳	白寿
八八歳	米寿
八一歳	半寿
八〇歳	傘寿
七七歳	喜寿
七〇歳	古希
六一歳	還暦

【華氏温度】

【華氏温度】(華氏—摂氏温度換算表)

華氏温度(°F)—摂氏温度(°C)					
°F	°C	°F	°C	°F	°C
110	43.33	80	26.67	50	10.00
108	42.22	78	25.56	48	8.89
106	41.11	76	24.44	46	7.78
104	40.00	74	23.33	44	6.67
102	38.89	72	22.22	42	5.56
100	37.78	70	21.11	40	4.44
98	36.67	68	20.00	38	3.33
96	35.56	66	18.89	36	2.22
94	34.44	64	17.78	34	1.11
92	33.33	62	16.67	32	0.00
90	32.22	60	15.56	30	-1.11
88	31.11	58	14.44	28	-2.22
86	30.00	56	13.33	26	-3.33
84	28.89	54	12.22	24	-4.44
82	27.78	52	11.11	22	-5.56

【歌舞伎十八番】

外郎売	うしろうり	不破	ふわ	御辰	おしもどし
助六	すけろく	鳴神	なるかみ	矢の楯	やのね
象引	ぞうひき	暫	しばらく	景清	かげきよ
動巻帳	かんじんちょう	不動	ふどう	関羽	かんう
助六	すけろく	辯	うわなり	七つ面	ななつめん
外郎売	うしろうり	象引	ぞうひき	毛抜	けぬき
助六	すけろく	動巻帳	かんじんちょう	解腕	げだつ
外郎売	うしろうり	助六	すけろく	蛇柳	じやなぎ
外郎売	うしろうり	外郎売	うしろうり	鎌髭	かまひげ

【歌舞伎十八番】

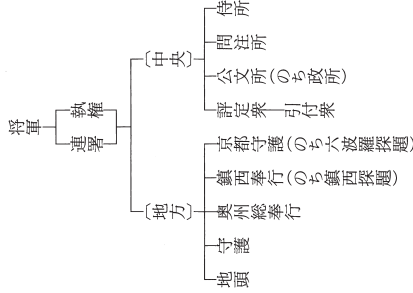
【鎌倉幕府（将軍）】

[鎌倉幕府]（将軍）

代	将軍氏名	在職年代	没年
1	源頼朝	1192—1199	1199
2	源頼家	1202—1203	1204
3	源実朝	1203—1219	1219
4	九条頼経	1226—1244	1256
5	九条頼嗣	1244—1252	1256
6	宗尊親王	1252—1266	1274
7	惟康親王	1266—1289	1326
8	久明親王	1289—1308	1328
9	守邦親王	1308—1333	1333

【鎌倉幕府（職制）】

[鎌倉幕府]（職制）

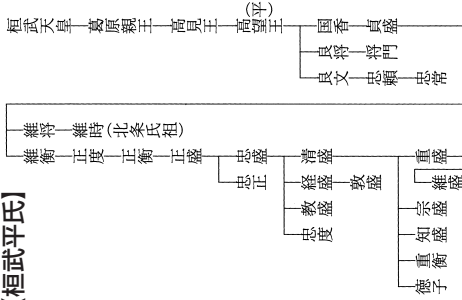


【川】

[川]（日本の主な河川）

名称	流域面積(km ²)	幹川流路延長(km)
利根川	16,840	322
石狩川	14,330	268
信濃川	11,900	367
北上川	10,150	249
木曾川	9,100	227
十勝川	9,010	156
淀川	8,240	75
阿賀野川	7,710	210
最上川	7,040	229
天塩川	5,590	256
阿武隈川	5,400	239
天竜川	5,090	213
雄物川	4,710	133
米代川	4,100	136
富士川	3,990	128

【桓武平氏】



【ギリシヤ文字】

[ギリシヤ文字]

A	α	アルファ
B	β	ベータ
Γ	γ	ガンマ
Δ	δ	デルタ
E	ε	エプシロン
Z	ζ	ゼータ
H	η	エータ (イータ)
Θ	θ	テータ (シータ)
I	ι	イオタ
K	κ	カッパ
Λ	λ	ラムダ
M	μ	ミュー
N	ν	ニュー
Ξ	ξ	クシー (クサイ)
O	ο	オミクロン
Π	π	パイ
P	ρ	ロー
Σ	σ	シグマ
T	τ	タウ
Υ	υ	ユブシロン
Φ	φ	ファイ (フアイ)
X	χ	キー (カイ)
Ψ	ψ	プシー (プサイ)
Ω	ω	オメガ

【強弱記号】

[強弱記号]

記号	名称	意味
<i>ppp</i>	ピアニッシシモ	できるだけ弱く
<i>pp</i>	ピアニッシモ	ごく弱く
<i>p</i>	ピアノ	弱く
<i>mp</i>	メゾピアノ	やや弱く
<i>mf</i>	メゾフォルテ	やや強く
<i>f</i>	フォルテ	強く
<i>ff</i>	フォルティッシモ	ごく強く
<i>fff</i>	フォルティッシシモ	できるだけ強く
Λ, >	アクセント	アクセントをつけて
◁	クレッシェンド	だんだん強く
▷	ディヌエンド	だんだん弱く
デクレッシェンド		
<i>fp</i>	フォルテピアノ	強くだだちに弱く
<i>sf, sfz</i>	スフォルツァンド	その音だけを強く

【ギリシヤ神話】

[ギリシヤ神話] (オリンポス十二神)

ギリシヤ名	ローマ名	一般名	神の属性
アテナ	ミネルバ		知識・工芸の女神
アフロディテ	ウェヌス	ビーナス	愛・美・豊饒の女神
アポロン	アポロ		音楽・医術・託宣の神
アルテミス	ディアナ	ダイアナ	狩猟・月の女神
アレス	マルス		戦いの神
ゼウス	ユピテル	ジュピター	最高神・全能の神
デメテル	ケレス		大地の女神
ヘステイア	ウェスタ		炉の女神
ヘファイストス	ウルカヌス	バルカン	火と鍛冶の神
ヘラ	ユノ	ジュノー	主女神・女性の守護神
ヘルメス	メルクリウス	マーキュリー	商業の神・旅人の守護神
ポセイドン	ネプトゥヌス	ネプチューン	海・泉の神

【結婚記念式】

[結婚記念式]

年数	名称
1年目	紙婚式
5年目	木婚式
10年目	錫婚式
15年目	水晶婚式
20年目	磁器婚式
25年目	銀婚式
30年目	真珠婚式
35年目	珊瑚婚式
40年目	ルビー婚式
45年目	サファイア婚式
50年目	金婚式
55年目	エメラルド婚式
60年目	ダイヤモンド婚式 (イギリス)
75年目	ダイヤモンド婚式 (アメリカ)

【県花】

[県花] (都道府県の花)

都道府県名	花名	都道府県名	花名	都道府県名	花名
北海道	ハマナス	石川	クロユリ	岡山	モモ
青森	リンゴ	福井	スイセン	広島	モミジ
岩手	キリ	山梨	フジザクラ	山口	夏ミカンの花
宮城	ミヤギノハギ	長野	リンボウ	徳島	スダチ
秋田	フキノトウ	岐阜	レンゲソウ	香川	オリーブ
山形	ベニバナ	静岡	ツツジ	愛媛	ミカン
福島	ネモトシヤクナゲ	愛知	カキツバタ	高知	ヤマモモ
茨城	バラ	三重	ハナシヨウブ	福岡	ウメ
栃木	ヤシオツツジ	滋賀	シャクナゲ	佐賀	クスノキの花
群馬	レンゲツツジ	京都	シダレザクラ	長崎	ウンゼンツツジ
埼玉	サクラソウ	大阪	サクラソウ・ウメ	熊本	リンボウ
千葉	チノハナ	兵庫	ノジギク	大分	ブンゴウメ
東京	ソメイヨシノ	奈良	ナラヤエザクラ	宮崎	ハマユウ
神奈川	ヤマユリ	和歌山	ウメ	鹿児島	ミヤマキリシマ
新潟	チューリップ	鳥取	二十世紀ナシのはな	沖縄	デイゴ
富山	チューリップ	島根	ボタン		

【県鳥】

[県鳥] (都道府県の鳥)

都道府県名	鳥名	都道府県名	鳥名	都道府県名	鳥名
北海道	タンチョウ	石川	イヌワシ	岡山	キジ
青森	ハクチョウ	福井	ツグミ	広島	アビ
岩手	キジ	山梨	ウグイス	山口	ナベヅル
宮城	ガン	長野	ライチョウ	徳島	シラサギ
秋田	ヤマドリ	岐阜	ライチョウ	香川	ホトトギス
山形	オシドリ	静岡	サンゴウチョウ	愛媛	コマドリ
福島	キビタキ	愛知	コノハズク	高知	ヤイロチョウ
茨城	ヒバリ	三重	シロチドリ	福岡	ウグイス
栃木	オオルリ	滋賀	カイツブリ	佐賀	カササギ
群馬	ヤマドリ	京都	オオミズナギドリ	長崎	オシドリ
埼玉	シラコバト	大阪	モズ	熊本	ヒバリ
千葉	ホオジロ	兵庫	コウノトリ	大分	メジロ
東京	ユリカモメ	奈良	コマドリ	宮崎	コシジロヤマドリ
神奈川	カモメ	和歌山	メジロ	鹿児島	ハリカケス
新潟	トキ	鳥取	オシドリ	沖縄	ノグチゲラ
富山	ライチョウ	島根	オオハクチョウ		

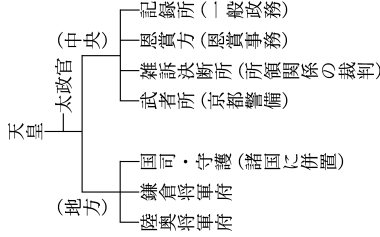
【県木】

【県木】（都道府県の木）

都道府県名	木名	都道府県名	木名	都道府県名	木名
北海道	エゾマツ	石川	アテ	岡山	アカマツ
青森	ヒバ	福井	マツ	広島	モミジ
岩手	ナンブアカマツ	山梨	カエデ	山口	アカマツ
宮城	ケヤキ	長野	シラカバ	徳島	ヤマモモ
秋田	アキタスギ	岐阜	イチイ	香川	オリーブ
山形	サクランボ	静岡	モクセイ	愛媛	マツ
福島	ケヤキ	愛知	ハナノキ	高知	ヤナセスギ
茨城	ウメ	三重	ジンゴウスギ	福岡	ツツジ
栃木	トチノキ	滋賀	モミジ	佐賀	クスノキ
群馬	クロマツ	京都	キタヤマスギ	長崎	ヒノキ・ツバキ
埼玉	ケヤキ	大阪	イチヨウ	熊本	クスノキ
千葉	マキ	兵庫	クスノキ	大分	ブンゴウメ
東京	イチヨウ	奈良	スギ	宮崎	フェニックス
神奈川	イチヨウ	和歌山	ウバメガシ	鹿児島	カイゴウス・クスノキ
新潟	ユキツバキ	鳥取	ダイセンキヤラボク	沖縄	リュウキユウマツ
富山	タテヤマスギ	高根	クロマツ		

【建武の新政】

〔建武の新政〕（建武政府機構）



【黄道十二宮】

〔黄道十二宮〕

名称	星座名	記号
白羊宮	牡羊座	♈
金牛宮	牡牛座	♉
双子宮	双子座	♊
巨蟹宮	蟹座	♋
獅子宮	獅子座	♌
処女宮	乙女座	♍
天秤宮	天秤座	♎
天蠍宮	蠍座	♏
人馬宮	射手座	♐
磨羯宮	山羊座	♑
宝瓶宮	水瓶座	♒
双鱼宮	魚座	♓

【五胡十六国】

[五胡十六国]

種族	国名	存続期間
匈奴	漢(前趙)	304～329
	北凉	397～439
	夏	407～431
羯	後趙	319～351
鮮卑	前燕	337～370
	後燕	384～409
	西秦	385～431
	南凉	397～414
	南燕	398～410
氏	成(成漢)	304～347
	前秦	351～394
	後凉	386～403
羌	後秦	384～417
漢人	前凉	301～376
	西凉	400～421
	北燕	409～436

【こそあど】

指示	この	その	あの	どの	連体詞
状態	こう	そう	ああ	どう	副詞
方角	こちら	そちら	あちら	どちら	
場所	ここ	そこ	あそこ	どこ	
事物	これ	それ	あれ	どれ	代名詞
人	こいつ	そいつ	あいつ	どいつ	品詞
近称	こ	そ	あ	ど	
中称	こ	そ	あ	ど	
遠称	こ	そ	あ	ど	
不定称	こ	そ	あ	ど	
品詞	こ	そ	あ	ど	

【五代十国】

[五代十国]

王朝・国名	存続期間
五代	後梁 907～923
	後唐 923～936
	後晋 936～946
	後漢 947～950
	後周 951～960
十国	前蜀 907～925
	後蜀 934～965
	荆南 907～963
	楚 907～951
	呉 902～937
	南唐 937～975
	呉越 907～978
	閩 909～945
	南漢 917～971
	北漢 951～979

【西国三十三所】

[西国三十三所]

紀伊	1 青岸渡寺	山城	18 頂法寺
	2 紀三井寺		19 行願寺
	3 粉河寺		20 善峰寺
和泉	4 施福寺	丹波	21 穴太寺
河内	5 葛井寺	摂津	22 総持寺
大和	6 壺坂寺		23 勝尾寺
	7 岡寺		24 中山寺
	8 長谷寺	播磨	25 清水寺
	9 興福寺		26 一乗寺
山城	10 三室戸寺		27 円教寺
	11 上醍醐寺	丹後	28 成相寺
近江	12 岩間寺		29 松尾寺
	13 石山寺	近江	30 宝厳寺
	14 三井寺		31 長命寺
山城	15 観音寺		32 観音正寺
	16 清水寺	美濃	33 華厳寺
	17 六波羅蜜寺		

【雑節】

[雑節]

土用および彼岸は入りの日

名称	太陽黄経	備考
土用	297°	立春前18日間
節分		立春の前日
彼岸		春分を中心とする1週間
土用	27°	立夏前18日間
八十八夜		立春から88日目
入梅	80°	芒種から6日目
半夏生	100°	夏至から11日目
土用	117°	立秋前18日間
二百十日		立春から210日目
彼岸		秋分を中心とする1週間
土用	207°	立冬前18日間

【三角関数】

【三角関数】(加法定理)

$\sin(\alpha + \beta) = \sin\alpha\cos\beta + \cos\alpha\sin\beta$
$\sin(\alpha - \beta) = \sin\alpha\cos\beta - \cos\alpha\sin\beta$
$\cos(\alpha + \beta) = \cos\alpha\cos\beta - \sin\alpha\sin\beta$
$\cos(\alpha - \beta) = \cos\alpha\cos\beta + \sin\alpha\sin\beta$
$\tan(\alpha + \beta) = \frac{\tan\alpha + \tan\beta}{1 - \tan\alpha\tan\beta}$
$\tan(\alpha - \beta) = \frac{\tan\alpha - \tan\beta}{1 + \tan\alpha\tan\beta}$
$\sin(\alpha + \beta + \gamma) = \sin\alpha\cos\beta\cos\gamma + \cos\alpha\sin\beta\cos\gamma$ $+ \cos\alpha\cos\beta\sin\gamma - \sin\alpha\sin\beta\sin\gamma$
$\cos(\alpha + \beta + \gamma) = \cos\alpha\cos\beta\cos\gamma - \cos\alpha\sin\beta\sin\gamma$ $- \sin\alpha\cos\beta\sin\gamma - \sin\alpha\sin\beta\cos\gamma$
$\tan(\alpha + \beta + \gamma) = \frac{\tan\alpha + \tan\beta + \tan\gamma - \tan\alpha\tan\beta\tan\gamma}{1 - \tan\beta\tan\gamma - \tan\gamma\tan\alpha - \tan\alpha\tan\beta}$

【執権】

【執権②】(鎌倉幕府執権表)

代	執権氏名	在職年代	没年
1	北条時政	1203—1205	1215
2	北条義時	1205—1224	1224
3	北条泰時	1224—1242	1242
4	北条経時	1242—1246	1246
5	北条時頼	1246—1256	1263
6	北条長時	1256—1264	1264
7	北条政村	1264—1268	1273
8	北条時宗	1268—1284	1284
9	北条貞時	1284—1301	1311
10	北条師時	1301—1311	1311
11	北条宗宣	1311—1312	1312
12	北条熙時	1312—1315	1315
13	北条基時	1315—1315	1333
14	北条高時	1316—1326	1333
15	北条貞顕	1326—1326	1333
16	北条守時	1326—1333	1333

【十干】

癸	キ	水の弟	みずのと
壬	ジン	水の兄	みずのえ
辛	シン	金の弟	かのと
庚	コウ	金の兄	かのえ
己	キ	土の弟	ちちのと
戊	ボ	土の兄	ちちのえ
丁	テイ	火の弟	ひのと
丙	ヘイ	火の兄	ひのえ
乙	オツ	木の弟	きのと
甲	コウ	木の兄	きのえ

【十支】

亥	いぬ	犬
戌	いぬ	犬
酉	とり	鶏
申	さる	猿
未	ひつじ	羊
午	うま	馬
巳	み	蛇
辰	たつ	竜
卯	う	兎
寅	とら	虎
丑	うし	牛
子	ね	鼠

【十二支】

亥	いぬ	犬
戌	いぬ	犬
酉	とり	鶏
申	さる	猿
未	ひつじ	羊
午	うま	馬
巳	み	蛇
辰	たつ	竜
卯	う	兎
寅	とら	虎
丑	うし	牛
子	ね	鼠

【十三仏】

虚空蔵	三十三回忌
大日	十三回忌
阿闍	七回忌
阿弥陀	三回忌
勢至	一周忌
観音	百箇日
薬師	七七日
弥勒	六七日
地藏	五七日
普賢	四七日
文殊	三七日
釈迦	二七日
不動	初七日

【十三仏】

【四天王】

源義経	佐藤繼信	豊臣秀頼	木村重成
源義経	佐藤忠信		真田幸村
鎌田盛政			長宗我部盛親
鎌田光政			後藤基次
木曾義仲	今井兼平	徳川家康	酒井忠次
	樋口兼光		井伊直政
	根井幸親		本多忠勝
	榑親忠		榑原康政
源頼光	渡辺綱	織田信長	柴田勝家
	坂田金時		滝川一益
	碓井貞光		丹羽長秀
	卜部季武		明智光秀

【十二神将】

毘羯羅大将	毘伽迦	亥神
招社羅大将	大日	戌神
真達羅大将	普賢	酉神
摩虎羅大将	大威徳	申神
波夷羅大将	文殊	未神
因陀羅大将	地藏	午神
珊底羅大将	虚空蔵	巳神
頻伽羅大将	如意輪	辰神
安底羅大将	観音	卯神
迷企羅大将	弥陀	寅神
伐折羅大将	勢至	丑神
宫毘羅大将	弥勒	子神

【四天王②②】(武将の代表例)

【四等官】

官名	長官	次官	判官	主典
神祇官	伯	副(天、少)	祐(天、少)	史(天、少)
太政官	太政大臣	大納言	少納言	外記(天、少)
	左大臣	中納言	弁(天、中、少)	史(天、少)
	右大臣			
省	卿	輔(天、少)	丞(天、少)	録(天、少)
坊・職	大夫	亮	進(天、少)	属(天、少)
寮	頭	助	允(天、少)	属(天、少)
司・監	正		祐	令史
署	首		祐	令史
台	尹	弼	忠(天、少)	疏(天、少)
衛府	督	佐	尉(天、少)	志(天、少)
大宰府	帥	貳(天、少)	監(天、少)	典(天、少)
国司	守	介	掾(天、少)	目(天、少)
郡司	大領	少領	主政	主帳
家令	令	扶	従(天、少)	書吏(天、少)

【四等官】

【尺貫法】

[尺貫法] (換算表)

長さ

尺	間	町	里	メートル
尺 1	0.166666	0.0027777	0.000077	0.30303
間 6	1	0.016666	0.000462	1.81818
町 360	60	1	0.027777	109.09
里 12960	2160	36	1	3927.27

面積

平方尺	坪	畝	反	町	平方メートル
平方尺 1	0.027777	0.000926	0.000092	0.000009	0.091827
坪(歩) 36	1	0.033333	0.003333	0.000333	3.30579
畝 1080	30	1	0.1	0.01	99.1736
反(段) 10800	300	30	1	0.1	991.736
町 108000	3000	300	10	1	9917.36

体積

合	升	斗	石	立方メートル
合 1	0.1	0.01	0.001	0.00018
升 10	1	0.1	0.01	0.001804
斗 100	10	1	0.1	0.018039
石 1000	100	10	1	0.18039

質量

匁	斤	貫	グラム
匁 1	0.00625	0.001	3.75
斤 160	1	0.16	600
貫 1000	6.25	1	3750

【出世魚】

【出世魚】（代表的な出世魚の成長名）

（単位はcm）

魚名	稚魚・幼魚	若魚・未成魚	成魚	特大魚	呼称地
スズキ	コッパ <small>(小型のもの)</small>	セイゴ <small>(15~25)</small>	スズキ <small>(60以上)</small>		全国
		フッコ <small>(30~40)</small>			
ボラ	ボラコ <small>(約3)</small>	コボラ <small>(9~12)</small>	ボラ		高知
	イキナゴ <small>(約6)</small>	イナ <small>(約15)</small>	オオボラ <small>(大型のもの)</small>		
	オボコ <small>(3~9)</small>	イナ <small>(10~25)</small>	ボラ <small>(30~50)</small>	トド <small>(50以上)</small>	東京
	イナッコ <small>(約10)</small>				
	スバシリ <small>(約10)</small>				
ブリ	ツバス <small>(10~15)</small>	ハマチ <small>(30~40)</small>	ブリ <small>(80以上)</small>		大阪
		メジロ <small>(約60)</small>			
	モジャコ <small>(3~8)</small>	ワカナ <small>(15~20)</small>	メジロ <small>(50~60)</small>		高知
		ハマチ <small>(25~45)</small>	ブリ <small>(約70以上)</small>		
ワカシ <small>(約15)</small>		イナダ <small>(30~40)</small>	ブリ <small>(90以上)</small>		東京
		ワラサ <small>(約60)</small>			

【自律神経】

【自律神経】（自律神経のはたらき）

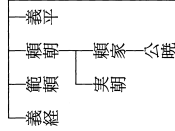
	交感神経	副交感神経
心臓の拍動	促進	抑制
消化器官の運動	抑制	促進
瞳孔の開閉	散大	縮小
胃・小腸・膵臓の分泌腺	抑制	促進
唾液腺の分泌	促進	促進
体幹・四肢の血管	収縮	なし
汗の分泌	促進	なし
立毛筋	収縮	なし

【正史】

【正史②】（一覧表）

書名	著者	巻数	書名	著者	巻数
史記	司馬遷	一三〇	隋書	魏徵ら	八五
漢書	班固	一〇〇	南史	李延寿	八〇
後漢書	范曄	一二〇	北史	李延寿	一〇〇
三国志	陳寿	六五	旧唐書	劉昫ら	二〇〇
晋書	房玄齡ら	一三〇	新唐書	歐陽脩ら	二三五
宋書	沈約	一〇〇	旧五代史	薛居正ら	一五〇
南齐書	蕭子顯	五九	新五代史	歐陽脩	七四
梁書	姚思廉	五六	宋史	脱脱ら	四九六
陳書	姚思廉	三六	遼史	脱脱ら	一一六
魏書	魏収	一三〇	金史	脱脱ら	一三五
北齐書	李百薬	五〇	元史	宋濂ら	二一〇
周書	令狐德棻ら	五〇	明史	張廷玉ら	三三二

【清和源氏】

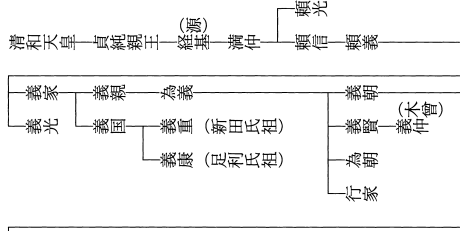


【誕生石】

〔誕生石〕

1月	ガーネット
2月	アメシスト
3月	アクアマリン
4月	ブラッドストーン
5月	ダイヤモンド
6月	真珠
7月	ムーンストーン
8月	ルビー
9月	橄欖石、紅瑪瑙
10月	縞瑪瑙
11月	サファイア
12月	オパール
	トパーズ
	トルコ石
	ラピスラズリ

〔清和源氏〕 (略系図)



【速度標語】

〔速度標語〕

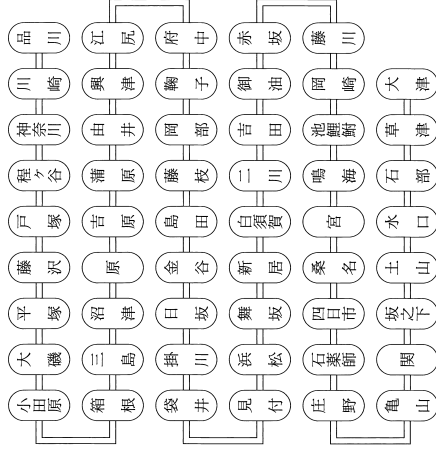
標語	名称	意味
largo	ラルゴ	非常にゆっくりと
lento	レント	ゆっくりと
adagio	アダージョ	ゆるやかなに
andante	アンダンテ	歩く速さで
moderato	モデラート	中ぐらいの速さで
allegro	アレグロ	快速に
vivace	ビバーチェ	生き生きと速く
presto	プレスト	急速に

【月】

〔月③〕 (陰曆月異名)

一月	睦月(むつき)
二月	如月(きさらぎ)
三月	弥生(やよい)
四月	卯月(うづき)
五月	皐月(さつき)
六月	水無月(みなづき)
七月	文月(ふみづき)
八月	葉月(はづき)
九月	長月(ながつき)
十月	神無月(かみなづき)
十一月	霜月(しもつき)
十二月	師走(しわす)

【東海道五十三次】



【二十四節気】

【二十四節気】

季節	名称	概略日付	黄経
春	立春	2月4日	315°
	雨水	2月19日	330°
	啓蟄	3月6日	345°
	春分	3月21日	0°
夏	清明	4月5日	15°
	穀雨	4月20日	30°
	立夏	5月6日	45°
	小満	5月21日	60°
秋	芒種	6月6日	75°
	夏至	6月22日	90°
	小暑	7月8日	105°
	大暑	7月23日	120°
冬	立秋	8月8日	135°
	処暑	8月24日	150°
	白露	9月8日	165°
	秋分	9月23日	180°
冬	寒露	10月9日	195°
	霜降	10月24日	210°
	立冬	11月8日	225°
	小雪	11月23日	240°
冬	大雪	12月8日	255°
	冬至	12月22日	270°
	小寒	1月6日	285°
	大寒	1月20日	300°

【二十四番花信風】

二十四番花信風

節気	一候	二候	三候
小寒	梅花	山茶	水仙
大寒	瑞香	蘭花	山躑躅
立春	迎春	桜桃	望春
雨水	菜花	杏花	李花
啓蟄	桃花	棗棠	薔薇
春分	海棠	梨花	木蘭
清明	桐花	麦花	柳花
穀雨	牡丹	荼蘼	楝花

【二十八宿】

〔二十八宿①〕

漢名	和名	距離
東方七宿	角 すぼし	α
(蒼竜)	亢 あみぼし	κ
	氏 ともぼし	α
	房 そいぼし	π
	心 なかごぼし	σ
	尾 あしたれぼし	μ
	箕 みぼし	γ
北方七宿	ひきつぼし	φ
(玄武)	いなみぼし	β
	女 うるきぼし	ε
	虚 とみでぼし	β
	危 うみやめぼし	α
	室 はついぼし	α
	壁 なまめぼし	γ
西方七宿	とかきぼし	ζ
(白虎)	婁 たたらぼし	β
	胃 えきえぼし	35
	昴 すばるぼし	17
	畢 あめふりぼし	ε
	觜 とろきぼし	φ
	參 からはすきぼし	δ
南方七宿	ちちりぼし	μ
(朱雀)	鬼 たまおのほし	θ
	柳 ぬりこぼし	δ
	星 ほとおりぼし	α
	張 ちりこぼし	ν
	翼 たすきぼし	α
	軫 みつかげぼし	γ

【日本十進分類法】

〔日本十進分類法〕(主類)

000	総記
100	哲学
200	歴史
300	社会科学
400	自然科学
500	技術、工学
600	産業
700	芸術
800	語学
900	文学

【女房詞】

おひら	平梳、鯛
おひやし	水
おなか	食事
おこわ	赤飯
おかべ	豆腐
おあし	鱧
いと	納豆
いしい	団子
あか	小豆 <small>あずき</small>

〔女房詞〕(女房詞の例)

ぞろ	素麵 <small>うどん</small>
すもし	鮎 <small>しず</small>
しろもの	塩
こもし	鯉
くろもの	鍋、釜
くこん(九獻)	酒
かちん	餅
おむし	味噌

【年齢】

七十歳	従心 <small>じゆうしん</small>
六十歳	耳順 <small>じじゆん</small>
五十歳	知命 <small>ちめい</small>
四十歳	不惑 <small>ふわく</small>
三十歳	而立 <small>じりつ</small>
二十歳	弱冠 <small>じやくかん</small>
十五歳	志学 <small>しがく</small>

〔年齢〕(年齢の異名)

【発想標語】

[発想標語]

標語	名称	意味
animato	アニマート	いきいきと
con brio	コンブリオ	活気をもって
cantabile	カンタービレ	歌うように
dolce	ドルチェ	甘く、柔らかに
espressivo	エスプレッシヴォ	表情豊かに
grave	グラヴェ	荘重に
grazioso	グラツィオソ	優美に
lamentabile	ラメンタービレ	悲しげに
maestoso	マエストロソ	威厳をもって
con moto	コンモート	動きをつけて
passionato	パッションアト	熱情的に
semplíce	センプリチエ	装飾なしで
tranquillo	トランクイロ	穏やかに
vivo	ビヴォ	活発に

【比熱】

[比熱] (1J=0.24cal)

物質	気体	液体	固体
空気(乾燥)	20	1.006	
酸素	16	0.922	
水蒸気	100	2.051	
水素	0	14.191	
二酸化炭素	16	0.837	
エチルアルコール	0	2.29	
オリーブ油	7	1.97	
海水	17	3.93	
ベンゼン	10	1.42	
水	0	4.2174	
アルミニウム	0	0.880	
金	0	0.128	
コングリート	室温	約0.84	
砂	0	約0.8	
鉄	0	0.435	
木材	20	約1.25	

【ビタミン欠乏症】

[ビタミン欠乏症]

症状
脂溶性ビタミン
ビタミンA 夜盲症、角膜乾燥症、粘膜の乾燥角化
ビタミンD 佝僂病、骨軟化症
ビタミンE 不妊症(ネズミ)
ビタミンK 血液凝固障害
水溶性ビタミン
ビタミンB ₁ 脚気、多発性神経炎
ビタミンB ₂ 口角炎、舌炎、脂漏性皮膚炎
ニコチン酸 ペラグラ
ビタミンB ₆ 脂漏性湿疹、口唇炎、口角炎、貧血
パントテン酸 皮膚炎、末梢神経障害(ネズミ、ニワトリ)
ビオチン 皮膚炎(ネズミ)
ビタミンB ₁₂ 悪性貧血
葉酸 悪性貧血
ビタミンC 壊血病

【物理量】① (主な例)

物理量	主な記号	単位の名称	単位記号
長さ	x, l	メートル	m
質量	m	キログラム	kg
時間	t	秒	s
面積	S	平方メートル	m ²
体積	V	立方メートル	m ³
速度	v	メートル毎秒 キロメートル毎時	m/s km/h
角速度	ω	ラジアン毎秒	rad/s
加速度	a	メートル毎秒毎秒	m/s ²
力	f	ニュートン	N
運動量	mv	キログラムメートル毎秒	kg・m/s
力積	ft	ニュートン秒	N・s
仕事 エネルギー	W E	ジュール	J
仕事率 電力	P	ワット	W
圧力	p	ニュートン毎平方メートル 気圧 パスカル	N/m ² atm Pa
温度	t	ケルビン セルシウス度	K °C
熱量	Q	ジュール	J
比熱	c	ジュール毎キログラムケルビン	J/kg・K
周波数 振動数	f	ヘルツ	Hz
振幅	A	メートル	m
波長	λ	メートル	m
周期	T	秒	s
電気量	Q	クーロン	C
電界の強さ	E	ニュートン毎クーロン ボルト毎メートル	N/C V/m
電気容量	C	ファラド	F

【物理量】② (主な例)

物理量	主な記号	単位の名称	単位記号
電流	I	アンペア	A
電圧	V	ボルト	V
電気抵抗	R	オーム	Ω
抵抗率	ρ	オームメートル	$\Omega \cdot m$
磁界の強さ	B	テスラ ニュートン毎アンペアメートル	T N/Am

【符牒】

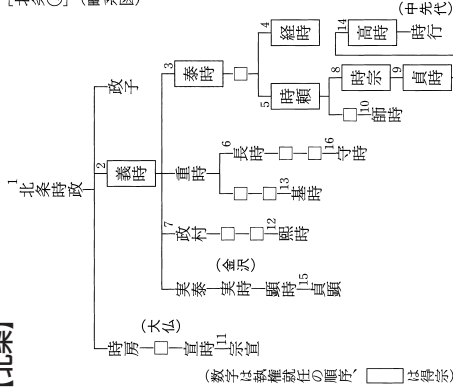
寿司職	賭博師	理髪師	菓子商	香具師	露天商	パ	荒物商	花柳界	糸商	職業
びん	びん	やり	やり	やり	い	さ	つ	え	え	1
りやんこ	にそう	りふ	ふり	ふり	つ	け	る	お	び	2
げた	きんずん	かち	かち	かち	も	の	か	き	す	3
だり	ちつや	めった	めった	ため	ふ	み	め	く	だ	4
めのし	ごけ	しずか	しずか	ずか	け	は	ま	は	い	5
ろんじ	ちほん	みず	みず	みず	い	ふ	ひ	た	こ	6
せなん	しちん	おき	おき	おき	き	く	あ	い	く	7
ぼんじ	べい	あすた	あすた	あつた	な	の	そ	せ	げ	8
きわ	かぶ	きわ	きわ	がけ	し	か	ぶ	つ	ほ	9
びんそく	ぶた				み				う	10

【湖】

【湖】 (日本の主な湖)			
名称	面積 (km ²)	最大水深 (m)	湖沼型
琵琶湖	670.5	103.8	中栄養
霞ヶ浦	167.6	11.9	富栄養
サロマ湖	150.4	19.6	富栄養
猪苗代湖	103.3	93.5	酸栄養
中海	86.8	17.1	富栄養
屈斜路湖	79.4	117.5	酸栄養
六道湖	79.2	6.0	富栄養
支笏湖	78.4	360.1	貧栄養
洞爺湖	70.7	179.7	貧栄養
浜名湖	65.0	13.1	中栄養
小川原湖	62.2	24.4	中栄養
十和田湖	61.0	326.8	貧栄養
能取湖	58.4	23.1	富栄養
風連湖	57.5	13.0	貧栄養
北浦	35.2	7.8	富栄養

【北条】

【北条①】(略系図)



【無限級数】

【無限級数】

$$\frac{1}{1 \mp x} = 1 \pm x + x^2 \pm x^3 + x^4 \pm x^5 + \dots \pm x^{2n-1} + x^{2n} + \dots \text{(ただし, } x^2 < 1)$$

$$\frac{1}{(1 \mp x)^2} = 1 \pm 2x + 3x^2 \pm 4x^3 + \dots \pm 2nx^{2n-1} + (2n+1)x^{2n} + \dots \text{(ただし, } x^2 < 1)$$

$$\sqrt{1 \pm x} = 1 \pm \frac{x}{2} - \frac{1 \cdot 1}{2 \cdot 4} x^2 \pm \frac{1 \cdot 1 \cdot 3}{2 \cdot 4 \cdot 6} x^3 - \frac{1 \cdot 1 \cdot 3 \cdot 5}{2 \cdot 4 \cdot 6 \cdot 8} x^4 \pm \dots \text{(ただし, } x^2 < 1)$$

$$e^x = 1 + \frac{x}{1!} + \frac{x^2}{2!} + \frac{x^3}{3!} + \frac{x^4}{4!} + \dots + \frac{x^n}{n!} + \dots \text{(ただし, } x^2 < \infty)$$

$$a^x = 1 + \frac{x \log a}{1!} + \frac{x^2 (\log a)^2}{2!} + \frac{x^3 (\log a)^3}{3!} + \dots + \frac{x^n (\log a)^n}{n!} + \dots \text{(ただし, } x^2 < \infty)$$

$$\log(1+x) = x - \frac{x^2}{2} + \frac{x^3}{3} - \dots + (-1)^{n-1} \frac{x^n}{n} + \dots \text{(ただし, } -1 < x \leq 1)$$

$$\sin x = x - \frac{x^3}{3!} + \frac{x^5}{5!} - \frac{x^7}{7!} + \dots + (-1)^{n-1} \frac{x^{2n-1}}{(2n-1)!} + \dots \text{(ただし, } x: \text{rad, } x^2 < \infty)$$

$$\cos x = 1 - \frac{x^2}{2!} + \frac{x^4}{4!} - \frac{x^6}{6!} + \dots + (-1)^{n-1} \frac{x^{2n-2}}{(2n-2)!} + \dots \text{(ただし, } x: \text{rad, } x^2 < \infty)$$

$$\tan x = x + \frac{x^3}{3} + \frac{2x^5}{15} + \frac{17x^7}{315} + \frac{62x^9}{2835} + \dots \text{(ただし, } x: \text{rad, } |x| < \pi/2)$$

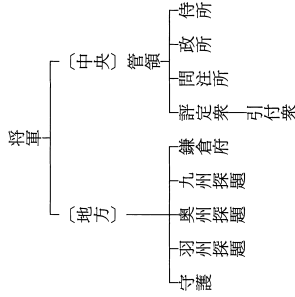
【室町幕府(将軍)】

〔室町幕府〕(将軍)

代	将軍氏名	在職年代	没年
1	足利尊氏	1338—1358	1358
2	足利義詮	1358—1367	1367
3	足利義満	1368—1394	1408
4	足利義持	1394—1423	1428
5	足利義量	1423—1425	1425
6	足利義教	1429—1441	1441
7	足利義勝	1442—1443	1443
8	足利義政	1449—1473	1490
9	足利義尚	1473—1489	1489
10	足利義植	1490—1521	1523
11	足利義澄	1494—1508	1511
12	足利義晴	1521—1546	1550
13	足利義輝	1546—1565	1565
14	足利義栄	1568—1568	1568
15	足利義昭	1568—1573	1597

【室町幕府(職制)】

〔室町幕府〕(職制)



【ヤード-ポンド法】

[ヤード-ポンド法] (換算表)

長さ

インチ	フィート	ヤード	マイル	メートル
1	0.083333	0.027778	0.000016	0.0254
12	1	0.333333	0.000189	0.3048
36	3	1	0.000568	0.9144
63360	5280	1760	1	1609.344

面積

平方ヤード	エーカー	平方マイル	平方メートル
1	0.000207	—	0.836127
4840	1	0.001563	4046.86
平方マイル	—	640	1

体積

ガロン(英)	ガロン(米)	立方インチ	立方メートル	リットル
1	1.20095	277.42	0.004546	4.546
0.833	1	231	0.003785	3.78541

質量

オンス	ポンド	トン(英)	トン(米)	グラム
1	0.0625	0.000028	0.000031	28.3495
16	1	0.000446	0.0005	453.592
35840	2240	1	1.12	1016050
32000	2000	0.892857	1	907185

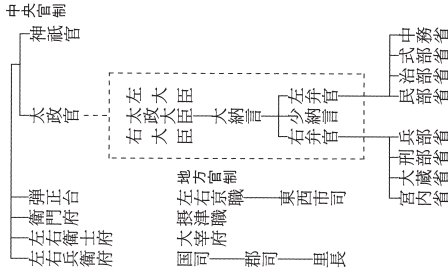
【六国史】

書名	撰進年	主な撰進者	期間
日本書紀	七二〇	舍人親王	神代～持統朝
続日本紀	七九七	藤原繼縄	六九七～七九一
日本後紀	八四〇	藤原緒嗣	七九二～八三三
続日本後紀	八六九	藤原良房	八三三～八五〇
文徳実録	八七九	藤原基経	八五〇～八五八
三代実録	九〇一	藤原時平	八五八～八八七

【六国史】

【律令制】

【律令制】（律令官制表）



【ローマ数字】

[ローマ数字]

1	I	8	VIII
2	II	9	IX
3	III	10	X
4	IV	50	L
5	V	100	C
6	VI	500	D
7	VII	1000	M

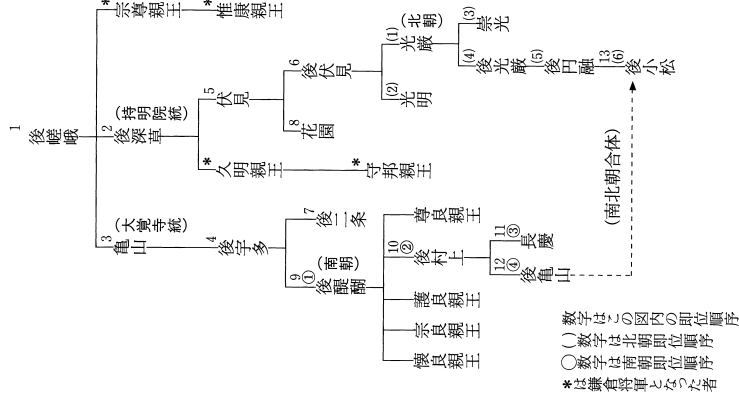
【六曜】

【六曜】（早見表）

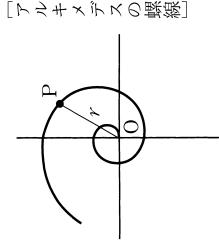
旧暦日	六曜					
	1	2	3	4	5	6
1・7	先勝	友引	先負	仏滅	大安	赤口
2・8	友引	先負	仏滅	大安	赤口	先勝
3・9	先負	仏滅	大安	赤口	先勝	友引
4・10	仏滅	大安	赤口	先勝	友引	先負
5・11	大安	赤口	先勝	友引	先負	仏滅
6・12	赤口	先勝	友引	先負	仏滅	大安
7	1	2	3	4	5	6
13	7	8	9	10	11	12
19	13	14	15	16	17	18
25	19	20	21	22	23	24
26	20	21	22	23	24	25
27	21	22	23	24	25	26
28	22	23	24	25	26	27
29	23	24	25	26	27	28
30	24	25	26	27	28	29

【両統迭立】

【両統迭立】

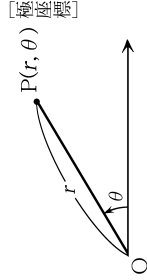


【アルキメデスの螺線】



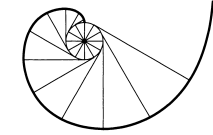
【アルキメデスの螺線】

【極座標】



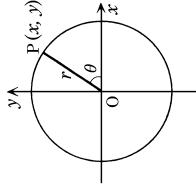
【極座標】

【インボリュート曲線】

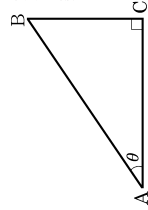


【インボリュート曲線】

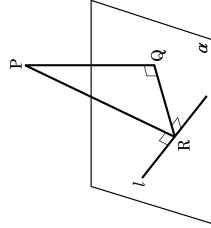
【三角関数】



【三角関数】

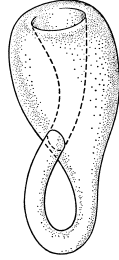


【三垂線の定理】



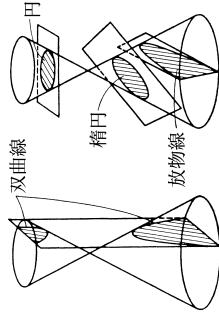
【三垂線の定理】

【クラインの壺】

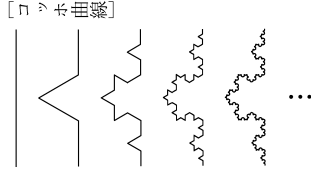


【クラインの壺】

【円錐曲線】

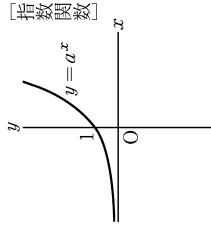


【コッホ曲線】

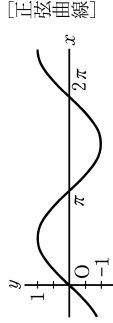


【円錐曲線】

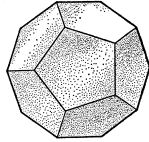
【指数関数】



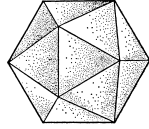
【正弦曲線】



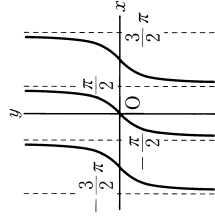
【正十二面体】



【正二十面体】

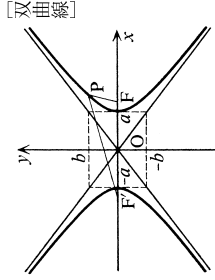


【正接曲線】



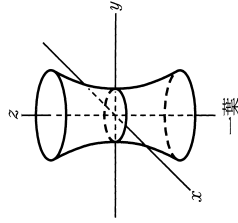
【正接曲線】

【双曲線】

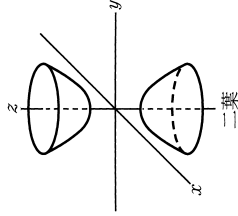


【双曲線】

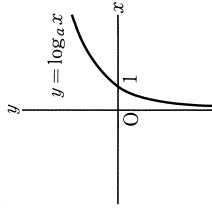
【双曲面】



【双曲面】

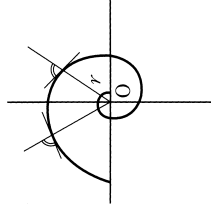


【对数関数】



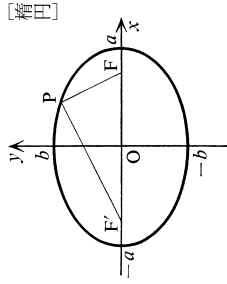
【对数関数】

【对数螺線】



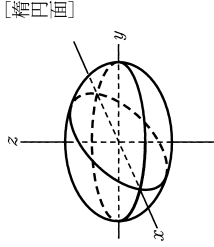
【对数螺線】

【楕円】



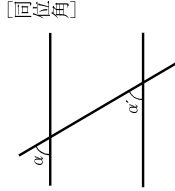
【楕円】

【楕円面】



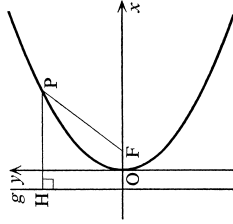
【楕円面】

【同位角】



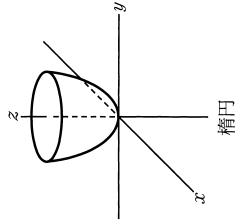
【同位角】

【放物線】

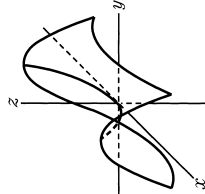


【放物線】

【放物面】



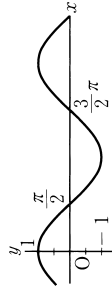
楕円



双曲

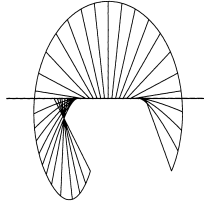
【放物面】

【余弦曲線】



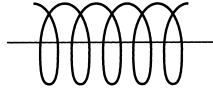
〔余弦曲線〕

【螺線面】



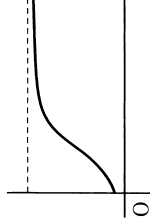
〔螺線面〕

【螺線】



〔螺線②〕

【ロジスティック曲線】



〔ロジスティック曲線〕

全訳古語辞典 第三版

この辞典のきまりと使い方

この辞典は、高等学校における古典学習を中心に、大学入試にも役立つように、数々の特色を盛り込んで編集されたものである。また、これから古典に親しもうとする一般社会人にも利用しやすいように多くの考慮が払われている。

収録語

- (1) 本書に収録した語は、約22500語である。上代から近世までのわが国の主要な古典から、使用頻度(ひんど)の高い語を中心に選んで収録した。さらに、古典の学習に欠くことのできない、複合語・連語・慣用句・古典によくみられる特有の言い回しも収録した。
- (2) 古典の読解や文学史の理解のために必要な、人名・地名・作品名などの固有名詞、枕詞・文芸用語などを豊富に収録した。
- (3) 教科書にのっている作品などを中心に、著名な和歌(百人一首はすべて)・歌謡360首、俳句・川柳159句を収録した。

見出しの立て方と表記

- (1) 見出し語は、歴史的仮名遣いにより、太字の平仮名で表記した。ただし、人名・地名・作品名は漢字表記によって見出しを示した。
- (2) 見出し語には、学習上の重要度を、*印、*印および無印により、三段階に分けて示した。
最重要語(*印) 約860語
重要語(*印) 約2200語
一般語(無印) 約19500語
- (3) 二通りの仮名遣いのあるものは、両方を見出しとして掲げ、より一般的なもののほうに語釈を付けた。
いはけなし(イケー)【稚けなし】(形ク)……
いわけなし【稚けなし】(形ク) → いはけなし
- (4) 歴史的仮名遣いと現代仮名遣いとが相違する語のうち、重要な語には現代仮名遣いによる見出しをも掲げて、検索の便をはかった。
あわし【淡し】 ⇨ あはし
おとこ【男】 ⇨ をとこ
- (5) 見出し語を構成する要素を、「-」でくぎって示した。ただし、枕詞・漢字表記による見出し語などには示さなかった。

あがためし【県召し】 べく-も-あら-ず

(6) 接頭語はその後に、接尾語はその前に「-」を付けて示した。さらに、重要なものには【例語】欄を設けて列挙した。

うち-【打ち】(接頭)

-そ-む【初む】(接尾マ下二型)(動詞の連用形に付いて)……………。

【例語】相見初む・言ひ初む・生ひ初む……………

(7) 重要な敬語動詞・補助動詞を次のような形で立項し、かつ、その【例語】をも列挙し、語構成の観点から語彙力が豊かに身につくように配慮した。

おぼし=【思し・覚し】(他サ四連用形)(動詞の上に付いて)……………。【例語】思し急ぐ・思し掟(おき)つ・思し置く……………

=あり-く【歩く】(補動力四)かきくくけけ(動詞の連用形の下に付いて)……………。【例語】憧(あくが)れ歩く・歩(あゆ)み歩く……………

(8) 動詞・形容詞・助動詞・活用のある接尾語は終止形で示し、助動詞を除き、語幹と活用語尾との区別のあるものには、その間を「・」で区別した。なお、形容動詞は語幹で示した。

あそ-ぶ【遊ぶ】(自バ四)

あたら-し【惜し】(形シク)

らる(助動下二型) -が-る(接尾ラ四型)

なのめ【斜め】(形動ナリ)

(9) 主要な助動詞については、終止形以外の各活用形をも見出し語として掲げた。

し 助動詞「き」の連体形。

な 助動詞「ぬ」の未然形。

(10) 和歌・歌謡・俳句・川柳は、第一句を見出しとして掲げた。

あさぼらけ…和歌 はしげやし…歌謡

しづかさや…俳句 くじふくは…川柳

(11) 複合語・連語・慣用句などは、そのままの形を見出しとし、わかりにくいものにはなりたちを付けた。

(12) 人名は原則として姓名で引くようにし、名または号で呼びならわされているものは、それをも見出しとし、解説は姓名の見出しのほうで行った。

西鶴(さいかく)〔人名〕→井原西鶴(ゐはらさいかく)

見出し語の配列

配列は、表記の仮名の五十音順とした。また、漢字表記の見出し語は、その読み(=歴史的仮名遣い)

の五十音順とした。なお、五十音順で定まらない語は、次の方針によって配列した。

- ①濁音・半濁音は清音のあと、拗音(ようおん)・促音は直音のあと。
- ②品詞などの順は、接頭語・接尾語・名詞・代名詞・動詞・形容詞・形容動詞・連体詞・副詞・接続詞・感動詞・助動詞・助詞・連語・慣用句・枕詞・和歌(歌謡)・俳句(川柳)の順。
- ③和歌・歌謡・俳句・川柳で、第一句が同じ場合には、第二句以下の表記の五十音順。

見出し漢字と読み方の表示

- (1) 見出し語の仮名に相当する漢字を【 】内に示した。二種以上の漢字表記があるものについては併記し、一般的なものから先に掲げた。また、送り仮名などは、平仮名・歴史的仮名遣いで示した。
- (2) 見出し語の仮名遣いが現代仮名遣いと相違するものには、見出し語の後に、現代仮名遣いに準じて半角の片仮名で示した。その際、現代仮名遣いと同じ部分は ― で示した。また、慣用的な読み方のあるものは()を用いて併記した。

※あなづらは・し(アナズラワシ)【侮らはし】(形シク) ①……

いへ-あるじ(イエ-)【家主】(名)

うかが・ふ(ウカガ(ゴウ)【伺ふ】(他八四)

品詞および活用の表示

- (1) 品詞名は略語によって()で示した。また、動詞には活用の種類と全活用形を{ }で示した。形容詞にはク活用・シク活用の別を、形容動詞にはナリ活用・タリ活用の別を示した。活用のある接尾語には活用の型を示した。〈略語は略語・記号一覧を参照〉

おこ-る【起こる】(自ラ四) {ら・り・る・る・れ・れ}

うとま-し【疎まし】(形シク)

あら-らか(形動ナリ)

-ば・む(接尾マ四型)

- (2) 助動詞は活用の型を()で示すとともに、おもな助動詞には全活用形を{ }で示した。動詞のうち、特殊な活用をするものについても{ }で示した。

き(助動特殊型) {せ・0・き・し・しか・0}

く【来】(自力変) {こ・き・く・くる・くれ・こ}

- (3) 品詞の分類および活用の種類については、現行

の学校文法教科書の最も一般的なものに従った。ただし、普通名詞の中で、動詞のサ行変格活用および形容動詞の語幹となるものについては、その品詞および語尾の活用も示した。

そうらん【奏覧】(名・他サ変)

あんをん(一オ(ノ)ン)【安穩】(名・形動ナリ)

- (4) 動詞は、自動詞・他動詞・補助動詞を区別し、(自力四)(他ラ下二)(補動ラ変)などのように示した。なお、本製品では、敬語となる補助動詞(連語は除く)は別見出しとして立項した。

たてまつる(1)【奉る】**■**(他ラ四)
{ら・り・る・れ・れ}……………

たてまつる(2)【奉る】(補動ラ四)
{ら・り・る・れ・れ}……………

たてまつる(3)【奉る】(他ラ下二)
{れ・れ・〇・〇・〇・〇}……………

たてまつる(4)【奉る】(補動ラ下二)
{れ・れ・〇・〇・〇・〇}……………

- (5) 助詞は、次の六分類に従った。
格助詞・接続助詞・副助詞・間投助詞・係助詞・終助詞

- (6) 固有名詞のうち、物語・随筆・日記などの作品名、作家・歌人・俳人・作中人物などの人名、

山・川を含めた地名については、『作品名』『人名』『地名』と表示した。

- (7) 枕詞・歌枕は、(枕詞)【歌枕】と表示した。
(8) 連語・慣用句などは特に連語表示をせず、無印とした。

語釈および解説

- (1) 語釈および解説は的確・明瞭を旨とし、助詞・助動詞・敬語動詞・その他の重要語については、特に詳しく解説した。さらに、必要に応じて【なりたち】【接続】【語法】【文法】【注意】【参考】【冒頭文】の欄を設けた。
- (2) 同一見出しで品詞が異なる場合、活用の種類が異なる場合は、**■****■** ……によって行をかえて示した。
- (3) 一つの見出し語に意味が二つ以上ある場合は、**①****②** ……によってわけて示した。**①****②**の中をさらにわける場合は、**㊦****㊧** ……によってわけて示した。
- (4) 必要な語については、解説にさきだって、その語についての語源・原義・転化・なりたちの形などを〔 〕で、語の位相を仏教語、上代語、近世語などと限定できるものは(())で囲んで

示した。なお、語形変化の説明は、原則として音韻変化による場合を「転」、複合語・連語などの一部の省略による場合を「略」とした。

- (5) 説明または補足的なものは、()に囲んで示した。

(下に打消の語を伴って)……

(…の意から)……

- (6) 解説文中、難解な語句には、(=)で注を施した。

- (7) 対義語がある場合は、 \leftrightarrow の記号を付けて示した。語義の全体に共通する対義語は、その見出し語の項末に(《 \leftrightarrow 》)の形で示した。語義の一部に該当する対義語は、その語義の用例・訳のあとに示した。

- (8) 省略記述として、次のような記号を用いた。

→…他の見出し語の語釈やその語に関する事項などを参照させる場合。

⇨…現代仮名遣いによる見出しから歴史的仮名遣いの見出しへ指示する場合。また、【学習】を参照させる場合。

- (9) 見出しとした和歌・歌謡・俳句・川柳には、通釈を施した。なお、歌中・句中に含まれる枕詞・序詞・掛詞・縁語などの修辞は、

通釈のあとに()で囲んで指摘・説明した。また、出典によって表記の異なるもの、作品の成立事情、解釈に諸説のあるもの、本歌どりの歌の場合はその本歌を、その他学習上特に注意すべき事柄などについては【参考】欄で解説した。

▼なりたち なりたち

連語・慣用句・古文特有の言い回しなどについては、組成・語形の変化など、その構成を明らかにした。

▼接 続 接続

助詞・助動詞について、その語が文法上どのような語、また、どのような活用形に付くかを説明した。

▼文 法 文法 文法

文法 主要な助詞・助動詞には、その文法的機能・意味用法などについて、詳細な解説を施した。

文法 最重要語・重要語の用例と見出し和歌・俳句とを中心に、訳出するうえでポイントとなる文法事項を指摘した。

▼語法 語法

見出し語の実際の用いられ方、用法などについて特に注意を要する点などについて指摘した。

▼注意 注意

その見出し語について理解するうえで、また、学習上特に注意を要する点、誤りやすい点などを指摘した。

▼参考 参考

見出し語についての理解をいっそう深めるため、語義の補足説明、時代による語の盛衰・語義の移り変わりなどの語史的説明、類似語との比較説明、その他古語・古典を理解するうえで参考となる事柄について解説を加えた。

▼学習 学習

古語を理解するうえで、まちがえやすい点、わかりにくい点、また、覚えておくと便利な事柄などについて解説を加えた。

▼冒頭文 冒頭文

著名な作品は見出しでとりあげ、解説のあとに冒頭の一節とその通釈を収めた。

▼枕詞・歌枕・季語

①枕詞は次のように示した。

あまのはら【天の原】(枕詞)「富士」にかかる。……

②歌枕は次のように示した。

明石(あかし)【地名】歌枕 今の兵庫県明石市。……

③見出し語のうち、俳句の季語となるものには、その語釈のあとに、春夏秋冬の記号でその季を示した。

また、見出し語から派生した季語は、次のように()に囲んで示した。

あし【葦・蘆】(名)……。秋。(葦茂る 夏
・葦の花 秋)

用 例

(1) 語義・用法の理解を助ける適切な用例を、次の基準によって採録した。

①著名古典を中心として、さらに教科書・大学入試問題などによくとりあげられ、親しまれているもの。

②文脈がわかりやすく、文意がひとまとまりであるもの。

(2) 表記は、歴史的仮名遣いによった。むずかしい漢字には読み仮名を付け、または仮名書きに改め、送り仮名や句読点を補うなどして読みやすくした。

(3) 用例中の見出し語にあたる部分は「一」で示した。なお、見出し語が動詞・形容詞・形容動詞である場合は、その語幹にあたる部分を「一」で示し、語尾は「・」でくぎってそのあとに示し、かつその活用形をも(用)などの表示で示した。連語の類もこれに準じて示した。

ただし、語幹・語尾の区別のない動詞(上一・下一・カ変・サ変・下二の「得(う)」)および助動詞については、それらが活用して変化した語形を、助詞については語形を(未)などの表示で活用形を示した。

なお、各活用形の表示は次の通りである。

(未) → 未然形 (用) → 連用形 (終) → 終止形

(体) → 連体形 (已) → 已然形 (命) → 命令形

す・ぐ【過ぐ】(自ガ上二) ぼ・ぎ・ぐ・ぐる・くれ・ぎよ
……………。

〔万葉〕一・二八『春一・ぎ(用)て夏来(きた)るらし白栲(しろたへ)の……』

みる【見る】(他マ上一) しみ・み・みる・みる・みれ・みよ……………。

〔土佐〕『……女もしてみ(未)むとてするなり』

ぬ(助動ナ変型)……………。〔古今〕冬『わが

待たぬ年は来ぬれ(已)ど冬草のかれに

(用)し人はおとづれもせず』

なべて-なら-ず【並べてならず】……………。

〔方丈〕二『一 - ぬ(体)法ども行はるれど、更にそのしるしなし』

(4) 用例の一部分を省略する場合、省略した部分を「…」を用いて示した。

用例の記

用例には原則として現代語訳を施し、〔訳〕の記号で表示した。現代語訳を施すに際しては、次の方針によった。

(1) 訳文は、学習上の観点から、できうる限り文法に忠実な逐語訳であるように心がけ、助詞・助動詞・敬語なども的確に訳し込むようにつとめた。

(2) 文体は、原則として「だ・である」体を用いた。会話文・韻文などでも、原文に敬語が含まれていなければ、通常の文体で訳を施した。た

だし、見出し和歌・俳句の訳については、一つの作品ととらえて、適宜「です・ます」体を用いた。

- (3) 時制については、原文の時制と訳文の時制とが一致することを原則とし、文脈上通常過去形の訳をあてるような場合においても、原文が現在形であれば訳文も現在形とした。
- (4) 文脈をわかりやすくするための、主語・客語・その他の状況説明などの補足は、()に囲んで補った。
- (5) 訳文中、意味のむずかしい語・部分については、該当する語・部分の直下に(=)の形で説明を補った。
- (6) 用例が短くかつ容易で、現代語訳を必要としないと認めたものについては、訳を省いた場合もある。また、むずかしい語のみに補注または部分訳を付して全文訳を省いた場合もある。
- (7) とりあげた用例中に、掛詞・縁語・枕詞・序詞が含まれていればその詳細の説明を、また、別解・補足説明などを、訳文のあとに()で囲んで示した。
- (8) 用例としてとりあげた和歌・歌謡・俳句・川

柳が見出しとして立項されている場合は、訳を付けず、見出しの通釈を参照するようにした。

出典の表示

用例の出典の示し方は、次の方針によって表示した。

- (1) 教科書・大学入試などに頻出する重要作品20点については、特に次のような略称の記号で表示し、目立たせた。

竹取	(竹取物語)	大鏡	(大鏡)
伊勢	(伊勢物語)	方丈	(方丈記)
土佐	(土佐日記)	宇治	(宇治拾遺物語)
大和	(大和物語)	平家	(平家物語)
蜻蛉	(蜻蛉日記)	著聞	(古今著聞集)
枕	(枕草子)	徒然	(徒然草)
源氏	(源氏物語)	細道	(おくのほそ道)
堤	(堤中納言物語)	万葉	(万葉集)
更級	(更級日記)	古今	(古今和歌集)
今昔	(今昔物語集)	新古今	(新古今和歌集)

- (2) 前項にあげた作品のほか、次の作品も略称で示した。

古事記→〔記〕

落窪物語→〔落窪〕

日本書紀→〔紀〕仁徳など 栄花物語→〔栄花〕
 日本霊異記→〔霊異記〕 十訓抄→〔十訓〕
 宇津保物語→〔宇津保〕 雨月物語→〔雨月〕

御伽草子→伽 黄表紙→黄
 洒落本→洒

(3) (1)、(2)以外の出典は、原則として作品名をそのまま掲げた。ただし、歌集は「和歌集」の部分を省略して示した。

(4) 和歌には歌集名・部立て(主として勅撰集に)を、俳句には句集名・作者名を示した。特に「万葉集」は、巻数と「新編国歌大観」を示した。

〔拾遺〕冬 〔猿蓑〕芭蕉 〔万葉〕二・一四二

(5) 著名な出典には、「巻名」「巻数」「段数」「編名」「小見出し」「説話番号」などを付記した。(「枕草子」の段数、小見出し、説話番号などは「日本古典文学大系」のそれによった)

(6) ジャンル名・種類の表示は、次のような略称で示した。

①芸能に関するもの

浄瑠璃→浄 謡曲→謡 狂言→狂
 歌舞伎→伎

②近世の小説類のうち、次にあげたジャンル名は略称で示し、その他は作品名のみ表示した。

浮世草子→浮 仮名草子→仮名

略語・記号一覧

〔品詞・その他〕

(名)	名詞
(代)	代名詞
(自)	自動詞
(他)	他動詞
(補動)	補助動詞
(形)	形容詞
(形口)	口語形容詞
(形動)	形容動詞
(形動口)	口語形容動詞
(連体)	連体詞
(副)	副詞
(接)	接統詞
(感)	感動詞
(助動)	助動詞
(格助)	格助詞
(接助)	接統助詞
(副助)	副助詞
(間助)	間投助詞
(係助)	係助詞
(終助)	終助詞
(接頭)	接頭語
(接尾)	接尾語

〔活用〕

(四)	四段活用
(上一)	上一段活用
(上二)	上二段活用
(下一)	下一段活用
(下二)	下二段活用
(カ変)	カ行変格活用
(サ変)	サ行変格活用
(ナ変)	ナ行変格活用
(ラ変)	ラ行変格活用
(ク)	ク活用
(シク)	シク活用
(タリ)	タリ活用
(ナリ)	ナリ活用
①	未然形
②	連用形
③	終止形
④	連体形
⑤	已然形
⑥	命令形

〔その他〕

*	最重要語
*	重要語
〔 〕	現代仮名遣いによる見出し語
↔	対義語
《↔》	語義①②③……の全体に共通する対義語
→	他の見出し語の語釈やその語に関する事項などへの参照
⇒	現代仮名遣いから歴史的仮名遣いへの指示および学習への参照

動詞活用表

種類	例語	語幹 語尾	活用形				命令形	活用する 段
			未然形	連用形	終止形	連体形		
四段	カ 咲く さ		-か					ア段
				-き				イ段
					-く			ウ段
						-け		エ段
								オ段
五十音図の「ア・イ・ウ・エ」の四段にわたって活用する。								
活用	ガ 泳ぐ およ	-が	-ぎ	-ぐ	-ぐ	-げ	-げ	
	カ 消す け	-さ	-し	-す	-す	-せ	-せ	
	タ 待つ ま	-た	-ち	-つ	-つ	-て	-て	
	ハ 思ふ おも	-は	-ひ	-ふ	-ふ	-へ	-へ	
	バ 呼ぶ よ	-ば	-び	-ぶ	-ぶ	-べ	-べ	
	マ 読む む	-ま	-み	-む	-む	-め	-め	
	ラ 取る と	-ら	-り	-る	-る	-れ	-れ	
ラ行変格活用	有 ^{あり} あ	-ら	-り	-り	-る	-れ	-れ	ア段 イ段 ウ段 エ段 オ段
ラ行の四段にわたって活用するが、終止形がイ段の音(「り」)で終わり、四段活用とちがっている。「有り」「居 ^り 」「待 ^り 」「いまそがり」の四語が基本。								
ナ行変格活用	死 ^し ぬ し	-な						ア段
		-に						イ段
				-ぬ	-ぬる	-ぬれ		ウ段
							-ね	エ段
								オ段
ナ行の四段にわたって活用するが、連体形・已然形はウ段の音(「ぬ」)に「る」「れ」が付く、四段活用とちがっている。「死ぬ」「住いぬ(去 ^{いぬ})」の二語。								
下一段活用	カ 蹴 ^り る (蹴)							ア段
								イ段
								ウ段
		け	け	ける	ける	けれ	けよ	エ段
								オ段
エ段の「け」と、それに「る」「れ」「よ」の付いたものことからなる。「蹴る」の一語。								

種類	行	例語	語幹 語尾	活用形				活用 する 段					
				未然形	連用形	終止形	連体形		已然形	命令形			
	ア	得 ³	(得)	え	え	う	うる	うれ				ア段 イ段 ウ段 エ段 オ段	
下	一	カ	ウ・エ・の二段と、ウ段の音に「れ」、エ段の音に「よ」が付いたものとなる。										
二	段	カ	受 ³ く	- け	- け	- く	- くる	- くれ	- くれ	- けよ			
活		ガ	告 ³ ぐ	- げ	- げ	- ぐ	- ぐる	- ぐれ	- ぐれ	- げよ			
用		サ	寄 ³ す	- せ	- せ	- す	- する	- すれ	- すれ	- せよ			
		ザ	混 ³ ず	- ぜ	- ぜ	- ず	- ずる	- ずれ	- ずれ	- ぜよ			
		タ	捨 ³ つ	- て	- て	- つ	- つる	- つれ	- つれ	- てよ			
		ダ	出 ³ い	- で	- で	- づ	- づる	- づれ	- づれ	- でよ			
		ナ	寝 ³ ゆ	ね	ね	ぬ	ぬる	ぬれ	ぬれ	ねよ			
		ハ	経 ³ ぶ	へ	へ	ふ	ふる	ふれ	ふれ	へよ			
		バ	比 ³ ぶ	べ	べ	ぶ	ぶる	ぶれ	ぶれ	べよ			
		マ	改 ³ む	め	め	む	むる	むれ	むれ	めよ			
		ヤ	覚 ³ ゆ	え	え	ゆ	ゆる	ゆれ	ゆれ	えよ			
		ラ	流 ³ る	れ	れ	る	るる	るれ	るれ	れよ			
		ワ	握 ³ う	- 系	- 系	- う	- うる	- うれ	- うれ	- 系よ			
			主な用法 [活用形の 見分け方]	ム・ズに 連なる	タリに 連なる	言い切 る	トキ・ コトに 連なる	ドモに 連なる	命令の意 味で言い 切る				
上	一	カ	着 ³ る (着)	き	き	きる	きる	きれ	きれ	きよ			
段													
活													
用													
			イ段の音と、それに「る」「れ」「よ」が付いたものとなる。										
		ナ	似 ³ る (似)	に	に	にる	にる	にれ	にれ	によ			
		ハ	干 ³ る (干)	ひ	ひ	ひる	ひる	ひれ	ひれ	ひよ			
		マ	見 ³ る (見)	み	み	みる	みる	みれ	みれ	みよ			
		ヤ	射 ³ る (射)	い	い	いる	いる	いれ	いれ	いよ			
		ワ	居 ³ る (居)	ゐ	ゐ	ゐる	ゐる	ゐれ	ゐれ	ゐよ			

種類	行	例語	語幹 語尾	活用形				活用する 段		
				未然形	連用形	終止形	連体形		已然形	命令形
上二段	カ	起 <small>お</small> く	お	-き	-き	-く	-くる	-くれ	ア段 イ段 ウ段 エ段 オ段	
上二段				イ・ウの二段と、ウ段の音に「る」「れ」、イ段の音に「よ」が付いたものからなる。						
活用	カ	過 <small>あ</small> ぐす	す	-ぎ	-ぐ	-ぐ	-ぐる	-ぐれ	-ぎよ	
	タ	落 <small>お</small> つ	お	-ち	-つ	-つ	-つる	-つれ	-ちよ	
	ダ	恥 <small>は</small> づ	は	-ち	-づ	-づ	-づる	-づれ	-ちよ	
	ハ	強 <small>し</small> ふ	し	-ひ	-ふ	-ふ	-ふる	-ふれ	-ひよ	
	バ	延 <small>の</small> ぶ	の	-び	-ぶ	-ぶ	-ぶる	-ぶれ	-びよ	
	マ	恨 <small>む</small> づ	む	-み	-む	-む	-むる	-むれ	-みよ	
	ヤ	悔 <small>ゆ</small> く	く	-い	-ゆ	-ゆ	-ゆる	-ゆれ	-いよ	
	ラ	下 <small>お</small> る	お	-り	-る	-る	-るる	-るれ	-りよ	
カ行変格活用	(カ変)	来 <small>く</small> (来)	(来)							ア段 イ段 ウ段 エ段 オ段
				き	く	くる	くれ			
				こ					こ (こよ)	
サ行変格活用	(サ変)	為 <small>な</small> す (為)	(為)							ア段 イ段 ウ段 エ段 オ段
				し	す	する	すれ			
				せ					せよ	
主な用法 [活用形の 見分け方]	ム・ズに 連なる			ム・ズに 連なる	トキ・ コトに 連なる	トキ・ コトに 連なる	ドモに 連なる	命令の意 味で言い 切る		
	イ・ウ・エの三段の音と、ウ段の音に「る」「れ」、イ段の音に「よ」の付いたものからなる。「為」「おはす」のほかに、複合語「ものす」「愛す」「命ず」「重んず」など。									

形容詞活用表

種類	例語	語幹				活用形				形		
		語尾	未然形	連用形	終止形	連体形	終止形	連体形	已然形	已然形	命令形	
ウ活用	よし	よ	-く	-かり	-し	-き	-けれ	-かれ				
シク活用	美しく	うつく	-から	-しく	-し	-かる	-しけれ	-しかれ				
主な用法 「活用形の」 「見分け方」			キ・ナ ズに連 なる	キ・ナ ルに連 なる	言いつ 切る	トキ・ ベシに 連なる	ドモに 連なる	命令の意 味で言い 切る				

形容動詞活用表

種類	例語	語幹		活用形				形			
		語尾	語尾	未然形	連用形	終止形	連体形	終止形	連体形	已然形	命令形
ナリ活用	静かなり	し	つ	-なり	-に	-なり	-なる	-なれ	-なれ	-なれ	
タリ活用	堂々たり	だう	だう	-たり	-と	-たり	-たる	-たれ	-たれ	-たれ	
主な用法 「活用形の」 「見分け方」				キ・ナ ズに連 なる	キ・ナ ルに連 なる	言いつ 切る	トキ・ ベシに 連なる	ドモに 連なる	命令の意 味で言い 切る		

主要助動詞活用表

種類	尊敬		使役	
基本形	す	さす	しむ	
未然形	せ	させ	しめ	
連用形	せ	させ	しめ	
終止形	す	さす	しむ	
連体形	する	さする	しむる	
已然形	すれ	さすれ	しむれ	
命令形	せよ	させよ	しめよ 〔しめ〕	
活用型	下二段型	下二段型	下二段型	
接続	四変ラ変ナ 未然形	左の未然形	未然形	
意味・用法	<p>① 使役の意を表す。…させる。</p> <p>② 尊敬の動詞「賜^{たま}ふ」「宣^{たま}ふ」などに付いて、最高の尊敬の意を表す。</p> <p>③ 謙譲の動詞「参^まる」「奉^まぐる」などには付いて、謙譲の意を強める。</p> <p>④ 尊敬の補助動詞「給^{たま}ふ」「おはします」「まします」「尊敬の助動詞「らる」などとともに用いて、尊敬の意をさらに強める。最高敬語。お…になられる。…なされる。</p> <p>⑤ 軍記物などで、受身の「る」に代えて用いる。「武者詞^{むしゃご}」といわれ、「…れる」というところを「…せる」と言い表す。</p>		<p>① 使役の意を表す。…させる。</p> <p>② 「給^{たま}ふ」などにも用いて、程度の高い尊敬の意を表す。お…になられる。…なされる。</p> <p>③ おもに会話文で、「聞^きこゆ」「申^ます」「奉^まぐる」「敬^ます」などの謙譲語に付いて、より高い謙譲の意を表す。</p> <p>④ 軍記物などで、受身の「らる」に代えて用いる。「武者詞^{むしゃご}」といわれ、「…られる」というところを「…させる」と言い表す。</p> <p>⑤ 謙譲の意の「聞^きこゆ」とともに用いて、最高の謙譲の意を表す。申し上げる。お…申し上げる。</p>	

▽〔 〕内は、上代のもの、あるいは用例の少ないもの。()内は、そのように表記されることもあるもの。また、〈 〉内の基本形は、上代語。

		推量				打消		受身		可能		尊敬		
	むず (んず)		○		○		○	むず (んず)	むずる (んずる)	むずれ (んずれ)		○	サ変型 未然形	
	んむ		○		○		○	んむ (んむ)	め		○	四段型 未然形	<p>① 推量の意を表す。…だろう。</p> <p>② 意志の意を表す。…う。…よう。</p> <p>③ 適当・当然の意を表す。…のがよいだろう。…べきだ。</p>	
	ず	ざ○	○	ざり	〔に〕	ざり	〔ぬ〕	ざる	ざ○ぬ	ざれ	ざ○	○	特殊型 未然形	<p>① 推量の意を表す。…(の)だろう。</p> <p>② 意志・意向の意を表す。…う。…よう。…つもりだ。</p> <p>③ (連体形を用いて) 假定または仰曲<small>おほまが</small>の意を表す。…とすれば、その…よくな。</p> <p>④ (多く「こそ」の結びとして已然形を用いて) 適当・当然・仰曲<small>おほまが</small>な命令の意を表す。…のがよい。…はすだ。</p> <p>⑤ 勸誘の意を表す。…う。…よう。…ない(か)。</p> <p>⑥ (已然形「め」が疑問の助詞「や」「か」を伴って) 反語の意を表す。…だろう(か)(いや、ないだろう)。…(ない)だろう(か)(いや、…だろう)。</p>
	らる	られ	られ	らる	らるる	らる	らるる	らる	らるる	らるれ	○	られよ (自発可能)	下二段型 左の未然形	<p>① 受身の意を表す。…られる。</p> <p>② 自発の意を表す。自然に…られる。…ないではいられない。</p> <p>③ 可能の意を表す。…ことができる。</p> <p>④ 尊敬の意を表す。お…になる。…なさる。</p>
	る	れ	れ	る	るる	る	るる	る	るる	るれ	○	れよ (自発可能)	下二段型 変四段・ナ変の未然形	<p>① 受身の意を表す。…れる。</p> <p>② 自発の意を表す。自然に…れる。…ないではいられない。</p> <p>③ 可能の意を表す。…ことができる。</p> <p>④ 尊敬の意を表す。お…になる。…なさる。</p>

(基本形) (未然形) (連用形) (終止形) (連体形) (已然形) (命令形) (活用型) (接続)

(意味・用法)

推量

（らんむ）	（けんむ）	めり	らし
○	○	○	○
○	○	めり	○
（らんむ）	（けんむ）	めり	らし
（らんむ）	（けんむ）	める	（らしき）
らめ	けめ	めれ	らし
○	○	○	○
四段型	四段型	ラ変型	特殊型
終止形、連体形には	連用形	終止形、連体形には	終止形、連体形には
<p>① 目の前にはない現在の事実について推量する意を表す。今ごろ……しているだろう。</p> <p>② 現在の事実について、その原因・理由を推量する意を表す。（……というので）……のだろう。</p> <p>③ 現在の事実について、その原因・理由を疑問をもって推量する意を表す。どうして……しているのだろう。……しているのはなぜだろう。</p> <p>④ 他から聞いたり読んだりしたという伝聞の意を表す。……しているという。……そぞろだ。</p> <p>⑤ （連体形を用いて）仮定または婉曲^{まご}の意を表す。……しているとすれば、その……しているようならう。</p> <p>⑥ 「む」と同じく、単なる推量の意を表す。……たろう。</p> <p>⑦ （已然形「らめ」が疑問の助詞「や」を伴って）反語の意を表す。……しているだろう（か）（いや……ないだろう）。</p>	<p>① 過去の動作・状態を推量する意を表す。……ただろう。……していただろう。</p> <p>② （疑問語とともに用いて）過去の事実について、時・所・原因・理由などを推量する意を表す。……たのだろう。……していたのだろう。</p> <p>③ 過去の事実を人づてに聞き知つたように婉曲^{まご}に表す。……たという。……たとかいう。</p>	<p>① 現在の事実について推量する意を表す。……ように見える。……よそだ。</p> <p>② 断定を避けて婉曲^{まご}にいう意を表す。……ようだ。</p>	<p>① ある根拠・理由に基づき、確信をもって推定する意を表す。……にちがいない。きつと……だろう。</p> <p>② 明らかなる事実・状態を表す語に付いて、その原因・理由を推定する意を表す。……（と）……の……で……らしい。</p> <p>③ 根拠・理由は示さないが、確信をもって推定する意を表す。……にちがいない。きつと……だろう。</p>

（基本形）（未然形）（連用形）（終止形）（連体形）（已然形）（命令形）（活用型）（接続）

（意味・用法）

推量	推定	伝聞
べし	なり	
べから	○	
(べか か)	なり	
べし	なり	
(べか る)	なる	
べけれ	なれ	
○	○	
ク活用型	ラ変型	
終止形、 連体形は	終止形、 連体形は	
<p>① 推量の意を表す。⑦ある事の起こることを予想する。…そうだと。④確実な推測を表す。きつと…だろう。…にやがいない。…らしい。</p> <p>② 予定の意を表す。…ことになつてゐる。</p> <p>③ 当然の意を表す。…はずだ。…にちがいない。</p> <p>④ 適当の意を表す。…がよい。…が適当だ。</p> <p>⑤ 義務の意を表す。…なければならぬ。</p> <p>⑥ 可能または可能性を推定する意を表す。…ことのできそうだと。…ことのできよう。</p> <p>⑦ (終止形を用いて) 意志を表す。…う。…よう。…つもりだ。</p>	<p>① (音や声が聞こえることから) 推定する意を表す。…ようだと。…のが聞こえる。</p> <p>② (世間のうわさ・人の話・故事などによる) 伝聞の意を表す。…そうだと。…ということだ。</p> <p>③ (周囲の状況などから判断して) 推定する意を表す。…ようだと。…らしい。</p>	<p>①⑦(「まはは…まし」「ましかは…まし」の形で) 事実に反することを仮に想像し、仮想する意を表す。もし…(た)なら…(た)だろう(に)。</p> <p>④(「未然形+ば」など仮定条件句を受けて) 仮定の上になつて仮想する意を表す。…(た)だろう(に)。</p> <p>②(単独で用いて) 仮定の条件を含んでの仮想の意を表す。…たら(よかつた)。</p> <p>③(「いかに」「なに」「や」など疑問の意を表す語と共に用いて) 決断しかねる意を表す。…たらよいだろう。…たものだろう。</p> <p>④(中世語) 単なる推量の意を表す。…う。…よう。…だろう。</p>

(基本形) (未然形) (連用形) (終止形) (連体形) (已然形) (命令形) (活用型) (接続)

(意味・用法)

量の打消		過去	
じ	まし	き	けり
○	まじから	(せ)	(けら)
○	まじく まじかり	○	○
じ	まし	き	けり
じ	まじき まじかる	し	ける
じ	まじけれ	しか	けれ
○	○	○	○
特殊型	シク活用型	特殊型	ラ変型
未然形	終止形、連体形は	連用形、変は特殊	連用形
① 打消の推量を表す。…ないだろう。 ② 打消の当然の意を表す。…はずがない。 ③ 不適当の意を表す。…ないほうがよい。…のはふさわしくない。 ④ 禁止の意を表す。…してはならない。 ⑤ 不可能の予測を表す。…(ことか)できそうもない。 ⑥ 打消の意志を表す。…まい。…ないつもりだ。	① 過去に直接経験した事実、または過去にあったと信じられる事実を回想している意を表す。…した。…していた。 ② (平安時代末期以降の用法) 動作が完了して、その結果が存続している意を表す。…している。…てある。	① 今まで気づかなかつた事実、気がついて述べた意を表す。…たのだ。…たなあ。 ② 人づてに聞き知つた過去の事実を伝聞として述べる意を表す。…たという。…たそうだ。 ③ 以前から現在まで続いている事柄や伝承を回想する意を表す。…た。…たのであつた。 ④ 詠嘆の意をこめて、これまであつたことに気づいた意を表す。…たことよ。…ことよ。	① 今まで気づかなかつた事実、気がついて述べた意を表す。…たのだ。…たなあ。 ② 人づてに聞き知つた過去の事実を伝聞として述べる意を表す。…たという。…たそうだ。 ③ 以前から現在まで続いている事柄や伝承を回想する意を表す。…た。…たのであつた。 ④ 詠嘆の意をこめて、これまであつたことに気づいた意を表す。…たことよ。…ことよ。

(基本形) (未然形) (連用形) (終止形) (連体形) (已然形) (命令形) (活用型) (接続)

(意味・用法)

完了

つ	ぬ	たり
て	な	たら
て	に	たり
つ	ぬ	たり
つ る	ぬ る	たる
つ れ	ぬ れ	たれ
て よ	ね	たれ
下二段型	ナ変型	ラ変型
連用形	連用形	連用形
<p>① 動作・作用が表現し、完了した意を表す。…た。…てしまう。…てしまった。</p> <p>② 動作・作用の表現を確信したり、確認したりする意を表す。確述(強意)の用法。⑦単独で用いている場合、必ず…。確かに…。…てしまう。</p> <p>④ 推量の助動詞とともに用いて、「てむ」「てまし」「つべし」などの形になる場合、推量・意志・可能などの意を、「確かに」「きつと」「必ず」の気持ちで述べる。</p> <p>⑤ (中世以降の用法)終止形を重ね用いた「…つ…つ」の形で、二つの動作・作用が並立している意を表す。…たり…たり。</p>	<p>① 動作・作用が表現し、完了した意を表す。…た。…てしまう。…てしまった。</p> <p>② 動作・作用の表現を確信したり、確認したりする意を表す。確述(強意)の用法。⑦単独で用いている場合、必ず…。確かに…。…てしまう。</p> <p>④ 他の助動詞とともに用いて、「なむ」「なまし」「ぬべし」などの形になる場合、推量・意志・可能などの意を、「確かに」「きつと」「必ず」の気持ちで述べる。</p> <p>⑤ (中世以降の用法)終止形を重ね用いた「…ぬ…ぬ」の形で、二つの動作・作用が並立している意を表す。…たり…たり。</p>	<p>① 動作・作用が完了した意を表す。…た。</p> <p>② 動作・作用の結果が存続している意を表す。…ている。</p> <p>③ 動作・作用が継続している意を表す。…ている。</p> <p>④ その状態であること、またはその性状をそなえていることの意味を表す。…ている。…た。</p> <p>⑤ (中世以降の用法)終止形を重ね用いた「…たり…たり」の形で、二つの動作・作用が並立している意を表す。…たり…たり。</p>

(基本形) (未然形) (連用形) (終止形) (連体形) (已然形) (命令形) (活用型) (接続)

(意味・用法)

完了	希望		断定		比況
	まほし	たし	なり	たり	
り	まほしから	たから	なり	たり	ごとし
ら	まほしかり	たから(たかり)	なり(に)	た(と)り	○
り	まほし	たし	なり	たり	ごとし
る	まほしかる	た(た)き	なる	たる	ごとき
れ	まほしけれ	たけれ	なれ	たれ	○
れ	○	○	なれ	たれ	○
ラ変型	型シク活用	ク活用型	型ナリ活用	型タリ活用	ク活用型
未然形 四已段の 未然形	未然形	連用形	連体形・ 連体言	体言	「助詞」へ 「の」
① 動作・作用が継続している意を表す。…ている。 ② 動作・作用の結果が継続している意を表す。… ている。…である。 ③ 動作・作用が完了した意を表す。…しまった。 …た。	① 動作の主体の希望の意を表す。…たい。 ② 他に對してその状態への希望の意を表す。…て ほしい。	① 自己の動作の実現を希望する意を表す。…たい。 ② 他の動作・状態について、話し手自身の希望の 意を表す。…てほしい。	① 断定を表す。…である。…だ。 ② (場所などを表す語を受けて) 存在を表す。… にある。…にいる。 ③ (親族関係を表す語を受けて) 資格を表す。… である。…にあたる。 ④ (近世語) 人名などを表す語を受けて「…と いう」意を表す。	断定の意を表す。…だ。…である。	① ある事柄が他のある事柄と同じである意を表 す。…(と)同じだ。…(の)とおいだ。 ② ある事柄を他の似ている事柄に比べたとする意 を表す。…(の)ようだ。 ③ (平安時代末期以降) 多くの中からあるものを 例示する意を表す。たとえば…(の)よるだ。

(基本形) (未然形) (連用形) (終止形) (連体形) (已然形) (命令形) (活用型) (接続)

(意味・用法)

自 受 可 能 身	尊 敬	繼 反 統 復
〔ゆ〕	〔す〕	〔ふ〕
え	さ	は
え	し	ひ
ゆ	す	ふ
ゆる	す	ふ
ゆれ	せ	へ
○	せ	〔く〕
下二段型	四段型	四段型
ナ変の未然形	四段変の未然形	四段の未然形
下二段のナ行	下二段のナ行	①動作の反復の意を表す。何度も…。しきりに…。
可能の意を表す。…ことができる。…られる。	軽い尊敬、親愛の意を表す。お…になる。…なさ	②動作の継続の意を表す。…つつける。
①受身の意を表す。…れる。		
②可能の意を表す。…ことができる。		
③自発の意を表す。自然に…れる。		

(基本形) (未然形) (連用形) (終止形) (連体形) (已然形) (命令形) (活用型) (接続)

(意味・用法)

ジーニアス英和辞典 第4版

1. 見出し語

A. 見出し語の並べ方

- ① アルファベット順に並べてある。
- ② 同じつづりで語源の異なる語は別見出しとし、右肩に番号をつけた。
bill¹ bill² Bill

B. 重要語の表示

(重要度に応じて次のような記号をつけてランクを示した。)

- * Aランク 中学学習語, 特に使用頻度の高い語 (約1150語)
- * Bランク 高校学習語 (約3100語)
- * Cランク 大学生・社会人に必要な語 (約5300語)
- 無印 Dランク その他の語 (約70450語)

C. いろいろなつづりがある場合

- ① 米国式と英国式のつづりがあるときは、米国式を優先し、英国式つづりは参照見出しとした。
‡col-or, 《英》-our ... 名

- ② ()は省略可能な部分、-は最初のつづりとの共通部分を示す。
- ③ (-)はハイフンつきまたはハイフンなしの1語となることを示す。

D. 分節

- ① 音節の切れ目は、・(小さい中点)で表示した。
- ② 発音によって切り方が違うときは、最初に掲げた発音による切り方を示した。1語化した複合語(非分離複合語)では、構成要素の間だけを・で表示し、他の分節の表示は省略した。

E. 分離複合語(2語見出し)

2語以上からなる見出し語(以下「分離複合語」という)は、最初の語の複合語として、アルファベット順に掲げた。ただし、Newのつく地名はnewの末尾でなく独立の見出し語とした。

F. 派生語の扱い

～は見出し語まるごとの代用である。

2. 発音

- ① 発音記号は/ /に入れて示した。省略可能な音

は()に入れて示した(省略可能な ə は ə とした)。

第1強勢(ストレス)は´, 第2強勢は`をつけた。複数の発音が併記してある場合は, 最初に示したものが最も一般的な発音である。

- ②発音の一部を省略するときは, 省略部分をハイフン(-)で示した。
- ③品詞によって発音が違うときは, 見出し語の直後に一括して掲げた(重要語についてはそれぞれの品詞のところにも示した)。

動+は「動詞の場合はこの発音もある」という意。

- ④米国式と英国式の発音が異なるときは, 米音・英音の順で示し, 間に|を入れた。

《米+》は「米国ではこの発音もある」の意。

《英+》は「英国ではこの発音もある」の意。

●次の音については米音と英音が異なっていて, 次のように対応している。

/ɔ(:)/ → 米 /ɔ:/ 英 /ɒ/

/(j)u:/ → 米 /u:/ 英 /ju:/

(時に/(j)u// (j)ə/も用いた)

/əɪ/ → 米 /eɪ/ 英 /ə/

/əɪr/ → 米 /eɪr/ 英 /ə:/

/əɪr\Δr/ → 米 /eɪr/ 英 /Δr/

/ou/ → 米 /ou/ 英 /əu/

(英音を特に示すときは/əu/を用いた)

/ɑ:r/ → 米 /ɑə/ 英 /ɑ:/

/ɔ:r/ → 米 /ɔə/ 英 /ɔ:/

/ɪər/ → 米 /ɪə/ 英 /ɪə/

/eər/ → 米 /eə/ 英 /eə, e:/

/uər/ → 米 /uə/ 英 /uə/

/ɪər/ → 米 /ɪr/ 英 /ɪər/

/eər/ → 米 /er/ 英 /eər, e:r/

/uər/ → 米 /ur/ 英 /uər/

/aɪər/ → 米 /aɪə/ 英 /aɪə, aə/

/aʊər/ → 米 /aʊə/ 英 /aʊə, aə/

- ⑤主として日本人の発音に多い誤りを防ぐ配慮から, 次のような語の終りにくる音節主音の子音 /l/ /m/ /n/ の前では通例母音を表示しない。

(1) /pl/ **opal** /óupl/

/kl/ **local** /lóukl/

/sl/ **Russell** /rÁsl/

/bl/ **global** /glóubl/

/fl/ **beautiful** /bjú:təfl/

(ただし, 「…1杯分」の -ful は /-fúl/)

/zl/ **hazel** /héizl/

/tl/ **metal** /métel/

/nl/ **panel** /pænl/

/ml/ **normal** /nó:rml/

その他 /dl/ /gl/ /vl/ など。

副詞形では **normally** /nó:rmæli/ のようになる。

(2) /tn/ **button** /báttn/

/dn/ **harden** /há:rdn/

/zn/ **reason** /rí:zn/

/sn/ **lesson** /lésn/

その他 /fn/ /vn/ など。

(3) /zm/ **prism** /prízm/

/ðm/ **rhythm** /ríðm/

⑥何らかの強勢が置かれた場合の発音(これを「強形 (strong form)」という)と強勢が置かれない場合の発音(これを「弱形 (weak form)」という)を区別する語については、それぞれ《強》《弱》という表示をつけて示した。

⑦Cランク以下の非分離複合語・ハイフン付き複合語については、特に必要な場合を除いて、発音表記を省略し、強勢だけを示した。分離複合語も強勢だけを表示した。ただし、複合語の構成要素がこの辞典の見出し語にない場合や、特に

わかりにくい場合などは発音を示した。複数の強勢型がある場合には構成要素(2音節以上のとき)を少し長めのダッシュで表し/ː, ːː / のように示した。

⑧**接頭 接尾 連結要素**の発音は代表的な発音だけを示した。

⑨発音がわかりにくい語や日本人がよく誤って発音する語には《発音注意》《アクセント注意》(これは「強勢の位置に注意」の意)と注記した。発音との関係などでつづりを誤りやすい語には《つづり注意》と注記した。

⑩日本人の立場から見て発音が似ていてまぎらわしい語を「類音」として掲げた。

fork /fó:rk/ ([類音] folk)

3. 原義(語源的意味)・基本義・語義展開図

①原義(語源的意味)あるいは基本義(中核的意味)を【 】に入れて示した。その語(句)の理解に役立つ語源的情報や由来などを適宜【 】で示した。

②外来語(完全に英語化しているものも含む)は、その由来する言語名を【フランス】【スペイン】などとして示した。

- ③【聖】は聖書，【Shak.】はシェイクスピアの作品に由来する句・用法であることを示す。
- ④主な派生語を【 】欄のなかの原義あるいは基本義の後に示した。
- ⑤多義語には見出し語の後ろの〈解説〉に「語義展開図」を収録し，基本義からの主要な意味の展開の様子を示した。これは必ずしも歴史的経緯をなぞるものではなく，現在のその語の主な語義を相互的関連のもとに理解するためのものである。
- ⑥主な前置詞には基本義を視覚的に表したイメージ図を示した。

4. 品詞

- ①品詞は次のように示した。

名 名詞	代 代名詞	形 形容詞	副 副詞
動 動詞	自 自動詞	他 他動詞	助 助動詞
前 前置詞	接 接続詞	間 間投詞	冠 冠詞
接頭 接頭辞	接尾 接尾辞		
連結要素 連結要素	略 略語	記号 記号	

5. 語形変化

A. 語形変化の表示の原則

- ①名詞，動詞，形容詞，副詞の語形変化は，品詞表示のすぐ後に()に入れて示した。
- ②～は見出し語まるごとの代用，－は見出し語の一部(音節の切れ目から前)の代用である。/~/は(語形変化した場合でも)発音が見出し語と同じであることを示す。

B. 名詞の複数形

(複)と表示した。

C. 動詞の語形変化

(三人称単数現在形；過去形，過去分詞形；現在分詞形)のように示した。但し，

- 過去形と過去分詞形が同じ場合は1回だけ表示した。
- 2つ以上の形があるときはorで示した。

D. 形容詞・副詞の比較変化

- ①A，Bランクの1，2音節からなる形容詞・副詞については比較変化をすべて示した。
- (～・er[est])とあるのは原級に－er，－estを付加するものである。

- 語末の y を i に変える場合は (-i·er[est]) などと示した。
- 3音節以上で表示のないものは more 型である。

② Cランク以下の語では、表示のない場合、

- 1音節の語では -er 型、
 - 2音節以上の語では more 型である。
- er, -est をつけるとき語尾の子音を重ねるものは (-tt-) (《英》-ll-) などと示した。

③ A, Bランクの語を中心に、形容詞・副詞で通例比較変化しない語・語義には、(比較なし)と表示した。

6. 語義・文型表示・語法・用例

A. 語義の区分・順序

語義は ①, ②, ③... の数字で区分し、さらに必要に応じて a), b), c) ... やセミコロン (;) で区切って示した。多くの語義のある語では、I, II, III... で大きな意味ブロックに分けた。

B. 語義の示し方

① 訳語のうち省略可能な部分や補足的な部分は () に入れた。

② [] は直前の語句と交換ができる語句を示す。

decolorize ...  ... 脱色[漂白]する

[[脱色する] または「漂白する」の意になる]

③ 語義の定義や内容説明は《 》に入れて示した。

C. 用法の指示、文法上の注記

さまざまな用法・文法上の注記を [] に入れて示した。

例

語形 [P ~] 見出し語は小文字だが、大文字で用いる。

[p ~] 見出し語は大文字だが、小文字で用いる。

名詞の用法

[the ~] [a ~] [an ~] それぞれの冠詞つきで用いる。

[one's ~] 所有格の人称代名詞 (my, your, his, her, our など) つきで用いる。

[~s] [~es] 複数形で用いる。(子音+yで終る音については [~ies] と示した。)

形容詞の用法

[叙述] 叙述用法 (predicative use) (be, remain など連結動詞 (copulative verb) の補語となる用法) で用いる。

[限定] 限定用法(attributive use) (名詞の直前[または時に直後]に置いてその名詞を直接修飾する用法)で用いる。

[他動詞的に] 他動詞に由来し、「(…を)…させるような」といった意味で用いる。

動詞の用法

[be ~ ed] 受身形で用いる。

[be ~ ing] 進行形で用いる。

そのほか

[俗用的に] は、専門的な語が本来の専門用語としてでなく通俗的な意味で用いられた場合をいう。

D. 文型表示 (S, V, O(またはO₁, O₂), C, M)

①記号の意味 S=主語 V=動詞 O=目的語
C=補語
M=副詞的修飾語(句) (前置詞句, 副詞など)

②不定詞, 動名詞, that節, wh節などを伴う場合や, ある前置詞を決まって用いる場合などは, それも含めて示した。用いたり用いなかったりする部分は()に入れた。

/ は, その両側が交換可能であることを示す。

[SV to do/SV doing]

③ “to do” “doing” という表示は to be, being を含む。to be, being だけのときは “to be” “being” とする。

E. スピーチレベル

語の使われる地域, 文体, 時代的差異などに関するスピーチレベルは, 《 》に入れて示した。主なものは次のとおり (指示のない語は普通に用いられる一般語である)。

社会的差異

《非標準》 非標準英語 (標準英語には特に表示しない)

レジスター (標準英語内における機能的差異・スピーチレベル)

《正式》 堅い書き言葉・話し言葉 (時に《文》に通じる)

《略式》 くだけた書き言葉・話し言葉

《俗》 俗語, 非常にくだけた話し言葉

《性俗》 性的な俗語 (下品な語, タブーとされる語も含む)

《文》 文語, 堅い書き言葉 (時に《古》《詩》に通じる)

《詩》 詩で用いる言葉

《まれ》 使用頻度のきわめて低い言葉

年齢的・人種的差異

《学生語》 学生特有の言葉

《小児語》 小児特有の言葉

《黒人語》 米国の黒人特有の言葉

地域的差異

《方言》 ある地域でだけ用いる。《英方言》とあれば英国のある地域でのみ用いる言葉。

《米》 米国でのみ用いる。

《英》 英国でのみ用いる。

《カナダ》 カナダでのみ用いる。

《豪》 オーストラリア・ニュージーランドでのみ用いる。

ニュージーランドだけで用いる場合は特に《NZ》と表示した。

《南ア》 南アフリカ共和国でのみ用いる。

《イング》 イングランド方言

《北イング》 北部イングランド方言

《スコット》 スコットランド方言

《アイル》 アイルランド方言

その他、必要に応じていろいろな地域名を用いた。

時代的差異 《やや古》 《古》 《廃》

その他 《愛称》 《掲示》 《Eメール》 など

F. 《PC》・《侮蔑》

① 性差別・人種差別・障害者差別等につながる語句には、非差別的表現を、《PC》という表現をつけて掲げた。

(PC=politically correct)

assemblyman 議員 (《PC》assembly member)

② 特定の人種・民族や同性愛者などを見下した文脈で用いられ、侮辱的と受け取られる語には《侮蔑》という表示をつけて、特に使用上の注意を促した。

G. 専門語

専門的な語、決まった分野で用いられる語では、分野を〔 〕で示し、多くは略号を用いた(9. 専門分野略語表参照)。

H. 選択制限・連語関係

① 主語・目的語などにどのような内容の語がくるかをくゝで示した。また、その語と一緒によく用いられる前置詞(場合により動名詞・不定詞など)を、語義の後に〔 〕に入れて示した。それに対応する訳語も〔 〕で示した。

fire... 動 ... ① 〈人が〉〈銃・弾丸など〉を〔…めがけて〕発射する、発砲する…〔at, into, on, upon〕

② 動詞にしばしば伴う副詞辞は、語義の後に＋印をつけて () に入れて示した。

figure... 動 ... ② …を計算する、合計する (+up)

I. いろいろな注記・記号

① 語義の後の () 内に同義語または言い換え可能な英語を示した。

② 語義・訳語についての関連情報や語法説明・語のイメージなどは《◆》に入れて示した。

● 「次の句」とあれば、同じ語義の用例(〈例〉)に句があることを示す。

③ 必要に応じて、次のような表示を用いた。

[語法] 特に高校生にとって必要とされる重要な解説には(重)をつけた。

[関連] [文化] [事情]

[類] 類義語

[類語比較] 類義語の意味・用法の違いの解説

[表現] 主に英語で表現する場合に役立つ知識

× 文法的に誤った英語、語法上不適切な表現

cf. …を参照せよ

→ …を見よ(直接関連する情報が他の箇所にある場合)

⇔ 反意語・対になる語

♂ ♀ 人名の記述で、それぞれ男性・女性を表す。

《外来形容詞》主にラテン語・ギリシア語からの外来語による形容詞形。学術語として用いるものが多い。

J. 用例

① 見出し語と同じものを～で示した。

② 語形変化した形については～s, ～es, ～ed, ～ing のようにした。語尾の y を i に変えて es, ed をつけるものは～ies, ～ied とした。

③ [] は、語義の場合と同じように、直前の語(句)と交換が可能であることを示す。英文中での交換の起点を『で示す(ただし1語だけの交換の場合は省略)。

④ 英語とその訳の両方に[]があるときは、[]の前の語(句)同士、[]の中の語(句)同士が原則として対応している(これは注記などでも同じ)。

(eclipseの項で) a sólar [lúnar] eclipse 日[月]食

- ⑤ 名詞の用例の中の特に高頻度で用いられるコロケーション(連語)の部分は太い字体で示した。
- ⑥ 用例の中で、決まった場面で用いられる固定した表現・決まり文句(lexical phrase)には▶印をつけて注意を喚起した。
- ⑦ 用例の言い換えを(=)を用いて示した。
言い換えに用いた等号(=)はまったく等しいという意味ではなく、むしろ≒ということで、だいたいこのようにも言える、といったかなり幅のある記号である。

K. イントネーション、強勢など

- ① イントネーションや強勢によって意味の違いが生じる場合など、必要に応じて用例にイントネーションや強勢を示した。
- (1) ↘ (下降調) 通例平叙文で用いられ、文の完結を示す。断定的口調。疑問文では同意や情報を求める場合に用いられる。
- (2) ↗ (上昇調) 通例疑問文で用いられ、質問・勧誘・依頼などを表す。また文中で、文が未完結であることを示す。

(3) ↘ (下降上昇調) 通例文頭の文副詞・挿入句[節]で用いる。文末では対比とか話し手の含みのある態度を示す。

(4) ↘ (部分下降調) 中途半端な下降で、未完結あるいは話し手のちゅうちょなどを表す。

② ∴ によって、若干の休止があることを示した。

7. **C** と **U**

名詞には、数えられるものに **C** (countable)、数えられないものに **U** (uncountable) の記号をつけた。

A. **C** **U** の意味

- ① **C**名詞は、単数形では a, an (または the, my, any) などの決定詞が必要であり、複数形にすることができる。
- ② **U**名詞は、冠詞(または他の決定詞)なしで用いることができ、複数形にならない。いわゆる物質名詞、抽象名詞、集合名詞などがこれに含まれる。
特に a, an がつくときは [a ~], [an ~] と示した。また [しばしば a ~] [しばしば ~ s] は [or a ~], [or ~ s] などと示した。

- ③ **C** **U** は **C** 性の方が強いことを表している。
- ④ **U** **C** は **U** 性の方が強いことを表している。
- ⑤ **U** 名詞の注記 ([種類] **C**)
U 名詞であっても、その種類を問題にするときに **C** 扱いになることがある。これを「**chalk** **名** ... ① **U** ([種類] **C**) チョーク」のように注記した。この場合、チョークの種類を問題にするときは **C** となり、chalks of different colors (異なった色のチョーク) のように複数形が用いられる。
- ⑥ **U** **C** はつけない場合
 [the ~] [a ~] [~s] [the ~s] [one's ~]
 などとあるものは常にこの形で用いられることを示す。この場合 **U** **C** はつけない。

8. 成句・句動詞

A. 成句の掲げ方

- ① 成句は各品詞ごとに掲げた。
- ② 配列はアルファベット順である。

B. 成句に用いた記号

- ① **O** は動詞・前置詞の目的語を示す(ただし、目的語ではなくても便宜上 **O** を用いた場合がある)。

- ② **one's** は成句の主語と同一指示のものが人称代名詞 (my, your, her, their など) になって入ることを示す。
 その他の場合は **O's** とする。oneself は再帰代名詞 (myself, yourself, herself など) が入ることを示す。
- ③ **< >** [] () [] の意味は単語の語義の場合 (**6.B. 6.H**) と同じである。
 [] が成句見出しと訳の両方にあるときは、用例の場合 (**6.J** ④参照) と同じように、英語とその訳を対応させて用いるのを原則とした。
- ④ 重要語に相当する成句には *印をつけた。

C. 成句を扱う場所

- ① 原則として、その成句に含まれる名詞のところで扱う。名詞を含まない場合は成句の中でもっとも重要な語またはもっとも特徴的な語の見出し語のところで扱う。
- ② 成句は、「成句検索」を用いれば直接検索できる。

D. 成句の機能表示

- ① 「動詞+前置詞または副詞辞」からなる句動詞には、成句としての機能(品詞に準ずるもの)を次のように表示した。

- [自] 自動詞+副詞辞：目的語をとらない。
 [他] 他動詞+副詞辞：他動詞なので目的語をとる。原則として副詞辞は目的語の前にも後にも置かれる
 (～ O up / ～ up O のいずれも可)。
 ただし O が代名詞の場合は通例 ～ O up のみ可。
 ◇まれに副詞辞ではなく前置詞の場合もここに入れた。

[自+] [～ on O] 自動詞+前置詞：目的語は前置詞の目的語である。他動詞に近づき、しばしば受け身が可能。

- ②句動詞以外でも、形や訳語からわかりにくいものは [名] [副] [接] のように機能表示をした。

E. 相互参照など

他の成句と同じ意味のときは=を用いて示した。(top の項で)

from tóp to tóe =⇒ from HEAD to foot.

[from head to foot と同じ意味であり、それは head (スモールキャピタルになっている) の項に説明があることを示す]

9. 専門分野略語表

[アメフト]	アメリカンフットボール		
[アングリカン]	アングリカンチャーチ		
[医]	医学	[印]	印刷
[映]	映画	[英史]	英国史
[音]	音楽	[音声]	音声学
[化]	化学	[絵]	絵画
[化工]	化学工業	[カトリ]	カトリック
[機]	機械(工業)	[ギ神]	ギリシア神話
[魚]	魚類	[漁]	漁業
[軍]	軍事	[経]	経済(学)
[建]	建築(学)	[言]	言語学
[工]	工業・工学	[鉱]	鉱物学
[古生]	古生物	[史]	歴史(学)
[歯]	歯科(学)	[社会]	社会学
[狩]	狩猟	[宗]	宗教(学)
[商]	商業・商学	[植]	植物(学)
[織]	紡織	[神]	神学
[心]	心理学	[人類]	人類学
[数]	数学	[生]	生物(学)
[政]	政治(学)	[生化]	生化学
[聖書]	聖書(学)	[精神医]	精神医学

I この辞典のしくみ

A. 見出し語

1 見出しは仮名(ひらがな・カタカナ)であ
げ、見出しの直後の【 】欄に代表的な表
記(漢字など)を示した。

助詞・助動詞・接頭辞・接尾辞や複合語
の一部など、独立では用いられない語は、
ダッシュ(-)をつけて見出しにした。

一に 一たい 一あぐねる えせー

()は省略可能、[]は直前の部分との
交換可能を表す。2つの見出しを並記す
る場合は / で区切る。

2 形容動詞(形容動詞的性質を強く持つ名詞
を含む)の見出しは、まじめ(な)、さいきよ
う(の)【最強(の)】のように示した。英語
中見出し(⇒II)に形容詞でなく動詞を当
てる場合は、例外的にすき(だ)のよう
に示した(⇒V-1)。

〔地〕 地学・地質学	〔虫〕 昆虫
〔鳥〕 鳥類	〔哲〕 哲学
〔天〕 天文学	〔電気〕 電気(工学)
〔電子工〕 電子工学	〔動〕 動物(学)
〔土木〕 土木(工学)	〔農〕 農業・農学
〔バスケ〕 バスケットボール	
〔美〕 美術・美学	〔美史〕 美術史
〔物〕 物理(学)	
〔プロテ〕 プロテスタント	
〔米史〕 米国史	〔法〕 法律・法学
〔薬〕 薬学	〔郵〕 郵便
〔林〕 林業・林学	〔倫〕 倫理(学)
〔口神〕 ローマ神話	〔論〕 論理学

◇ このほかの分野については省略しない形で、ま
たは「学」だけを省略して示してある(例:〔教
育〕= 教育(学))。

B. 見出しの配列

3 見出しは国語辞典式の五十音順に並べた。清音・濁音・半濁音の順。「っ」(促音)、「ゃ」「ゅ」「ょ」(拗音)は、それぞれ「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」の次に置いた。

見出し中の長音符(ー)は、その直前の音の母音を重ねたものとして配列した。

スープ「すうぷ」の位置

コーヒー「こおひい」の位置

見出しの仮名が同じであるものは、名詞・代名詞・動詞・形容詞・その他の順に配列した。

4 見出しの配列は()内・[]内・/以降を除いた部分で行なう。ただし、見出しの仮名が同じものが並ぶときは、後ろに()がつく語は後に置く。

ダッシュ(ー)については、これが見出し語、後ろにーがつく語、前にーがつく語の順に置いた。

5 かな表記のみの見出しが2つ以上あるときは、肩に数字をつけ、後ろにくゝで区別

の手がかりを記した。

ライト¹〈照明〉

ライト²〈野球〉

C. 派生語見出し

6 「…する」「…した」「…ない」「…の」などのついた派生語見出しは、主見出しの後に**派生語**、**派生語**のように示した。英語中見出しなどの記述の方式は独立の見出しに準ずる。

D. 語義区分

7 必要に応じ、見出し語を意味によっていくつかの語義に区分した。

あたま【頭】 ①【頭部】 ②【頭髪】
③【頭脳】

E. 記述の構成要素

8 本辞典の記述内容は次のような要素からなる。

いみ【意味】見出し語
①【言葉や記号の表す内容】語義区分

meaning ㊦…；《定義された特定の》
sense ㊧… ……英語中見出し

¶ この語はどのような意味ですか

What is the meaning of this word?
; What does this word mean? ……用例

複意味論 [言] semantics ㊨ ……複合語

派意味する ……派生語

小さな項目では、派生語見出しを立てずに
用例で示すなど、適宜簡便な書き方をし
た。

II 英語中見出しの原則

A. 英語中見出し

1 見出しの日本語にほぼ対応する英語表現
を、見出しの直後に太い書体で示す。単語
とは限らず、数語程度の句となることも多
い。これを「英語中見出し」という（以下、
適宜「中見出し」と略す）。

見出しにほぼ対応する英語表現がない場
合は、中見出しを省略し、訳例を用例に

よって示した。重要度の低い語では適宜
同様の書き方をした。

見出し語の品詞ごとの問題はⅢ～Ⅵを参
照。

B. 小見出し

2 英語中見出しは複数あるのが普通である
から、それぞれの違いがわかるように、意
味の要点を《 》で示した。これを「小見
出し」という。

見出しの意味に広く使える一般的な語句
は先頭に置き、小見出しをつけないのを基
本とする。

複数の英語中見出しにほとんど意味の違
いがない場合は、ひとつの小見出しの下に
複数の英語中見出しを並べて置く。同じ
小見出しのもとにある中見出しの間の区
切りには、を、小見出しが変わる場合の区
切りには；を用いた。

C. スピーチレベル

3 語句の使われる文体・地域などを《正式》で表示した。指示のない語は一般的に用いられる語句である。主なものは次のとおり。

《正式》 堅い書き言葉・話し言葉

《略式》 くだけた書き言葉・話し言葉

《文》 文語

《俗》 俗語

《古》 古語

《米》 米国で用いる

《英》 英国で用いる

D. 《PC》

4 性差別・人種差別・障害者差別等につながりうる語句には、非差別的とされる表現を、《PC》という表示をつけて掲げた。(PC = politically correct)

E. 専門語

5 専門的な語、決まった分野で用いられる語は、分野を〔 〕で示した。略号は「専門分野略語表」参照。

F. 語句の形

6 米国式と英国式のつづりがあるときや米国と英国で違う表現を用いるときは、米国式のつづり・米国での表現を前に置いた。

7 () 部分は省略可能であることを、[] 部分は直前の部分と交換可能であることを示す。交換可能部分が2語以上の場合は、交換の起点を「」で示した。

G. 発音

8 発音がわかりにくい語には発音記号をつけた。原則として米国における最も一般的な発音だけを載せた。「発音記号表」参照。

H. 品詞

9 日本語からは英語中見出しの品詞が確定されない場合、中見出しに複数の品詞が混在する場合など、注意を要するものには、接(接続詞)、前(前置詞)、間(間投詞)、副(副詞)などの品詞記号をつけた。

I. 用法・語法

10 英語中見出しには、必要に応じて [通例 ~ s] [単数扱い] [限定] [通例 be ~ ed] のような用法に関する注をつけた (各品詞の項参照)。

[P ~] は (英語中見出しは小文字であるが) 大文字で始める場合を, [p ~] は (英語中見出しは大文字であるが) 小文字で始まる場合を, それぞれ表す。

11 使い方に注意を要する語句は, **語法** 欄を設けて詳しく解説した。

J. 日本の事物

12 日本の事物で定着した英訳がないものは, 原則として日本語のローマ字表記を太字で示し, その後に説明的な訳を載せた。この書き方をした名詞には **㊦** をつけない。

ゆかた 【浴衣】

yukata ; 《説明的に》 an informal cotton kimono for summer

K. 使い分け

13 複数の英語中見出しがあり, それぞれの使い分けに注意を要するときには, **使い分け** 欄を設けた。この場合, 中見出しの小見出しは適宜省略する。

Ⅲ 名詞

A. ㊦と㊧

1 名詞には, 見出しの日本語の主たる意味・用法を考慮して, 原則として **㊦** (countable: 数えられる) か **㊧** (uncountable: 数えられない) の記号をつけた。

2 **㊦** と **㊧** 両方の性質をもつ名詞についても, **㊦** **㊧** を単に併記するのではなく, 見出しの日本語の意味によって, 原則として **㊦** と **㊧** のうちどちらかをあげた。その際, 必要に応じて注により使い分け情報を示した。

ディベート

debate ㊦ 《◆行為を指す場合は㊦》
…始まりや終わりが意識されるディ
ベートの試合や議論は㊦であるが、
ディベートという行為を表す場合は、
under debateのように㊦として使
われる。

かたり【語り】

narration ㊦ 《◆個々の事例は㊦》
…「語る」という動作が意識され㊦の
性質を強く持つが、「語り」の結果と
しての「話・ナレーション」などは特
定の長さを持ち可算性を持つために
㊦として使われる。

タコ【蛸, 章魚】

octopus ㊦ 《◆切られたものは㊦》
…1匹のタコはan octopusといい
㊦だが、切り身にしたタコは㊦であ
る。肉, 魚, 野菜, 果物は多くの場合
このタイプに分類される。

ワイン

wine ㊦ 《◆産地や種類を表す時, 店
で注文する時の1杯は㊦》…液体は
形状が定まらないために㊦。しかし
産地や種類などで分類すると個別性
が意識され㊦となる。また, 店で注
文する場合なども「1杯」「2杯」とい
う数が意識され㊦となる。

3 冠詞や this, all, lastのような限定詞をつ
けて示す名詞や複数形のみをあげる名詞
は㊦と㊦の記号はつけない(定冠詞theが
つく名詞には㊦をつける場合がある)。

B. 【集合的に】

4 [集合的に] は, 個別の人や物を指す名詞
ではなく, 同じ範疇に属している人や物を
まとめて指す名詞(文法で「集合名詞」と
呼ばれるもの)につける。

いるい【衣類】

clothing ㊦ [集合的に] …「上着」
「ズボン」「スカート」などの区別を問
題にせず, まとめて「着る物」を指す。

たまじゃり【玉砂利】

gravel ㊦ [集合的に] …1つ1つ
手に取ることのできる小石を指す
pebbleとは異なり、道に敷き詰め
られている多数の小石をまとめて
gravelと呼ぶ。

C. 複数形

- 5 不規則変化をする語, -oで終わる語, -f (-ff
の場合を除く) ないし -feで終わる語, そ
の他わかりにくい場合には (複) とし
て複数形を示した。
～は中見出し丸ごとの代用, … は複合語の
場合の省略された部分を表す。

D. 用法

- 6 必要に応じて [通例～s] [通例単数形で]
[時にa～] [複数扱い] などの用法に関す
る注記をつけた。

IV 動詞

A. 文型・連語関係

- 1 動詞は、目的語O (共起する前置詞の目的
語などを含む)・補語Cや共起する代表的
な前置詞・to不定詞・that節などと一体
化した形で示した。いくつかの文型をま
とめて示す場合は / で区切った。これら
は、見出しの日本語の意味・用法に合致し、
かつよく用いられる形をとりあげたもの
である。

この動詞に付随する部分に対応する日本
語を、直後に〈 〉で示した。複数の文型
が示される場合は、英語中見出しの / に
対応させて〈 〉内も / で内容を区切って
示した。

目的語Oに日本語〈Oを〉が対応する場合
は〈Oを〉を省略した。ただし、他の文型
と一緒に示す場合は〈Oを〉を示した。

わらう【笑う】

laugh …目的語をとらない動詞
(自動詞)。

こわす【壊す】

break O …目的語をとる動詞（他動詞）。〈Oを〉は示さない。

あこがれる【憧れる】

admire O 〈Oに〉 …目的語をとる動詞。対応する日本語〈Oに〉を示す。

いたる【至る】

go to O 〈Oに〉 …前置詞の目的語を示す。

あたえる【与える】

give 「O₁O₂ [O₂ to O₁] 〈O₁にO₂を〉 …目的語が2つある場合。O₁,O₂の番号は出現順。ただし、二重目的語構文では、[]の前と[]内とを対応させるため、[]内は順序が逆になる。O₁=間接目的語、O₂=直接目的語ということではない。

依頼する

ask 「for O/O to do/that節 〈Oを/Oに…するよう/…することを〉
…以下の内容がこの形にまとめられている。

ask for O 〈Oを〉依頼する

ask O to do 〈Oに…するよう〉依頼する

ask that節 〈…することを〉 依頼する

2 省略可能な要素、あるいは必須ではないがしばしば共起する要素は（ ）に入れて示した。（O）は目的語をとる場合ととらない場合があることを示している（自動詞と他動詞があると言い換えてもよい）。英語中見出しの（ ）部分に対応する日本語は〈 〉の中で（ ）に入れて示した。なお、英語としては省略可能でも、日本語の意味からは省略が考えにくい場合は、その部分を（ ）に入れずに示した。

まなぶ【学ぶ】

study (O) …目的語をとる場合ととらない場合があることを示す。

努力する

make an effort (to do) 〈(…しようとう)〉 …しばしば共起する要素としてto doがあることを示す。

強奪する

rob O₁ of O₂ 〈O₁からO₂を〉…英語としてof O₂は必須要素ではないが、日本語の「銀行から強奪する」はこれだけでは不自然であるため、(of O₂) (O₂を) としない。

B. 活用

3 動詞の活用（語形変化）は本文では示さない。

C. 用法

4 英語中見出しの形そのものでは表現しにくい用法上の特徴などは、適宜次のような注記で示した。

[通例進行形で] 《◆受身不可》《◆O₁は場所を表す前置詞（句）》

V 形容詞・形容動詞

1 形容詞・形容動詞（見出しには（な）ないし（の）をつける）の英語中見出しは形容詞（句）となる。ただし、英語中見出しに動詞を当てるのが適切であると判断される一部の形容詞・形容動詞（形容動詞の場合、見出しには（だ）をつける）は、中見出しが動詞となる。

かんたん(な) 【簡単(な)】

easy …通常は中見出しは形容詞となる。

ほしい【欲しい】

want O 〈Oが〉…見出しは形容詞だが、中見出しに動詞を当てている。

すき(だ)【好き(だ)】

like O/to do/doing 〈Oが/…するのが/…することが〉…見出しは形容動詞だが、中見出しに動詞を当てている。

A. 文型・連語関係

2 動詞と同様に、共起する典型的な前置詞や to 不定詞などを一体化して示した。

必要な

necessary (for O/to do) <(Oに
/…するために)>

B. [限定] [叙述]

3 限定用法でのみ用いる語には [限定]，叙述用法でのみ用いる語には [叙述] と注記した。[通例限定] [通例叙述] となる場合もある。その他、適宜用法上の注意を [] で示した。

VI 助詞・助動詞・接続詞など

1 助詞・助動詞・接続詞や一部の副詞、いくつかの語からなる連語（「一ざるをえない」のようなもの）においては、「見出しの日本語にほぼ対応する英語表現」をあげることが難しい場合は、訳す時に核になる語句を英語中見出しとしてあげた。したがっ

て、中見出しの品詞は日本語と一致しない場合があり、また違う品詞の中見出しが並ぶことがある。わかりにくい場合は品詞記号をつけた（⇒Ⅱ-9）。

A. S, V

2 これらの語においては、文中の英語中見出しの機能を示すために、適宜 S（主語），V（動詞）という記号を用いた。（見出しが動詞である場合も、まれに S，V を用いることがある。）

いつでも

《…する時はいつでも》 whenever S
+V

Ⅶ 用例

A. 用例の基本原則

1 英語中見出しの記述の後に、用例を載せる。英語中見出しを省略する場合は見出しの直後に用例を載せる。用例が複数ある場合は、用例毎に改行した。

名詞などで、用法に特別な注意が必要ない場合は、中見出しのみをあげ用例を省略した。

2 用例は語の使用例であり、その内容はすべて真実であるとは限らないし、また編者の考えを示すものではない。

3 用例の英語は、原則として《正式》でも《略式》でもない広く使える一般的な表現を載せた。ただし、日本語がくだけた言葉や堅い言葉であるような場合は、それにふさわしい表現を載せた。米英で表現が異なる場合は米国での言い方を優先するが、その場合原則として《米》をつけない。

4 用例は、英語中見出しを使用しているものを前に、使用していないものを後ろに置いた。ただし、日本語としてよく使われる表現は、中見出しを使用していなくても初めの方に置くことがある。また、日本語として類似したものは英訳の内容にかかわらず並べて置くことがある。比喩的表現やことわざなどの慣用表現は原則として後ろに置いた。

5 () 部分は省略可能であることを、[] 部分は直前の部分と交換可能であることを示す。英文における交換可能部分が2語以上の場合は、交換の起点を「」で示した。1つの日本語に複数の英訳を示す場合で、[]を使わないときは、；で区切った。

B. 用例を扱う場所

6 用例をどの見出しのもとに置くかは、日本語の表面上の形ではなく、語の成り立ちや性質を考慮して決めた。たとえば「お…になる」「お…する」の形の敬語は、「…」部分の名詞でなく、敬語化する前の動詞のところで扱う。

遅くない …「派遅く」ではなく「遅い」で扱う。

鮮明にする …「派鮮明に」ではなく「鮮明(な)」で扱う。

お送りください …「送り」ではなく「送る」で扱う。

信頼できる …「信頼」ではなく「**派**信頼する」で扱う。(派生語見出しを立てない場合は名詞のところで扱う。)

着こなし方 …「着こなし」ではなく「**派**着こなす」で扱う。

「**派**…な」「**派**…の」の形の派生語は、形容動詞の見出し「…(な)」「…(の)」と同様に扱う。したがって、「…だ」「…に」などの表現を含む用例をそこに置くことがある。

やっかい 【厄介】

派厄介な …彼がその提案に反対しているとは厄介だ It's a problem that he is against the proposal.

C. 日本語の言い換え

7 英訳する際にいったん別の日本語に言い換えることが有効である場合は、[=] で言い換えを示した。日本語が複数に解釈できる場合も、適宜この書き方で複数の訳例を示した。

D. 使用場面

8 用例の日本語が場面によって複数に解釈されうるときは、英語中見出しの「小見出し」と同様に、《 》で使用場面を示した。また、使用場面を明示するために、必要に応じて日本語に適宜(レストランなどで)のように補足した。

E. スピーチレベルその他

9 必要に応じて《正式》《米》などのスピーチレベルを示した(⇒Ⅱ-3)。特定の分野での表現である場合は〔野球〕などの専門分野ラベルをつけた(⇒Ⅱ-5)。

10 英語がことわざである場合は《ことわざ》と示した。

VIII 複合語

A. 複

1 英用例の後ろに複合語(見出しの言葉で始まる複数の要素からなる名詞)を置いた。

先頭に**覆**印をつけてある。複数の複合語がある場合は、それぞれの先頭に**覆**印をつけた。

見出しと同様に、適宜用例をつけた。

- 2 英語を複数あげる場合は、**；** で区切った。ただし、《男性》《女性》《性別に関係なく》を併記する場合は、**，** で区切る場合もある。◎**□**や用法に関する注などは見出しに準ずる。

Ⅸ 慣用句

A. ▶

- 1 語義区分ごとの記述とは独立に慣用句の欄を設けた。それぞれの句の先頭に**▶**印をつける。
- 2 慣用句そのものには英訳を示さず、その慣用句を使った用例によって訳例を示した。(慣用句として取り上げた表現がそのまま自然な用例になる場合はこの限りではない。)

X いろいろな注記・記号

●注記・記号類

- () 省略可能な部分，補足的説明
- [] 直前の部分と交換可能（日本語とその訳の英語の両方に [] があるときは、両者が対応している）。
- 「 英語において [] による交換可能部分が2語以上の場合の交換の起点
- 《 》 小見出し（英語中見出し間の意味の違いを示す）
- 《 》 スピーチレベル
- ～ 英語中見出しの代用
- [] 専門分野
- 〈 〉 英語中見出しに付属する前置詞等に対応する日本語
- 《 》 語義・訳語の直接の定義・説明
- 《◆ 》 関連情報，注記など
- ⇒ …を見よ，参照せよ
- (⇒) …も見よ

× 文法的に誤った英語、語法上不適切な表現。ある程度使われる言い方でも、外国人学習者としては用いない方が無難なものにつけた場合もある。

[=] 用例の日本語の言い換え

CB Communication Box

語法 語法解説

関連 関連情報

使い分け 英語中見出しの使い分けに関する解説

●文型・用法

S=主語 V=動詞 O=目的語 C=補語。

ただし、Oは目的語以外に使うことがある。

do 様々な動詞（原形）がくることを示す。

done 様々な動詞（過去分詞形）がくることを示す。

one 主語の言い換えとして様々な代名詞がくることを示す。one's, oneselfも同様。

～ 英語中見出しまるごとの代用。例外として、D～などとあれば1字めを大文字に変える意味。～iesとあれば語尾のyをiに変えて-esをつける意味。

専門分野略語表

[アメフト] アメリカンフットボール

[医] 医学 [印] 印刷

[映] 映画 [音] 音楽

[音声] 音声学 [化] 化学

[解剖] 解剖学 [カトリ] カトリック

[機] 機械(工学) [ギリ神] ギリシア神話

[軍] 軍事 [経] 経済(学)

[建] 建築(学) [言] 言語学

[光学] 光学 [鉱] 鉱物学

[コンピューター] コンピューター

[史] 歴史(学) [歯] 歯科(学)

[商] 商業・商学 [植] 植物学

[心] 心理学 [数] 数学

[生] 生物学 [政] 政治(学)

[生化] 生化学 [聖書] 聖書(学)

〔生理〕 生理学	〔地〕 地学・地質学
〔地理〕 地理学	〔哲〕 哲学
〔天〕 天文学	〔電気〕 電気(工学)
〔電子工〕 電子工学	〔動〕 動物学
〔バスケ〕 バスケットボール	
〔美〕 美術・美学	〔物〕 物理(学)
〔法〕 法律・法学	〔薬〕 薬学
〔郵〕 郵便	〔口神〕 □ーマ神話
〔論〕 論理学	

このほかの分野については省略しない形で、または「学」だけを省略して示してある(例:〔教育〕=教育(学))。

/ʃu:/*	new, reduce	/ə/	collect, sofa
/ər/*	paper, sister	/ə:r/*	bird, early
/ə:r/	courage, current		
/eɪ/	take, eight	/aɪ/	right, try
/ɔɪ/	choice, toy	/aʊ/	out, cow
/ou/*	rope, road	/ɑ:r/*	star, par
/ɔ:r/*	door, store	/ɪər/*	deer, fear
/eər/*	hair, care	/ʊər/*	tour, poor
/ɪər/*	serious, cereal	/eər/*	parent, vary
/er/	arrow, carry	/ʊər/*	tourist, curious
/aɪər/*	fire, tire	/aʊər/*	power, tower

発音記号表

〔母音〕

/i:/	sea, piece	/i/	happy, react
/ɪ/	hit, pick	/e/	set, red
/æ/	bat, cap	/æ/	laugh, staff
/ɑ:/	father, calm	/ɑ:/	hot, rob
/ʌ/	cup, bus	/ɔ:/	law, ball
/ɔ(:)/*	long, soft	/ʊ/	book, would
/u/	manual, tuition	/u:/	soup, food

〔子音〕

/p/	pen, cup	/b/	boy, job
/t/	team, sit	/d/	date, pad
/k/	kick, cut	/g/	gate, leg
/f/	fight, puff	/v/	voice, save
/θ/	three, tooth	/ð/	this, bathe
/s/	sun, pass	/z/	zoo, noise
/ʃ/	she, cash	/ʒ/	vision, pleasure
/ts/	cats, roots	/dz/	reads, adds
/tʃ/	chart, catch	/dʒ/	July, bridge
/h/	hot, who	/m/	man, sum

/n/	not, run	/ŋ/	song, singer
/l/	light, tell	/r/	red, terrible
/j/	yes, opinion	/w/	well, one
/w, ((米+))hw/	what, while		
/x/	Bach (外国語のみ)		
/ç/	Köchel (外国語のみ)		
。	無声化を示す: umph/ṃmm̃/		

/(j)u:/	→ 米 /u:/	英 /ju:/	(時に /j)u//j)ə/ も用いた)
/əɾ/	→ 米 /ɚ/	英 /ə/	
/ə:r/	→ 米 /ɛ:/	英 /ə:/	
/ou/	→ 米 /oʊ/	英 /əʊ/	
/ɑ:r/	→ 米 /ɑ:/	英 /ɑ:/	
/ɔ:r/	→ 米 /ɔ:/	英 /ɔ:/	
/ɪər/	→ 米 /ɪə/	英 /ɪə/	
/eər/	→ 米 /eə/	英 /eə, ɛ:/	
/uər/	→ 米 /uə/	英 /uə/	
/ɪər/	→ 米 /ɪr/	英 /ɪər/	
/eər/	→ 米 /er/	英 /eər, ɛ:r/	
/uər/	→ 米 /ur/	英 /uər/	
/aɪər/	→ 米 /aɪə/	英 /aɪə, aə/	
/auər/	→ 米 /aʊə/	英 /aʊə, aə/	
	/ə/ /ɚ:/については 4 参照。		

[注]

1 発音の表記

発音記号は上のものを用い、/ /に入れて示した。省略可能な音は斜字体 (*a*, *t* など) で表記した。ただし、() に入れて示したものもある (2 も参照)。

第1強勢 (ストレス) は ´, 第2強勢は ` をつけた。

2 米音と英音

本辞典は原則として米国における最も一般的な発音だけを載せる。

* 印の音については米音と英音が異なっていて、次のように対応している。

/ɔ(:)/ → 米 /ɔ:/ 英 /ɔ/

3 あいまい母音 /ə/

しばしば「あいまい母音」と呼ばれている /ə/ (記号の名称は「シュワー (schwa) 」) は、強勢がない音節にのみ生じ、それゆえ一定のはっきりとした音色を持たない弱い母音である。/ə/は時に「日本語のアの

弱い音」というように説明されることもあるが、実際にはそれだけでなく、かなり広い範囲の音が含まれる。その音質は、語の中での位置によって、語によって、あるいは話し方によっても様々であり、個人差や方言差も大きい。常に弱く短く発音され、時には消失することもある。

4 /əɹ/と/ə:r/(または/ə:r/)

米音における/**əɹ**/と/**ə:r**/ (または/**ə:r**/) は、/**ə+r**/ /**ə:+r**/という2つの音の連続ではなく、実際には、それぞれ/**ɚ**/ /**ɚ:**/という1つの母音として発音される (/**ɚ**/の記号は「かぎ付きのシュワー (hooked schwa)」と呼ばれる)。母音の/**ɚ**/ /**ɚ:**/は、いわば子音の/**r**/を長めに発音した音 (すなわち音節主音的な/**r**/) であり、これら3つの音の音質は、実質的に同じであると考えてよい。

5 音節主音的子音の発音表記

主として日本人の発音に多い誤りを防ぐ配慮から、次のような語の終わりにくる音

節主音的子音 /l/ /m/ /n/ の前では通例母音を表示しない。

principal /prɪnsəpl/	local /ləukl/
prism /prɪzm/	cotton /káttn/

ベーシックジーニアス英和辞典

1. 見出し語

A. 見出し語の並べかた

- ① アルファベット順に並べてある。同じつづりで大文字・小文字の違いのあるものは、小文字→大文字の順。
- ② 同じつづりで語源の異なる語は別見出しとし、右肩に番号をつけた(ただし、説明の都合で同語源でも別立てとしたものがある)。

bill¹ bill² Bill

B. 重要語の表示(重要度に応じて次のような記号をつけてランクを示した。)

⌘	Aランク	中学学習語	約1100語
*	Bランク	高校学習語	約2300語
無印	Cランク	その他	約30400語

C. いろいろなつづりがある場合

()は省略可能な部分、-は最初のつづりとの共通部分を示す。

()内の部分もアルファベット順に含めて配列した。

ben·zine, -·zin [benzineとも
benzinともつづる]
Bern(e) [BernともBerne
ともつづる]

D. 分節

音節の切れ目は、・(小さい中点)で表示した。

E. 2語見出し(分離複合語)

2語以上からなる見出し語(以下「分離複合語」という)は、最初の語の項目の末尾にまとめて掲げた(アルファベット順)。例えば、table knifelは見出し語tableの末尾に táble knifeとして示した。

F. 派生語

ある語に接尾辞-ly, -ness, -ment, -(e)dをつけてできたCランクの派生語は、元の語の末尾(分離複合語のあと)に置く場合がある。(いくつか派生語があるとき、アルファベット順によらない。)

2. 発音

- ① 発音記号は / / に入れた。省略可能な音は斜字体(ə, j など)で表記した。第1アクセントは ^ˈ, 第2アクセントは ^ˌ をつけた。
- ② 発音記号の直後に、カタカナによる発音表記を示した。これは目安であり、これだけを見て正しい発音が再現できるものではない。
- ③ 同じ発音で違うアクセントもあるときは、ダッシュ (-) を使って /↔-/ のように表記した。(1音節につき1つのダッシュ)。
- ④ 分離複合語は、原則として発音を省略し、アクセントだけを示した。
- ⑤ [連結形] の発音は代表的なものだけを示した。実際の語のなかでは他の発音もありうる。
- ⑥ 発音がわかりにくい語や日本人がよく誤って発音する語には(発音注意)(アクセント注意)と注記した。
- ⑦ 発音表記のあとに [同音] として見出し語と同じ発音の語を掲げた。見出し語または掲げた同音語にいくつか発音があるときは △印をつけた。
- ⑧ 日本人の立場から見て発音が似ていてまぎらわしい語を [類音] として掲げた。

fork /fɔː(r)k/ ([類音] folk /fóuk)

3. 本義・原義・主要語義目録

- ① その語の語義全体の基本となる「本義(中核的意味)」または「原義(語源的意味)」を【 】に入れて示した。Cランクでも必要に応じて【 】で語源を示した。
cassette 【小さい(-ette)箱(case)】
close 【「互いに密着している」が本義】
- ② A, Bランクの語で多くの語義のある語については、主要な語義を〈解説〉に掲げた。
- ③ 外来語(完全に英語化しているものも一部含む)は、その由来する言語名を【フランス】【スペイン】などとして示した。
- ④ 【聖】は聖書, 【Shak.】はシェイクスピアの作品に由来する句・用法であることを示す。
- ⑤ 動詞の **自他** は別々に示されているが、実際は **自** と **他** は別個のものではない。この **自** と **他** の関係を明らかにするため、〈解説〉に表示をした。

4. 品詞

- ① 品詞は次のような記号で示した。

名 名詞	助 助動詞
代 代名詞	前 前置詞
形 形容詞	接 接続詞
副 副詞	間 間投詞
動 動詞	略 略語
自 自動詞	記号 記号
他 他動詞	

連結形 連結形

- ② A, Bランクの語については、重要な派生語(主としてA, Bランク)を(派)として品詞表示の前に掲げた。

5. 語形変化

A. 語形変化の表示の原則

- ① 名詞、動詞、形容詞、副詞の語形変化は、品詞表示のすぐあとに()に入れて示した。
- ② ～は見出し語まるごとの代用、-は見出し語の一部(音節の切れ目から前)の代用である。
- ③ 不規則変化する語およびA, Bランクの語で変化形に注意を要するもの(語尾のyをiに変える、-eを取って-ingをつける、など)については、変化した形も見出し語に立てた。

B. 名詞の複数形

(複)として表示した。つづりが-oで終わる語、-esをつける語、yをiに変えて-esをつける語、その他注意を要する語については、Cランクでも複数形を示した。

C. 動詞の語形変化

- ① A, Bランクの動詞の語形変化は次のように示した。
run([三単現]～s/-z/; [過去]ran/rǽn/, [過分]run; [現分]run·ning)
- ② 過去形と過去分詞形が同じときは、[過去・過分]という表示で1回だけ示した。
- ③ 2つ以上の形があるときは(...または...)のように示した。

D. 形容詞・副詞の比較変化

- ① A, Bランクの1, 2音節からなる形容詞・副詞については比較変化をすべて示し、比較級には[比較]、最上級には[最上]と表示した。3音節以上で表示のないものはmore ～, most ～を用いる。
- ② Cランクの語では、表示のない場合
- | | |
|---------|----------------|
| 1音節の語 | -er, -est |
| 2音節以上の語 | more ～, most ～ |

を用いる。(時に [比較] ~・er, [最上] ~・est)はmore型と-er型の両方が用いられることを示す。

6. 語義・文型表示, その他の注記

A. 語義の区分・順序

語義は 1, 2, 3 ...の数字で区分し, さらに必要に応じて a, b, c ...やセミコロン(;)で区切って示した。多くの語義のある語では, I, II, III ...でいくつかの大きなブロックに分けた。

B. 語義の示し方

- ① ()内は省略可能な部分, または「内包的意味」(普通そういう意味をこめて用いられるという部分)である。

hall... **名** 2玄関(の広間)
[「玄関」または「玄関の広間」の意になる]

cabin... **名** 1(丸太造りの)小屋

- ② [] は直前の語句と交換ができる語句を示す。

brickyard... **名** ... れんが工場 [販売所]
[「れんが工場」または「れんが販売所」の意になる]

- ③ 語義のあとの《 》内は語義の定義や内容説明である。

C. 用法の指示, 文法上の注記

さまざまな語法・文法上の注記を [] に入れて示した。(～は見出し語の代用。ただし, 2字以下の語やわかりにくい場合などは全部つづった。)以下に主なものを掲げる。

語形

[P ~] 見出し語は小文字だが, ここでは大文字で用いる。

[p ~] 見出し語は大文字だが, ここでは小文字で用いる。

名詞の用法

[the ~] [a ~] [an ~] それぞれの冠詞つきで用いる。

[one's ~] 人称代名詞の所有格(my, your, his, her, ourなど)つきで用いる。

[~ s] [~ es] 複数形で用いる。(yをiに変えて-esをつける語は全部つづった。)

形容詞の用法

[補語として] He is crazy. のcrazyのように, 連結動詞(be, remainなど)の補語として用いる。

[名前の前で] a crazy boyのcrazyのように、名詞の直前に置いてその名詞を直接修飾する。

動詞の用法

[be ~ ed] 受身形で用いる。(yをiに変えて-edをつける語は全部つづった。)

[be ~ ed] および [通例 be ~ ed] については、それに続く訳語も受身にしたもの掲げた。

[be ~ ing] 進行形で用いる。

[~ oneself] 再帰代名詞(myself, yourselvesなど)とともに用いる。

そのほか、[a ~ of] [数詞の前で] [比較級を強めて] [命令形で] [比喩的に] などさまざまな表示をした。

D. 文型表示

- ① 重要な動詞および一部の形容詞については、主語にS、目的語(時に主語など)にA、B、補語にCを用いて文型を表示した。

give 他 1 [give (A) B/give B (to A)]
〈人が〉(A〈人〉に)B〈物・金〉を(無償で)
与える

become 自 [become C] C(の状態)になる

kind 形 1b [A is kind to do/it is kind of A to do]…するとはA〈人〉は親切だ

- ② 不定詞、動名詞、that節、wh節、決まった前置詞などを伴う場合は、それも含めて示した。

E. スピーチレベル

語の使われる地域、文体、時代的差異などに関するスピーチレベルは、()に入れて示した。主なものは次のとおり(指示のない語は普通に用いられる一般語である)。

機能的差異

(文)	文語、堅い書き言葉(時に(古)(詩)に通じる)
(詩)	詩で用いる言葉
(正式)	あらたまった書き言葉・話し言葉
(略式)	くだけた書き言葉・話し言葉
(俗)	俗語、非常にくだけた話し言葉

性的・年齢的・人種的差異

(男性語)	(女性語)
(学生語)	(小児語)
(黒人語)	米国の黒人特有の言葉

地域的差異

- 《方言》 ある地域でだけ用いる。
《(英方言)》とあれば英国のある地域でのみ用いる言葉ということになる。
- 《(米)》 米国でのみ用いる。
- 《(英)》 英国でのみ用いる。
- 《(カナダ)》 カナダでのみ用いる。
- 《(豪)》 オーストラリア・ニュージーランドでのみ用いる。
- 《(スコット)》 スコットランド方言
- 《(アイル)》 アイルランド方言
- その他, 必要に応じていろいろな地域名を用いた。

時代的差異

- 《(古)》 《(やや古)》 《(廃)》

その他

- 《(愛称)》 《(掲示)》

その他, 場面を表す短い言葉(《(空港のアナウンス)》《(店員の言葉)》など)を《()》で示した。

F. 《PC》

性差別・人種差別・障害者差別等につながる語句には, 非差別的表現を,

《(PC)》という表示をつけて掲げた。(PC = politically correct)

例えば, 人間全体を示す男性名詞(例: man, mankind), 男女両性を含む男性職業名詞(例: salesman, congressman), ことさら男女の違いを強調する語(例: lady doctor, waitress)などに対して, 男性に偏しない両性平等に使える語を示した。

《(PC)》としてあげた語は, 本辞典で見出し語となっていない場合がある。

G. 専門語

専門的な語, 決まった分野で用いられる語には, 分野を〔 〕で示した(訳語から明らかなものは表示を省略した場合がある)。(動) は動物(学), [植] は植物(学)の略。

H. 選択制限

- ① 動詞の主語・目的語・補語, 形容詞の被修飾語, 前置詞の目的語などどのような内容の語がくるか(これを選択制限という)を, 語義の中に〈 〉で示した。

damage ... **動** ... 1 〈物・事が〉〈物〉
に損害を与える。

[主語については〈…が〉のように示す]

derive ... 動 1 [derive A from B] B
 〈本源となる物・事〉から
 A 〈利益・楽しみ・安心
 など〉を引き出す, 得る.

decisive ... 形 ... 1 〈戦い・勝利などが〉
 明確な結果をもたらす,
 決定的な.

- ② 動詞にしばしば伴う副詞辞は+印をつけて
 ()に入れ, 斜字体で示した。

fence ... 動 ... …に囲いをめぐらす(+
in, off).

I. 同義語

語義のあとの()内に同義語または言い換え
 可能な英語を示した。

J. いろいろな注記・記号

- ① 語義・訳語についての関連情報や語法説明・
 語のイメージ・補足などは《◆ 》に入れて
 示した。説明の長いものは囲み記事とし, 一部
 は [Q&A] として質問と答えの形で **解説** に
 示した。
- ② 必要に応じて, 次のような表示を用いた。

[関連] [語法] [文化] [事情]
 [類] 類義語

[比較] 日本語と英語の比較
 [表現] 主に英語で表現する場合に役
 立つ知識

cf. …を参照せよ
 → …を見よ(直接関連する情報
 が他の箇所にある場合)
 ↔ 反意語・対になる語

K. 用例

- ① すぐに役立つ対話形式の用例を, **例** に
 [対話] と表示して収録した。
- ② [] は, 語義の場合と同じように, 直前の語と
 交換が可能であることを示す。
- ③ 英語とその訳の両方に [] があるときは,
 [] の前の語同士, [] の中の語同士が原則
 として対応している(これは注記などでも同
 じ)。
 a convex [concave] lens 凸 [凹] レンズ。
 [a convex lensが「凸レンズ」, a concave
 lensが「凹レンズ」となる]
- ④ 等号(=)は, 「まったく同じ意味」ということ
 ではなく, 「だいたい同じような意味である(ニュ
 アンスに相違もある)」といった場合にも用い
 ている。

L. イントネーション、ストレスなど

- ① イントネーションやストレスによって意味の違いが生じる場合(「部分否定」と「全否定」など), 丁寧さの度合いが異なる場合(Thank you. (↑)(↘)など), その他必要に応じて用例にイントネーションやストレスを示した。イントネーションは, 高低変化の終わった箇所に, 次のような記号で示した。
- ↘ (下降調) 通例平叙文で用いられ, 文の完結を示す。断定的口調。
- ↗ (上昇調) 通例疑問文で用いられ, 質問・勧誘・依頼などを表す。また文中で, 文が未完結であることを示す。
- ↘ (下降上昇調) 通例文頭の文全体を修飾する副詞(句)・挿入句 [節] で用いる。文尾では対比とか話し手の含みのある態度を示す。
- ↘ (部分下降調) 中途半端な下降で, 未完結あるいは話し手のちゅうちょなどを表す。
- ② ストレスは, ´と`のアクセント記号をつけて示した。
- ③ この他, ∷によって, 若干の休止があることを示した。

7. **C**と**U**

名詞には, 数えられるものに **C** (countable), 数えられないものに **U** (uncountable) の記号をつけた。

A. **C**と**U**の意味

- ① **C** 名詞は, 単数形ではa, an(またはthe, my, any, thatなどの決定詞)が必要であり, 複数形にすることができる。
- ② **U** 名詞は, 冠詞(または他の決定詞)なしで用いることができ, 複数形にならない。いわゆる物質名詞, 抽象名詞などがこれに含まれる。特にa, anがつくときは [a ~], また [しばしば a ~] [しばしば ~ s] などとして示した。特に a, an がつくときは [a ~], また [しばしば a ~] [しばしば ~ s] は[or a ~], [or ~ s] などと示した。
- ③ [集合名詞] としたものには通例 **C** **U** をつけない。
- ④ 固有名詞には通例 **C** **U** をつけない。
- ⑤ [the ~] [a ~] [~ s] [the ~ s] [one's ~] などとあるものは常にこの形で用いられることを示す。この場合 **C** **U** はつけない。

複数形の語の語義については、必要に応じ、[単数扱い][複数扱い][単数・複数扱い]という表示をした。[単数扱い]の語が主語になった場合は単数の主語に一致する動詞を用い、また単数の代名詞で受ける。(複数形で表示のないものは複数扱いである。)

8. 成句・句動詞

A. 成句の掲げ方

- ① 配列はアルファベット順である。
- ② 句動詞(動詞+前置詞または副詞辞で全体として動詞の機能をもつ成句)のうち、特に重要なものは独立の見出し語とした。

B. 成句に用いた記号

- ① A, Bは動詞・前置詞の目的語を示す(ただし、目的語ではなくても便宜上A, Bを用いた場合がある)。
- ② one'sは成句の主語と同じものが人称代名詞(my, your, her, theirなど)になって入ることを示す。その他の場合はA'sとする。
- ③ oneselfは再帰代名詞(myself, yourself, themselvesなど)が入ることを示す。

- ④ 成句には標準的なアクセントを表示した。ただし、文脈による変動や個人差も大きいので、ひとつの目安としての表示である。

C. 成句を扱う場所

- ① 名詞を含む成句は名詞のところで扱う。それ以外は、その成句の中でもっとも重要な語またはもっとも特徴的な語の見出し語のところで扱う。
- ② 引きにくいものについては、いろいろな箇所から引けるように参照見出しをつけた。

D. 機能表示

- ① 「動詞+前置詞または副詞辞」からなる句動詞には、成句としての機能(品詞に準ずるもの)を次のように表示した。

[自] 自動詞+副詞辞。目的語をとらない。

[他] 他動詞+副詞辞。目的語は他動詞の目的語であり、原則として副詞辞は目的語の前にもあとにも置かれる。ただし目的語が代名詞の場合は通例～A upの形でのみ使われる。

- ② 自動詞 + 前置詞 からなる 句動詞は、
[～ through **A**] のように表示した。
- ③ 句動詞以外でも、形や訳語からわかりにくいものは [名] [副] [接] のように機能表示をした。

日本史事典

I 見出し語とその配列・解説について

1. 項目の見出しは原則として「かな見出し」と「本見出し」の2本立てとした。
2. 項目の配列は五十音順とした。
3. 促音(っ), 拗音(ゃ, ゅ, よ), ならびに外来語の表記に用いる小字(ア, イ, ウ, エ, オ)は, それぞれ音順に含めて配列した。
4. 濁音・半濁音は, 清音の次に, そして濁音→半濁音の順とした。また, 同音の場合は「カタカナ」→「ひらがな」の順に配列した。
5. 長音符号「ー」, ハイフン(ー), 二重ハイフン(=), 中グロ(・)は, 配列のうえでは無視した。
6. 同音・同字の項目で, まとめて解説したほうが理解しやすいものは, ①, ②, ③, ……の数字を付し, 同じ項目にまとめて解説した。
7. 項目の解説は, 定義部分と詳細解説部分との2段階構成としている。


Ⅱ 年代の表記について

1. 数字は原則として算用数字を使用した。しかし、日本語として定着している語句や歴史用語として慣用化しているものには、漢数字を用いた。
〔例〕二・二六事件、五・四運動
2. 年代は原則として西暦で示し、特に日本年号が必要と認められるものについては（ ）で示した。
〔例〕……645（大化元）年……
3. 人名の生没年は、原則として本見出しの次に示した。
4. 本文中4けたの数字の年代で、同一世紀の年代が続いて出てくる場合、2番目以降は初めの2けたの数字を省略号「'」で示した。
〔例〕……1841年……， …'49年……
5. 人名で生没年のうちどちらかが不明のとき、あるいはいちおうの年代がわかるが認識できない場合は、次のように示した。
〔例〕876～？ ？～1192
1201ごろ～60

Ⅲ 人名項目について

1. 人名には人名漢字を用い、原則として姓名で示した。
2. 人名の読み方で、平安末期までは、姓と名の間に「の」を入れて読んだ。
〔例〕そがのいるか 蘇我入鹿
ふじわらのみちなが 藤原道長
3. 外国人名は原則としてファミリーネームで収録し、カタカナ表記とし、それに対応する原語綴りを示した。
〔例〕アダムズ William Adams
ただし、中国・朝鮮・台湾の人名は慣用の日本語読みに従い、ひらがなをかな見出しとした。
〔例〕もうたくとう 毛 沢東

Ⅳ 記号・符号について

1.  二つの項目間において、まったく同義であるが、使用頻度が低いと思われる項目や、他の事項とまとめて解説したほうがわかりやすいような場合や、読みのまちがえやすい項目には読みちがいの項目にこのマークを用いて参照させた。

2. **⇒** 大きな事項の一部分を意味したり、項目間の関連が容易に思い浮かばないような項目の場合には、便宜をはかるため、このマークを用いて参照させた。

V 国名の略称について

国名は可能なかぎり通称で示したが、慣用度が高い場合や日本語としての前後関係などから、次のような略称を用いている場合もある。

〔例〕	アメリカ→米	イギリス→英
	イタリア→伊	フランス→仏
	中国→中	インド→印
	ドイツ→独	ロシア→露
	ソビエト連邦→ソ	

執筆者一覧 (50音順)

金澤利明 竹内秀一 藤野雅己 牧内利之
真中幹夫

世界史事典

I 見出し語とその配列・解説について

1. 項目の見出しは原則として「かな見出し」と「本見出し」の2本立てとした。
2. 項目の配列は五十音順とした。
3. 促音(っ)、拗音(ゃ、ゅ、ょ)、ならびに外来語の表記に用いる小字(ア、イ、ウ、エ、オ)は、それぞれ音順に含めて配列した。
4. 濁音・半濁音は、清音の次に、そして濁音→半濁音の順とした。また、同音の場合は「カタカナ」→「ひらがな」の順に配列した。
5. 長音符号「ー」、ハイフン(ー)、二重ハイフン(=)、中グロ(・)は、配列のうえでは無視した。
6. 同音・同字の項目で、まとめて解説したほうが理解しやすいものは、①、②、③、……の数字を付し、同じ項目にまとめて解説した。また、同項目内の解説で、便宜上内容を(1)、(2)、(3)、……の数字を付し、まとめて解説したものもある。さらに内容によっては、【○○】の小見出しを付して解説した。
7. 項目の解説は、定義部分と詳細解説部分との

2段階構成としている。

8. 解説文中において、書名はすべて「 」（二重カギ）で示し、雑誌名や芸術・音楽などの作品名は「 」で示した。また、名言などの引用文や比喩的な表現は「 」・“ ”で示した。

II 年代の表記について

1. 数字は原則として算用数字を使用した。しかし、日本語として定着している語句や歴史用語として慣用化しているものには、漢数字を用いた。
〔例〕 三・一事件、七月王政
2. 年代は原則として西暦で示した。
3. 人名の生没年と王朝（国名）の存続期間は、原則として本見出しの次に示した。
4. 本文中4けたの数字の年代で、文中に同一世紀の年代が続いて出てくる場合、2番目以降は初めの2けたの数字を省略した。
5. 紀元前のすべての年代と3桁の年代は、省略しないで示した。
6. 人名で生没年のうちどちらかが不明のとき、あるいはいちおうの年代がわかるが認識できない場合は、次のように示した。

〔例〕 876～？ ？～1192
483/484～550ごろ
1201ごろ～60（61）

III 人名項目について

1. 西洋人名は原則としてファミリーネームで収録した。ただし、パーソナルネームとファミリーネームとが一緒に呼ばれるような慣用がある場合には、アダム＝スミスのように、ダブルハイフンでつなげて項目見出しとした。
2. 東洋史（主として中国・朝鮮）関係の人名は、本見出しの姓と名前との字間を半角分あけてわかりやすくした。

IV 外国語の表記と転写について

1. 西洋史関係の外国語の表記は、できるだけ原音に近いカタカナ表記を採用したが、慣用度の高い表記はそれを採用した。
2. 旧版で使用していたバ・ビ・ブ・ベ・ボの表記は、原則としてヴァ・ヴィ・ヴ・ヴェ・ヴォに改めた。ただし、現在の慣用例にならい、

それに従ったものもある。またドイツ語のWとロシア語のVで構成されているものも原則としてヴで表記した。

3. 東洋史（主として中国・朝鮮）関係の地名・人名・事項は、原則として漢字の日本語読みによった。ただし、1910年以降の朝鮮関係の人名については原則として原地音の読みで表記した。また、1912年以後の中国人名および原地名には、本見出しの次に拼音式の原綴りを併記した。
4. 外国文字はすべてローマ字に転写した。
5. 項目には、発生地主義により、できるかぎり原綴りを併記した。内容が数か国にわたるような場合には、原則として英語を記し、英語以外の国語を併記した場合には、ドイツ、フランスなどとその国名をルビで示した。

V 記号・符号について

1. ➡ 二つの項目間において、まったく同義であるが、使用頻度が低いと思われる項目や、他の事項とまとめて解説したほうがわかりやすいような場合や、読みのまちがえやすい項

目には読みちがいの項目にこのマークを用いて参照させた。

2. ➡ 大きな事項の一部を意味したり、項目間の関連が容易に思い浮かばないような項目の場合には、便宜をはかるため、このマークを用いて参照させた。

IV 国名の略称について

国名は可能なかぎり通称で示したが、慣用度が高い場合や日本語としての前後関係などから、次のような略称を用いている場合もある。

〔例〕	アメリカ→米	イギリス→英
	イタリア→伊	インド→印
	オーストリア→奥	オランダ→蘭
	スペイン→西	ソヴィエト連邦→ソ
	中国→中	ドイツ→独
	トルコ→土	日本→日
	フランス→仏	プロイセン→普
	メキシコ→墨	ロシア→露

執筆者一覧(50音順)

小豆畑和之	石井 栄二	今泉 博
飯屋園 巖	津野田興一	三木健詞

1. 構成と解説のしかた

構成

- (1) 全項目を五十音順に配列してある。
- (2) 項目は頻出度・重要度を考慮して次のように区別してある。すなわち、◆◆は高校での生物学習に絶対必要な重要項目、◆はぜひ知っておくべき項目、その他は無印の三段階に分けてある。日常学習に、また大学入試対策に一応のめやすにしていきたい。

解説

- (1) まず、定義的な説明を簡単に述べた。
- (2) 次に本文を掘りさげて徹底的に解説を加えた。文中にはできるだけ具体的な例をあげて、理解の便をはかった。
- (3) 発展的な解説ないし資料などは、必要に応じて〔参考〕を設けて補足してある。

2. 配列

- (1) 原則として五十音順によった。ただし、見

出し語が同じで欧文があとにつく場合は、アルファベット順に配列してある。

〔例〕「ビタミンA」「ビタミンB」「ビタミンC」…… のように配列してある。

- (2) 同音のものはカタカナ・漢字の順に、また、清音・濁音・半濁音の順に配列してある。

〔例〕「チョウ」, 「腸」; 「カ」(蚊), 「ガ」(蛾) のように配列してある。

3. 表記

- (1) 生物名・外国名・外国人名・外国地名は原則として「カタカナ」で示した。なお、見出しの生物名を除く外国語・外国人名・化石・幼生には欧文つづりを示してある。また、カタカナ表記が一般的に使われている語についても「カタカナ」で示してある。

〔例〕 アイ サクラ サル タンパク質
グルコース glucose
オーリクラリア auricularia
ダーウィン Darwin, Charles
Robert

- (2) 本文中は常用漢字・現代かなづかいによっ

た。ただし、常用漢字以外でも意味のとりにくいものは漢字を使用し、適宜、読みをかっこ内に付記した。

〔例〕 穎(えい) 猛禽(きん) 孵(ふ) 化

- (3) 見出しの人名には生没年を付記した。ただし、4けたの数字の年代で、生没年が同一世紀の場合は初めの2けたを省略した。


〔例〕 アイマー Eimer, Theodor
1843～98


- (4) 用語で、2人以上の人名を冠したものは人名の区切りを・印で示した。同一人物のネームの区切りは＝で示した。

〔例〕 ワトソン・クリックの模型
レオナルド＝ダ＝ビンチ

- (5) 用語は主として文部省の『学術用語集』に準拠したが、一般の慣用語も重視してある。





4. 記号・符号

- (1)  同内容のものであるが表記が異なるもの、または内容としてはそこに含まれるが、他の項目のところに説明されているもの。

〔例〕 アイソトープ  同位体

アオヒモムシ  紐形動物

または、他所に見出し項目として出ている項目。原則として、項目理解に必要と思われるものについてつけた。「タンパク質」「細胞」などや分類名など、はっきりしているものにはつけていない。また、特に参照する必要のないものは除いてある。

- (2)   参照することによって見出し項目の内容がよりいっそう理解できるような関連項目を文末に示した。
- (3) 生物学習上の最重要項目には , 重要項目には  で示してある。
- (4) 『 』は書名を示す。
- (5) ① ②… 同一項目で、内容的に類似ではあるが二つ以上の意味をもつ場合に用いてある。

I 見出し語と配列

1. 見出し語は「かな見出し」と「漢字見出し」を併用し、「かな見出し」は現代かなづかいを用いた。

例：はどうりきがく【波動力学】

2. 見出し語が外国語の場合は「かな見出し」をカタカナとした。

3. 日本語との複合語である外国語は——によって省略した。

例：アボガドロのほうそく【——の法則】

4. 人名項目については見出し語のあとに生没年を併記し、外国人名については欧字綴りを付記した。

例：ファラデー【Faraday, Michael】
(1791 ~ 1867)

5. ほかに説明のついた同義語または関連語がある場合は、同義語は = ➡、関連語は → ➡ をもって説明のある本項目へ導いた。

例：オーエス【OS】 = ➡ オペレーティングシステム

例：だいにうちゅうそくど【第2宇宙速度】

→ ➡ 宇宙速度

6. 見出し語の配列は現代かなづかいによる五十音順とした。また長音「ー」は無視して配列した。
7. 拗音および促音は配列のうえでは一つの直音と同じ扱いとした。
8. 必要によっては小見出し項目を設け、小見出し項目では「かな見出し」は省略した。小見出し項目の配列はかならずしも五十音順ではない。

II 本文

1. 本文は常用漢字・現代かなづかいを用いることを原則とし、誤読・難読のおそれのあるものはふりがなを本文中初出の漢字についてだけ付した。
2. 本文に出てきた語のうち、ほかに参照すべき見出し語のあるものは、➡ を付した。

例：➡ ローレンツ変換

3. 見出し語に関連した項目があって、その項目を参照することにより理解を助けるような場

合は、文中または文末に →☞ を付し関連項目へ導いた。

- 本文中に出てくる外国人名・外国地名は原則としてカタカナで表し、術語・外来語の表記については原則として「学術用語集」、および「外来語の表記」に準拠したが、慣用にも配慮した。
- 本文中に出てくる外国人名で、ほかに見出し語がある場合は人名に ☞ を、ない場合には欧字綴りを併記した。
- 本文中に出てくるアルファベットは、原則として、物理量(速度*v*など)はイタリック体で、記号・符号はローマン体とした。必要によってはベクトル量もイタリック体(たとえば力 ***F*** など)を用いた。
- 本文中の単位については、基本的に国際単位系(SI)を採用するようにした。

Ⅲ 略号、記号

cm：センチメートル,	m：メートル,
km：キロメートル,	μm：マイクロメートル,
nm：ナノメートル,	Å：オングストローム,
g：グラム,	mg：ミリグラム,
kg：キログラム,	s：秒,

A：アンペア,	V：ボルト,
W：ワット,	Ω：オーム,
N：ニュートン,	℃：セルシウス温度,
K：絶対温度,	eV：電子ボルト,
cal：カロリー,	K：度(温度差),
Pa：パスカル,	mmHg：水銀柱ミリメートル,
mol：モル,	Hz：ヘルツ,
erg：エルグ,	J：ジュール,
<i>g</i> ：重力加速度,	<i>t</i> ：時間,
<i>T</i> ：周期, 温度,	<i>f</i> ・ <i>v</i> ：振動数,
ω：角速度,	<i>v</i> ：速度,
α・ <i>a</i> ：加速度,	<i>m</i> ・ <i>M</i> ：質量,
<i>P</i> ・ <i>p</i> ：運動量, 誘電分極,	<i>I</i> ：慣性モーメント,
<i>F</i> ・ <i>f</i> ：力,	<i>E</i> ：エネルギー, 電場,
<i>U</i> ：エネルギー,	<i>Q</i> ：熱量, 電気量,
<i>W</i> ：仕事,	Φ：磁束,
<i>R</i> ：電気抵抗, リュードベリ定数,	<i>X</i> ：リアクタンス,
<i>C</i> ：電気容量,	<i>L</i> ：インダクタンス,
<i>L</i> ：インダクタンス,	<i>Z</i> ：インピーダンス, 原子番号,
<i>A</i> ：質量数,	<i>c</i> ：光速,
<i>p</i> ・ <i>P</i> ：圧力,	<i>v</i> ・ <i>V</i> ：体積,
λ：波長,	<i>h</i> ：プランク定数,
<i>N</i> _A ：アボガドロ定数,	θ：温度, 角度,

emu : 電磁単位,

p : 陽子,

e : 電子,

n : 屈折率,

$i \cdot j$ = 虚数単位,

e : 電気素量, 自然対数の底.

esu : 静電単位,

n : 中性子,

v : ニュートリノ,

f : 焦点距離,

新化学小事典





I 見出語

- 見出語は「かな見出し」と「漢字見出し」を併用し、「かな見出し」は現代かなづかいを用いた。
例：**ぶんべつじょうりゅう**【分別蒸留】
- 見出語が外国語の場合は「かな見出し」をカタカナとした。
- 日本語との複合語である外国語は———によって省略した。
例：**さんかアルミニウム**【酸化———】
- 人名項目については見出語のあとに生没年を併記し、外国人名については欧字綴りを付記した。
例：**ファラデー**【Faraday, Michael】(1791 ~ 1867)
- 他に説明のついた同義語または関連語がある場合は、同義語は = ➡, 関連語は → ➡ をもって説明のある本項目へ導いた。
例：同義語は **たんさんガス**【炭酸———】
= ➡ 二酸化炭素
関連語は **シンがた**【———形】→ ➡
シス - トランス異性

見出語の配列

1. 配列は現代かなづかいによる五十音順とした。
2. 長音「ー」は無視して配列した。
3. 拗音および促音は配列のうえでは直音と同じ扱いとした。

Ⅱ 本文

1. 本文は常用漢字・現代かなづかいを用いることを原則とし、誤読・難読のおそれのあるものは振りがなを本文中初出の漢字についてだけ付した。
2. 本文に出てきた語のうち、他に参照すべき見出語のあるものは、を付した。
例：イオン結合
3. 見出語に関連した項目があって、その項目を参照することにより理解を助けるような場合は、文中または文末に   を付し関連項目へ導いた。
4. 同一見出語に二つ以上の意味があるときは、本文中に①, ②, ……を用いて区別した。
5. 文末に示した融点, 沸点, 密度(比重), 溶解度, 比旋光度などは、かっこ内にとくに条件を示

さない限り、常温・常圧における数値を示した。また、とくに断らない限り、そこに示した化学式をもつ物質の数値とした。

6. 本文中に出てくる生物名・外国語・外国人名・外国地名は原則としてカタカナで表し、術語・外来語の表記については原則として「学術用語集」、および「外来語の表記」に準拠したが、慣用をも重視した。

Ⅲ 略号

A : 原子量,	M : 分子量,
Z : 原子番号,	F : ファラデー定数,
N_A : アボガドロ定数,	
R : リュドベリ定数 ; 気体定数,	
g : 重力加速度,	h : プランク定数,
n : 物質質量,	d : 密度(比重),
η : 粘度,	E : エネルギー ; 起電力,
λ : 波長 ; 壊変定数,	ν : 振動数,
v : 速度,	n : 屈折率,
$[\alpha]_D$: 比旋光度(ナトリウムD線に対する比旋光度),	
T : 温度,	t : 時間,
o : オルト,	m : メタ,

p-：パラ，
n：中性子，
l-：左旋性，
dl-：ラセミ体，
D-；L-：糖類とアミノ酸の立体配置

p：陽子，
e：電子，
d-：右旋性，

mmHg：水銀柱ミリメートル，
ppm：百万分率， LD50：半数致死量

IV 記号

μm：マイクロメートル， nm：ナノメートル，
L：リットル， kg：キログラム，
g：グラム， mg：ミリグラム，
Å：オングストローム， mol：モル，
pH：水素イオン指数， A：アンペア，
V：ボルト， J：ジュール，
W：ワット， Ω：オーム，
N：ニュートン， °C：セルシウス温度，
K：絶対温度， eV：電子ボルト，
keV：キロ電子ボルト，
MeV：メガ(百万)電子ボルト，
Bq：ベクレル， Gy：グレイ，
Sv：シーベルト， s：秒，
‰：パーミル， cal：カロリー，
Pa：パスカル，

参 考

字形について

- この製品に使われている日本語の漢字の字形は JIS X 0213-2004 に準拠していますので、一般の辞典などで採用されている文字と字形が異なるものがあります。
- ただし、補助漢字や JIS の漢字表以外の漢字も一部含まれています。
- また、限られたドット数で文字を構成しているため、一部の漢字は略字を用いています。

【例】

	新漢語林の見出し漢字 など (48ドット)	各辞書機能の意味 など (12ドット)
活字		

鶯 → 鶯 → 鶯

コンテンツ (辞書など) の表現の違いについて

- この製品は、基本的に各コンテンツ (辞書など) の内容を変更することなく収録しています。このため、同じ語を別々の辞書などで引いた場合、表現などに違いがあることがあります。

コンテンツの内容について

- この製品に収録されている各コンテンツで書籍が刊行されているものの内容は、基本的に書籍版の内容を変更することなく収録しておりますが、画面表示の都合、その他の事情により、各出版社の監修に基づいて一部内容を変更していることがあります。

困ったときは



よくあるご質問……………	203
故障かな?と思ったら……………	206
異常が発生したときの処理……………	207
お買いあげ時の状態に戻すときは……………	208

よくあるご質問

次のご質問以外にも、よくあるご質問の情報はパソコンの下記サポートページで調べることができます。

<http://www.sharp.co.jp/support/>

ご質問内容	対応方法 (回答)
表示が暗い・明るい	<ul style="list-style-type: none"> 各種設定のメニュー画面で、「明るさ調整」を選び調整します(☞60ページ)。 日中の屋外など明るい場所では画面が見えにくくなります。日陰など、強い光が当たらないようにしてご使用ください。 本製品は約30秒間(音再生時は約5秒間)キー操作をしないと画面が暗くなります。何かキーを押すと元の明るさに戻ります。なお、この暗くなる時間は変更できません。

ご質問内容	対応方法 (回答)
画面のボタンなどにタッチしても反応しない/ずれた位置で反応する	各種設定のメニュー画面で「タッチパッドの調整」を選び、調整します(☞62ページ)
画面にタッチした位置と文字が書かれる位置がずれる	各種設定のメニュー画面で「タッチパッドの調整」を選び、調整します(☞62ページ)
画面に書いている途中で認識されてしまう	「文字を手書き入力する」の「手書き入力のご注意」(☞28ページ)を参照し、必要に応じて手動認識でご利用ください。
手書きで長音符「ー」が入らない	漢数字の「一」と認識されやすいので、候補の中から選んでください。
調べたい単語が出てこない	単語は変化形ではありませんか。変化形の場合は原形でも調べてみてください。

ご質問内容	対応方法 (回答)
調べたい語が出てこない	<p>次のことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●読みかたは正しいですか。別の読みかたではありませんか。 ●「つ」と「っ」など、大きい文字と小さい文字がまちがって入力されていませんか。 ●「ば」と「ぱ」など、濁音や半濁音がまちがって入力されていませんか。 ●「づ」と「ず」、「ぢ」と「じ」などの使いかたが違っていませんか。
読みのわからない漢字の調べかたは...	手書きや部首の読み、部首画数、総画数で調べることができます(☞71ページ)。
“?”や“~”が使える機能は?	ワイルドカード“?”、ブランクワード“~”は、スーパー大辞林、英和・和英辞典などで使えます(☞40ページ)。スーパー大辞林の逆引きなどでは使えません。

ご質問内容	対応方法 (回答)
ローマ字で思うように入力できない	213~216ページを参照して入力してください。
50音でかな入力はできないか?	この製品は「ローマ字かな入力」または手書きでかなを入力します。50音かな入力はできません。
日本語の読み検索を行う場合に英字始まりの見出し語が入力できない	「ISO」など英字で始まる見出し語は「あいえすおー」のように読みをひらがなで入れます。数字から始まる見出し語も、読みをひらがなで入れてください。見出し語にカッコ(「」)や中点(・)などの記号がある場合は省略して入れてください。
消費税の税率が変わってしまったら...	消費税の税率は変更することができます。56ページをご覧ください。だき、設定を変更してください。
国名などが変わっている古いデータになっている	この製品は、書籍版のコンテンツ(辞書など)のデータを収録しておりますので、その辞書などの記述に合わせております。

ご質問内容	対応方法 (回答)
検索したリストに同じ見出し語が複数個表示されることがあるのはなぜ...	1つの見出し語に複数の語が収録されている場合、個々の語に対して検索を行うので、同じ見出し語が複数個表示されることがあります。
ジャンプ機能で、ほかの辞書などにもあるはずの語へジャンプできない	辞書などにより見出し語などに使われる文字の種類や表記のしかたが違うことがあり、このような場合は違う言葉と判断されるためジャンプできません。 例 表記の違い： 敢え無い(スーパー大辞林) 敢えない(和英)
凡例(編集方針など)を知りたい	87~200ページを参照してください。

ご質問内容	対応方法 (回答)
音声の再生ができない/音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声は付属のイヤホンで聞きます。イヤホンを正しく接続してください(☎37ページ)。 ● 音量が小さくなっていませんか。音量を調整してみてください(☎60ページ)。 ● 電池が消耗していませんか。電池を交換してみてください(☎212ページ)。
電源を入れたとき「データに異常があったため製品を初期の状態にしました」と表示された	強度の外来ノイズや強いショックを受けたときなどに、単語帳やしおりなどの登録データに異常が発生する場合があります。この場合は、電源を入れたときに製品を初期状態に戻します(☎208ページ)。
充電電池は使えますか？	充電電池は三洋電機株式会社製の単4形eneloop®(エネルーブ)とパナソニック株式会社の単4形充電式EVOLTA(エボルタ)をご使用いただけます。その他の充電電池はご使用いただけません。

故障かな？と思ったら

こんなとき	ここをお確かめください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池が消耗していませんか(☞212ページ)。 ● 電池が正しく取り付けられていますか(☞212ページ)。 ● 指定以外の電池を使用していませんか(☞211ページ)。 上記のどれでもないときは本体裏側のリセットスイッチを押してください(☞207ページ「異常が発生したときの処理」)。
すべてのキーが働かない	本体裏側のリセットスイッチを押してください(☞207ページ)。
キー入力で文字が正しく入らない	ローマ字のつづりは正しいですか。 213～216ページを参照して入力してください。

こんなとき	ここをお確かめください
キーを押したとき“ピッ”と鳴らない	この製品はキーを押したときに“ピッ”と音を出す機能はありません。
手書き文字が正しく認識されない 手書き入力の方法は？	25～30ページを参照ください。28ページの「手書き入力のご注意」に手書き入力の注意点も掲載しています。
自動的に電源が切れる	この製品には、しばらく使わないと自動的に電源が切れるオートパワーオフ機能がついています。電源が切れるまでの時間は変更することができます(☞59ページ)。
電源を入れると「登録名」が表示される	オープニング設定画面で「表示なし」に設定してください(☞62ページ)。

困ったときは

こんなとき	ここをお確かめください
充電電池での使用時間が「参考」として記載されている使用時間に比べて短い	使用電池の設定が「アルカリ乾電池」になっていませんか。「充電電池」に設定してください(☞61ページ)。

- これらをお確かめても症状が発生する、また、これら以外の症状が発生した場合は故障が考えられます。
お買いあげの販売店に修理をお申し付けください。

異常が発生したときの処理

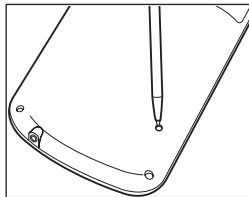
ご使用中に強度の外来ノイズや強いショックを受けた場合など、ごくまれに**クリア**も含めたすべてのキーが働かなくなるなどの異常が発生することがあります。このときは、以下のリセット操作をしてください。

リセット操作

1 本体裏側のリセットスイッチをボールペンなどで押します。

電源が切れます。

- リセットスイッチを押すとき、他のキーを押さないように注意してください。



- リセットスイッチの操作に、先の折れやすいものや先のとがったものは使用しないでください。

2 **入切**を押して電源を入れます。

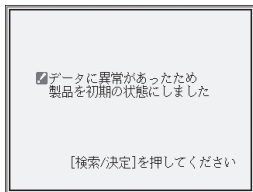
電池設定画面が表示されます。

3 画面に従って、電池の設定を行ってください(☞5ページ)。

メインメニュー画面が表示されます。

異常を知らせる画面が表示されたら

電源を入れたときなどに次の画面が表示されたときは、データに異常があったため本体をお買いあげ時の状態に戻したことを示します。



このときは**[検索/決定]**を押してください。電池設定画面が表示されますので、電池の設定を行ってください。なお、異常を検出したときに電池が消耗していると「電池が消耗しているため初期の状態に戻せない」旨のメッセージを表示する場合がありますので、この場合は電池を交換してから電源を入れ、初期の状態にした旨のメッセージを確認してください。

注意

- リセット操作で異常状態が回復しない場合は、次項目の初期化の操作で、お買いあげ時の状態に戻してください。

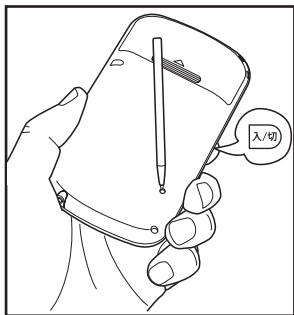
お買いあげ時の状態に戻すときは

登録した内容などをすべて消去して、お買いあげ時の状態（初期状態）に戻したいときは、次の操作で行います。

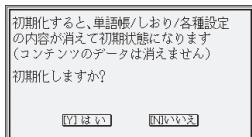
- 1 電源が入っている場合は、**[入/切]**を押して、電源を切ります。
- 2 **[入/切]**を押したまま、ボールペンなどで本体裏側のリセットスイッチを押し、ボールペンを離れた後、初期化の確認画面が表示されたら**[入/切]**を離します。

困ったときは

- リセットスイッチの操作に、先の折れやすいものや先のとがったものは使用しないでください。



初期化の確認画面が表示されます。



- 違う画面が表示されたときは、もう一度、確実に手順1の操作を行ってください。

3 [Y]キーを押します。

画面に「初期化中です」「初期化しました」と一時表示したあと、電池設定画面が表示されます。

4 画面に従って、タッチパッドの調整、電池の設定を行ってください(☞4ページ)。

メインメニュー画面が表示されます。

注意

- この操作・処理により、単語帳の登録データ、しおりの内容、電卓のメモリー内容が消去され、電卓の税率(初期状態：5%)および「各種設定」などで設定した内容が初期の状態に戻ります。ただし、「各種設定」の「名前の設定」で登録した名前、暗証番号は消去されません。

付 録



電池について……………	211
ローマ字→かな変換表……………	213
仕 様……………	217
アフターサービスについて……………	221
お客様ご相談窓口のご案内……………	222
索 引……………	223

この製品を長くご愛用いただくための注意点などをまとめています。よくお読みいただき、正しくご使用ください。

電池について

電池が消耗すると電源が切れて入らなくなります。必ず以降の内容をよくお読みのうえ、電池交換は十分注意して行ってください。

使用できる電池

乾電池：アルカリ乾電池 単4形 LR03 2本

充電電池：三洋電機株式会社製

単4形 eneloop® (エネルーブ) 2本

パナソニック株式会社製

単4形 充電式EVOLTA(エボルタ) 2本

(2012年1月現在)

※ 指定の電池以外は使用しないでください。

電池容量・電圧が異なり、誤動作や故障の原因になります。なお、充電電池をご使用の場合は3ページの「市販の充電電池の取り扱いについて」の内容をお守りください。

注意

冒頭の「安全にお使いいただくために」もよく読んでお取り扱いください。

- 製品を長時間使わないときは電池を取り外しておいてください。
- 消耗した電池をそのままにしておきますと、液もれにより製品を傷めることがあります。
- 付属の電池は工場出荷時に入れていますので、所定の連続使用時間に満たないうちに寿命が切れることがあります。

充電電池について

ご参考：充電電池をご使用の場合の使用時間(参考値)

新しい電池を満充電でご使用いただく場合
(常温25℃で連続表示のときの参考値)


eneloop®：約75時間

充電式EVOLTA：約75時間

※使用温度、使用状態によっては使用時間が短くなります。

「充電電池を使用する場合は電池設定を「充電電池」に設定してください(61ページ)。」

電池の交換時期

画面右上に“

参考

●アルカリ乾電池について

電池の使用時間は約110時間です。(常温25℃で連続表示のとき。)

※電池の種類(メーカー)、使用温度、使用状態によっては電池の寿命が短くなります。

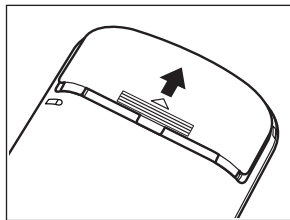
電池の交換手順

注意

電池交換は必ず電源を切ってから行ってください。電源を切らずに行うと、単語帳などの記憶内容が消去されることがあります。

1 **入/切**を押して電源を切ります。

2 本体裏面の電池ぶたを外します。

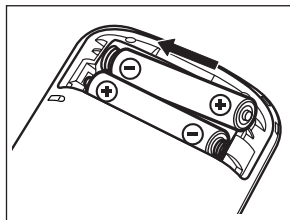


3 消耗した電池を取り出します。

4 新しい電池を入れます。

2本とも新しい電池に交換してください。また、向きを正しく入れてください。

電池交換時に**入/切**を押さないように注意してください。



5 電池ぶたを取り付けます。

6 **[入/切]** を押して、電源が入り、電池設定画面になることを確認してください。

もし、初期化の確認画面が表示されたときは **[N]** キーを押してください。 **[Y]** キーを押すと本体が初期化され、単語帳などの記憶内容が消去され、各種設定が初期状態に戻ります。

電源が入らないときは2~6の手順をもう一度行い、電池を入れ直してください。それでも電源が入らないときは207ページのリセット操作を行ってください。

7 画面に従って電池の設定を行ってください(5ページを参照)。

ローマ字→かな変換表

あ	あ	い	う	え	お
	A	I	U	E	O
か	か	き	く	け	こ
	KA	KI	KU	KE	KO
	CA		CU		CO
さ	さ	し	す	せ	そ
	SA	SI	SU	SE	SO
た	た	ち	つ	て	と
	TA	TI	TU	TE	TO
な	な	に	ぬ	ね	の
	NA	NI	NU	NE	NO
は	は	ひ	ふ	へ	ほ
	HA	HI	HU	HE	HO
ま	ま	み	む	め	も
	MA	MI	MU	ME	MO
や	や		ゆ		よ
	YA		YU		YO

ら	ら	り	る	れ	ろ
	RA LA	RI LI	RU LU	RE LE	RO LO
わ	わ	み		ゑ	を
	WA	WYI		WYE	WO
ん	ん				
	N NN				
	NX				

づ			づ		
			VU		
が	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	GA	GI	GU	GE	GO
ざ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	ZA	ZI JI	ZU	ZE	ZO
だ	だ	ぢ	づ	で	ど
	DA	DI	DU	DE	DO
ば	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	BA	BI	BU	BE	BO
ぱ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	PA	PI	PU	PE	PO

いえ				いえ	
				YE	
うあ	うあ	うい		うえ	うお
	WHA	WI WHI		WE WHE	WHO
きや	きや	きい	きゆ	きえ	きよ
	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
くあ	くあ	くい	くう	くえ	くお
	QA KWA	QI KWI QWI		QE KWE QWE	QO KWO QWO
			QWU		
しゃ	しゃ	しい	しゆ	しえ	しよ
	SHA SYA	SYI	SHU SYU	SHE SYE	SHO SYO
ちゃ	ちゃ	ちい	ちゆ	ちえ	ちよ
	CHA CYA TYA	CYI TYI	CHU CYU TYU	CHE CYE TYE	CHO CYO TYO
つあ	つあ	つい		つえ	つお
	TSA	TSI		TSE	TSO
てや	てや	てい	てゆ	てえ	てよ
	THA	THI	THU	THE	THO

とう			とう		
			TWU		
にゃ	にゃ	にぃ	にゅ	にぇ	にょ
	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ	ひゃ	ひぃ	ひゅ	ひぇ	ひょ
	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
ふぁ	ふぁ	ふぃ		ふぇ	ふぉ
	FA	FI		FE	FO
	HWA	HWI		HWE	HWO
		FYI		FYE	
ふゃ	ふゃ		ふゅ		ふょ
	FYA		FYU		FYO
みゃ	みゃ	みぃ	みゅ	みぇ	みょ
	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ	りゃ	りぃ	りゅ	りぇ	りょ
	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
	LYA	LYI	LYU	LYE	LYO

づぁ	づぁ	づぃ		づぇ	づぉ
	VA	VI		VE	VO
づゅ			づゅ		
			VYU		
ぎゃ	ぎゃ	ぎぃ	ぎゅ	ぎぇ	ぎょ
	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
ぐぁ	ぐぁ	ぐぃ	ぐう	ぐぇ	ぐぉ
	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
じゃ	じゃ	じぃ	じゅ	じぇ	じょ
	JA		JU	JE	JO
	JYA	JYI	JYU	JYE	JYO
	ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO
ぢゃ	ぢゃ	ぢぃ	ぢゅ	ぢぇ	ぢょ
	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO
でゃ	でゃ	でぃ	でゅ	でぇ	でょ
	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
どう			どう		
			DWU		
びゃ	びゃ	びぃ	びゅ	びぇ	びょ
	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ	ぴゃ	ぴぃ	ぴゅ	ぴぇ	ぴょ
	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

▶参考◀

- 表中の行名は、つづりを探し易くするために便宜上つけた名称です。

小さい文字を単独で入れる場合

あ	あ	い	う	え	お
	XA	XI	XU	XE	XO
っ			っ		
			XTU		
ゃ	ゃ		ゅ		ょ
	XYA		XYU		XYO
わ	わ				
	XWA				

撥音(はつおん)の入力

“ん”の次に母音または“Y”がくるときや、“ん”で終わるときは“NN”と入力する。または“N”の後ろに“X”をつける。

ほんやく → HONNYAKU
(HONXYAKU)

はんい → HANNI (HANXI)

ほん → HONN (HONX)

上記以外するとき

ほんき → HONKI

促音(そくおん)の入力

“N”以外の子音を重ねる。または“XTU”と入力する。

けっか → KEKKA (KEXTUKA)

とつきゅう → TOKKYUU
(TOXTUKYUU)

参考

- 変換できないローマ字のつづりを入れたときはこの製品は、ローマ字のつづりを入力する場合、1字入力するごとに、かなに変換できる候補の有無を確認し、一致すればかなに変換します。もし、候補がないときは、先頭の文字を削除して候補の有無を確認します。それでも候補がない場合は、もう1字削除して確認します。

入力操作 表示

例1 **Q** **W** → **qw**
A → わ (qが削除されwaを変換)

例2 **K** **Y** → **ky**
W → **w** (kyが削除されwが残る)
O → を (woを変換)

仕 様

形 名	PW-GC50	品 名	電子辞書
表 示	320×240ドットTFTカラー液晶表示		
電卓機能	計算桁数 12桁 税込/税抜計算、加減乗除、メモリー、パーセント計算など		
出力端子	イヤホン端子(3.5Φ)		
電 源	3V(DC)：アルカリ乾電池(LR03)／ Ni-MH※ 単4形 2本 ※ Ni-MH充電機をご使用の場合は3、 61、211ページを確認してください。		
消費電力	0.54W		
使用時間	約110時間 (LR03使用時) (使用温度25℃で連続表示の場合。 なお、表示の明るさは初期の設定 で、表示状態になった30秒後に表示 が暗くなる場合)		
	約 45時間 (使用温度25℃で、1時間あたり表示 状態を55分、検索*を5分間行っ た場合。なお、表示の明るさは、上 記と同じ場合)		

約 45時間

(使用温度25℃で、1時間あたり表示状態を55分、検索*を4分間、“dictionary”の音声再生を初期設定の音量で1分間行った場合。なお、表示の明るさは、上記と同じ場合)

約 7時間

(使用温度25℃で、チャンツ(約2分)を音量初期状態で連続的に聞いた場合。なお、再生開始5秒後に表示が暗くなる場合)

*検索：英和辞典で“dictionary”を1秒1キー操作で入力し検索/決定を押す操作の繰り返し。

注：使用環境や使用方法により、使用時間が短くなることがあります。

使用温度 0℃～40℃

外形寸法 突起部含む：幅71.0×奥行127.0×
厚さ21.2mm

突起部含まず：幅71.0×奥行127.0×
厚さ20.2mm

質 量 約114g(乾電池を含む)

収録コンテンツ

『スーパー大辞林 3.0』*¹ (㊦) 三省堂 (2006年10月 発行)
(Copyright © Sanseido Co., Ltd. 2011)

収録項目：約261,000項目

『明鏡国語辞典 第二版』大修館書店 (2011年4月 発行)
(© Kitahara Yasuo and Taishukan, 2011)

収録項目：約7万項目

『新漢語林 第二版』大修館書店 (2011年4月 発行)
(© KAMATA Kunihiko, YASUDA Naoko and Taishukan, 2011)

収録親字数：14,629字 収録熟語数：約50,000語

『全訳古語辞典 第三版』*² (㊦) 旺文社 (2009年10月 発行)
(Copyright © Miyakoshi Sakurai Ishii Oda 2003)

収録語数：約22,500語

『ジーニアス英和辞典 第4版(ジーニアス用例プラス版)]*³
(㊦) 大修館書店 (2011年4月 発行)
(© KONISHI Tomoshichi, MINAMIDE Kosei and Taishukan, 2006-2011)

収録語句数：約96,000語句

『ジーニアス和英辞典 第3版』大修館書店 (2011年12月 発行)
(© MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2011)

収録語句数：約83,000語句

『ベーシックジーニアス英和辞典](㊦) 大修館書店 (2010年4月 発行)
(© Konishi Tomoshichi, Harakawa Hiroyoshi and Taishukan, 2002-2011)

収録語数：約40,000語

『OXFORD現代英英辞典 第8版』

Oxford University Press (2010年3月 発行)
(Oxford Advanced Learner's Dictionary 8th edition © Oxford University Press 2010)

収録項目：約184,500項目

『ブリタニカ国際大百科事典 小項目電子辞書版』*⁴
ブリタニカ・ジャパン (2011年4月 発行)
(© 2011 Britannica Japan Co., Ltd./Encyclopædia Britannica, Inc.)

収録項目：約154,000項目

『生物事典 四訂版』旺文社 (2003年1月 発行)
(Copyright © Obunsha. Co., Ltd. 2003)

収録項目数：約7,300項目

『新物理小事典』三省堂 (2009年6月 発行)
(Copyright © Sanseido Co., Ltd. 2009)

収録項目：約4,500項目

『新化学小事典』三省堂 (2009年1月 発行)
(Copyright © Sanseido Co., Ltd. 2009)

収録項目：約5,600項目

『日本史事典』旺文社 (2000年10月 発行)
(© Obunsha 2000)

収録項目数：約6,800項目

『世界史事典』旺文社 (2000年10月 発行)
(Copyright © Obunsha 2000)

収録項目数：約7,200項目

『英単語ターゲット1900』(㊦) 旺文社 (2006年10月 発行)
(Copyright © Y. Miyakawa, 2006)

収録項目数：1,900項目

『英熟語ターゲット1000 3訂版』(㊦)

旺文社 (2003年10月 発行)

(Copyright © K. Hanamoto 2003)

収録熟語数：1,000熟語

『英検Pass単熟語 3級 改訂新版』(㊦)

旺文社 (2008年4月 発行)

(© Obunsha Co.,Ltd.2008)

総項目数：1,400 (単語編 900、熟語編 400、会話表現編 100) 項目

『英検Pass単熟語 準2級 改訂新版』(㊦)

旺文社 (2008年4月 発行)

(© Obunsha Co.,Ltd.2008)

総項目数：1,803 (単語編 1,215、熟語編 485、会話表現編 103) 項目

『英検Pass単熟語 2級 改訂新版』(㊦)

旺文社 (2008年4月 発行)

(© Obunsha Co.,Ltd.2008)

総項目数：1,856 (単語編 1,030、熟語編 541、コロケーション表現編 179、会話表現編 106) 項目

『新TOEIC® テスト文法特訓プログラム』(㊦)

アルク (2010年4月 発行)

(© Itsoo Shirono, ALC Press Inc.)

解説：168項目

練習問題：380問

『聞いて覚える英単語 キクタン TOEIC® Test Score600』

(㊦) アルク (2010年6月 発行)

(© ALC Press Inc.)

収録単語・熟語：1,120

『聞いて覚える英単語 キクタン TOEIC® Test Score800』

(㊦) アルク (2010年9月 発行)

(© ALC Press Inc.)

収録単語・熟語：1,120

『キクジユク Basic 1800』(㊦) アルク (2010年9月 発行)

(© Takeshi Hitosugi, ALC Press Inc.)

収録熟語：687

『キクジユク Super 3600』(㊦) アルク (2010年9月 発行)

(© Takeshi Hitosugi, ALC Press Inc.)

収録熟語：672

『数学公式集』*4 旺文社監修

(Copyright © Ryouhei Tsuji 2002)

収録公式数：180公式

『百人一首』* (㊦) 旺文社

(Copyright © Obunsha 2005)

収録和歌数：100首

『漢字ターゲット1700』 旺文社（1999年9月 発行）
（Copyright © Obunsha.Co.,Ltd）

収録語数：1,700語

『センター試験 現代社会テーマ集』* (1) 旺文社監修
（Copyright © Yuichiro Koizumi 1999）

収録テーマ：64テーマ

『日本史年代暗記ターゲット312』 (1) 旺文社（1999年9月 発行）
（Copyright © Yoshio Miyazawa, 1999）

収録項目数：312項目

『世界史年代暗記ターゲット315』 (1) 旺文社（1999年9月 発行）
（Copyright © Tomiko Takahashi, 1999）

収録項目数：315項目

* 書籍版は刊行されていません。

※1 「スーパー大辞林 3.0」は書籍版に2011年4月現在のデータ・項目を改訂および追加収録した電子版のコンテンツであり、書籍版は刊行されていません。

※2 書籍の万葉番号は「新編国歌大観」番号を示していますが、電子辞書用に、新編国歌大観の番号の後に（ ）で旧番号を追加しています。

※3 本機に収録した音声データは「ジーニアス英和辞典第4版」の発音表記に準拠し、大修館書店が作成した、
米国人ネイティブスピーカーによる発音データです（約100,000語）。ジーニアス・サウンズ V4の



音声データを拡張し、全派生語・複合語に対応すると共に、見出し語に無い変化形についても、音声を追加しました。（© Taishukan, 2008）

※4 2011年4月度版を収録しています。

「ブリタニカ国際大百科事典 小項目版」の書籍版は現在刊行されていません。一部の図版類は、電子辞書版には収録されていません。

※5 「旺文社監修 数学公式集」は、旺文社刊 辻良平著「大学JUKEN 新書 センター試験必出 数学公式180」を元にした電子版のコンテンツであり、書籍版は刊行されていません。

アフターサービスについて

保証について

1. この製品には取扱説明書の巻末に保証書がついています。

保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。

2. 保証期間は、お買いあげの日から1年間です。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
3. 保証期間後は…

ご要望により有料修理または有料交換いたします。

修理を依頼されるときは

1. 異常があるときは使用をやめて、お買いあげの販売店にこの製品を **お持込み** のうえ、修理をお申し付けいただくか、「お客様ご相談窓口のご案内」(☎222ページ)に記載の窓口にお問い合わせください。 **ご自分での修理は**

しないでください。

2. アフターサービスについてわからないことは…
お買いあげの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お問い合わせは

この製品についてのご意見、ご質問は、お客様ご相談窓口へお申しつけください。

お客様ご相談窓口のご案内

お問い合わせの前に203～207ページをもう一度確認してください。

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、**お買いあげの販売店**、または**下記窓口**にお問い合わせください。
ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。



使いかたや修理のご相談

【お客様相談センター】



携帯・PHS OK

0120-303-909

携帯電話・PHSからもご利用いただけます。

おかけ間違いのないようにご注意ください。

■IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…





電 話	ファックス
06-6792-1583	06-6792-5993

受付時間

- 月曜～土曜：9:00～18:00（年末年始）
- 日曜・祝日：9:00～17:00（を除く）

索引

記号

?	40
~	40
 マーク	53
 マーク	45, 46
 マーク (音声マーク)	38
 マーク	36

数字

1 件表示画面	35
---------	----

アルファベット

eneloop	3, 61, 211
EVOLTA	3, 61, 211
S ジャンプ	44
範囲指定	45, 46
TFT	1

あ

明るさ調整	60
頭出し検索	33

アフターサービス	221
アルカリ乾電池	61, 212
暗証番号	63
削除	66

い

異常が発生	207
異常を知らせる画面	208
一括検索	43
イヤホン	3, 37

え

英英成句検索	74
英和成句検索	73
エネルギー	3, 61, 211
エボルタ	3, 61, 211

お

オートパワーオフ	20
時間設定	59
オープニング画面	62, 64
お手入れ	8
音を聞く	33, 69
音訓読み	71

音声	38
再生速度	38, 60
音声マーク	38
音量	3, 38, 60

か

カーソル	24, 34, 44
カーソルキー	10, 17
解説	36
各種設定リスト	59
画像から探す	55, 69
カラー液晶パネル	1
乾電池	211

き

キーワード検索	33
機能キー	18
機能選択画面	40

こ

個別メニュー	22
コンテンツ	5

さ

サポートページ	203
---------	-----

し

しおり	47
削除	47
辞書の引きかた	30
絞り込み検索	33
ジャンプウィンドウ	45
ジャンプマーク	44, 46
充電	3, 61
充電器	3, 61
充電池	3, 61, 211
使用時間 (参考値)	211
詳細画面	35
消費税率	56
商標・登録商標	8
初期化	208
シンボル・マーク	20

す

図	36
ストラップ	5
スペリング入力	24
スペルチェック	42

せ	
選択ウィンドウ	39

そ	
総画面数	72
操作ガイド	21
促音 (そくおん)	216

た	
タッチ	21
タッチパッド	21
調整	4, 62
タッチペン	4, 19
タブ	36
切り替え	36
単語帳	48
全単語リスト画面	51
登録	48, 49
見る	51

ち	
小さい文字	216

チャンツ	80
著作権	8

て	
手書き画面	25
手書き入力	25, 27
ご注意	28
認識	29
電源が切れる時間	59
電卓	56
エラー	57
電池	61, 211
交換時期	212
消耗	5, 212
設定	5, 61
電池マーク	20

と	
ドラッグ	21

な	
名前	63
オープニング画面	62, 64

削除	66
登録	63
変更	65

に

認識モード	26
自動認識	26, 28
手動認識	26

ね

ネイティブの発音	39
----------	----

は

パスワード	63
撥音 (はつおん)	216
凡例	87

ひ

表示部	17
-----	----

ふ

部首	71
付属品	9
空白ワード	40

プレビューウィンドウ	34
プレビュー表示	34
設定	60
分野別小辞典	69
分類メニュー	22

ま

マーカー	
色	49
消す	50
消去 (削除)	55
テストをする	52
マーカーテスト	52

め

メインメニュー	22
---------	----

も

文字サイズ	35
切り替え	35
文字入力	23
文字の修正	24

よ

よくあるご質問…………… 203

り

リスト画面…………… 34

リセットスイッチ…………… 207

リセット操作…………… 207

履歴…………… 47

る

類語表示…………… 70

れ

例 / 解説ウィンドウ…………… 37

例文…………… 36

例文検索…………… 43

ろ

ローマ字→かな変換表…………… 213

わ

ワイルドカード…………… 40

- 取扱説明書のデータ（PDF）は、シャープのホームページからダウンロードすることができます。

<http://www.sharp.co.jp/support/index.html>

（2012年1月現在）

MY家電登録のご案内

人と家電と暮らしをつなぐ、シャープの会員サイト

 **SHARP i CLUB**

詳しくはホームページで ぜひ、ご登録ください。

<http://iclub.sharp.co.jp/m/>



■よくある質問などはパソコンから検索できます。



<http://www.sharp.co.jp/support/>

シャープ お問い合わせ

検索



こんなときは、取扱説明書で再度ご確認ください。

1. お買いあげ後、初めての設定の操作 (タッチパッド調整、電池設定) ……4 ページ
2. 文字を入力したい ……23ページ
3. 読みの分からない漢字を調べたい ……71ページ
4. 小さい文字 (拗音、促音) の入力方法 ……214~216ページ

取扱説明書をご確認いただいて解決しないときは、222ページをご覧ください、お客様ご相談窓口へご連絡ください。

シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号

通信システム事業本部 〒639-1186 奈良県大和郡山市美濃庄町492
パーソナルソリューション事業部